MediaBrowser 4
取扱説明書

はじめにお読みください

MediaBrowser でできること

使用上のご注意

困ったときは

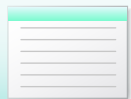
よくあるお問い合わせ

Q&A

お問い合わせ先

本書は「Everio MediaBrowser 4 BE」「Everio MediaBrowser 4」の共通取扱説明書です。

ビデオカメラで撮影したファイルを…

パソコンに取り込む

再生する

DVD ／ BD を作成する

DVD ／ BD を再生する

取り込んだファイルを…

編集する

エクスポート・アップロードする

こんなこともできます

上記以外にも便利な機能があります。くわしくは目次をクリックしてください。

目次へ

目次

はじめに

パソコンに取り込んで DVD ／ BD に書き出そう

編集しよう

iTunes や YouTube などで楽しもう

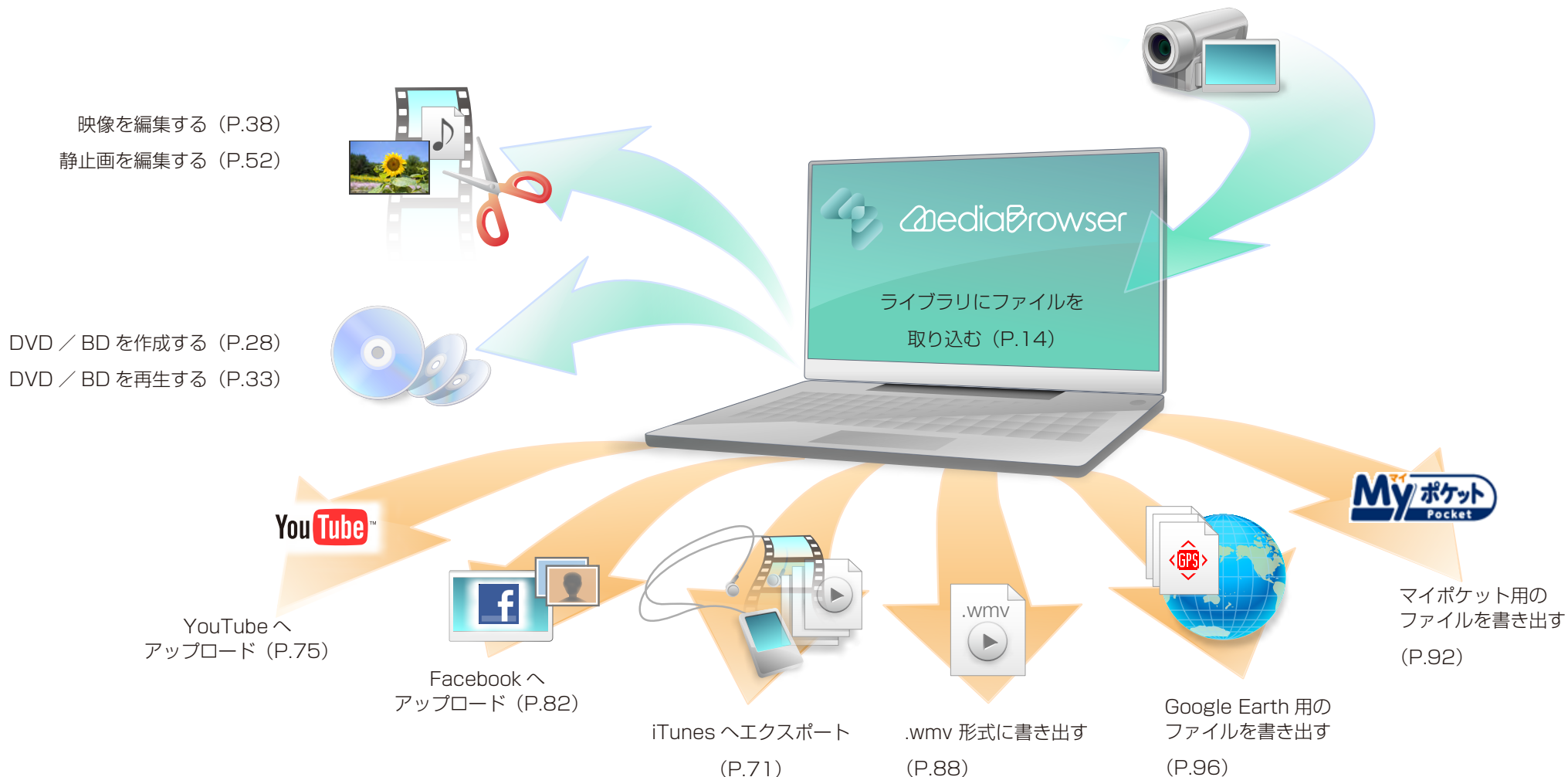
こんなこともできます

Q&A

はじめに

MediaBrowser でできること

Everio MediaBrowser は、撮影した映像や静止画をパソコンに保存して、管理や編集、ディスクへの保存ができるソフトウェアです。さらに、iTunes への転送、YouTube、Facebook へのアップロードなどもできます。パソコンの操作に慣れていなくても、画面の表示に従って操作するだけで、機能を利用することができます。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できない機能があります。
＊ Google Earth へのエクスポート機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

本書について

本書についてのご注意

本書は「Everio MediaBrowser 4 BE」「Everio MediaBrowser 4」の共通取扱説明書です。本書中では特に指定のない限り、「Everio MediaBrowser 4 BE」「Everio MediaBrowser 4」を「MediaBrowser」と表記します。

- 本書では Windows の基本的な操作については記載しておりません。メニューの選択やウィンドウ操作などは基本的に Windows の一般的な操作手順に準拠しております。
- 本書内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点などがございましたら弊社ユーザーサポートセンター (P.134) へご連絡ください。
- 本書で使用しているアプリケーション画面の画像は、製品開発中の画面であり、実際とは異なる場合があります。
- 本取扱説明書では以下のマークを使用しております。

マーク	内容	
(トップページマーク)	このマークをクリックすると、トップページに戻ります。	
(注意マーク)	このマークのある項目は、気を付けていただきたい内容について記述しています。	
(メモマーク)	このマークのある項目は、参考にしていただきたい内容について記述しています。	
(参照マーク)	このマークのある項目は、参照していただきたい関連項目や内容について記述しています。	
4	このマークのある項目は、Everio MediaBrowser 4 で使用できる機能です。	左のマークのうち、どれもついていない場合は、すべての機種で使用できます。
BE	このマークのある項目は、Everio MediaBrowser 4 BE で使用できる機能です。	

＊お使いの MediaBrowser のバージョンは、[ヘルプ]-[バージョン情報] で確認できます。

商標について

- 「Everio」は株式会社 JVC ケンウッドの登録商標です。
- MediaBrowser™ は、株式会社ピクセラの商標です。
- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

- iPod®、iTunes®、QuickTime® は、Apple Inc. の登録商標です。
- YouTube™ および YouTube ロゴは YouTube LLC の商標および登録商標です。
- Facebook® は Facebook Inc. の登録商標です。
- Google™ は Google Inc. の商標です。
- Google Earth™ は Google Inc. の商標です。
- "AVCHD" と "AVCHD" ロゴ は、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- 「x.v.Color」はソニー株式会社の商標です。
- マイポケットはエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品はフジフイルム製ソフトウェア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.5 (Copyright (C) 1998-2003 FUJI PHOTO FILM CO.,LTD. All rights reserved)」を使用しています。Exif は JEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）が規定するデジタルスチルカメラ用イメージファイルフォーマット標準規格です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略させていただいております。

使用上のご注意

注意事項

- 読み込める映像は、MediaBrowser が付属している JVC ケンウッド製ビデオカメラで撮影したもののみです。
- 撮影または編集した映像や静止画などに、第三者の著作物が含まれている場合、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- ノートパソコンで使用する場合は、パソコンの電源に AC アダプターを使用してください。
- ビデオカメラの電源には AC アダプターを使用してください。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続してください。USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります。
- ビデオカメラの接続中はパソコンをスタンバイ状態にしないでください。
- 記録済みの DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、DVD+R DL、BD-R、BD-R DL へは書き込みできません。書き換え可能ディスクの場合、MediaBrowser で自動的にデータを消去します。
- ディスクへの書き込み中には他のアプリケーションでの動作や作業は行わないでください。
- 顔検出で検出された顔とチャプターは MediaBrowser 上でのみ表示されます。
- MediaBrowser の Windows XP 上での使用は、Microsoft 社による Windows XP のサポートが終了次第、動作保証外とさせていただきます。

制限事項

- サポートしているファイルフォーマットでも、映像や音声の記録方法によりコンテンツとしてご利用いただけない場合があります。
- 2 台以上のビデオカメラをパソコンに接続している場合は、MediaBrowser を使用できません。
- ライブラリの保存先やファイル書き出し時の保存先に、C: ¥のようなルートディレクトリや、システムフォルダ、Windows フォルダ、光学ドライブを指定することはできません。
- Windows エクスプローラ画面のリムーバブルディスクから、MediaBrowser のライブラリへファイルをドラッグ & ドロップすることでの登録はできません。
- MediaBrowser でファイルを編集、変換して保存すると、画質が元の映像より低下します。
- MediaBrowser のメモ欄（P.23）などに文字を入力する場合、Unicode の文字をコピー&ペーストすると文字化けします。
- MediaBrowser で作成したディスクは、すべての再生機器での再生を保証するものではありません。
- MediaBrowser でのディスク作成時に、他社製のディスク作成ソフトウェアがインストールされていると、正常に動作しないことがあります。この場合は、同時に使用されないことを推奨します。
- ご使用のドライブによっては、書き換え可能ディスクを消去する時のプログレスバーが正しく表示されない場合があります。
- アップロード機能を使用する場合、YouTube の仕様により 1 時間あたりのアップロード数に制限がかかる場合があります。
- YouTube、Facebook の仕様変更などに対して、将来にわたっての動作を保証するものではありません。また、すべての環境での動作を保障するものではありません。
- 制限事項に関する最新情報は下記ホームページをご覧ください。

  http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

対応ファイル

本ソフトウェア (MediaBrowser) が付属しているカメラで撮影したファイルと一部の静止画を扱えます。

＊ 音楽ファイルは動画編集でのみ扱えます。
＊ お使いのビデオカメラの機種によって、対応していないメディアやディスクがあります。

読み込み

ファイル形式

- MediaBrowser が付属しているビデオカメラで撮影した映像ファイル：MTS（.mts）
- MediaBrowser で編集して保存した映像ファイル：MBT(.mbt)
- JPEG (.jpg)
- PNG(.png)
- BMP(.bmp)
- 動画編集で使用する音楽ファイル (.mp3)(.wav)

対応メディア

- ビデオカメラ内蔵ハードディスク／ビデオカメラ内蔵メモリー
- SD メモリーカード
- 外付型ハードディスク（直接ビデオカメラに接続したときのみ）

ファイルフォーマットについて

- ファイルフォーマット「.mbt」は、MediaBrowser でのみ扱えます。
- Google Earth へのエクスポート機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

書き出し

ファイル形式

- 動画編集：MBT (.mbt)
- 静止画：JPEG (.jpg)
- YouTube ／ Facebook ／動画共有サイトへのアップロード用：WMV (.wmv)
- iTunes へのエクスポート用：M4V (.m4v) BE
- Google Earth へのエクスポート用：KMZ (.kmz)
- マイポケットへのエクスポート用：MTS (.mts)、MBT(.mbt)、WMV(.wmv)、静止画ファイル

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できない機能があります。

対応メディア

Blu-ray、AVCHD、DVD-Video の映像フォーマットで、以下のディスクに書き込めます。ただし、使用するディスクによって、書き込める映像フォーマットが異なります。

対応ディスク	DVD-Video	AVCHD	Blu-ray
DVD-R 、DVD-R DL 、DVD-RW	○	○	×
DVD+R 、DVD+R DL 、DVD+RW	○	○	×
BD-R 、BD-R DL 、BD-RE 、BD-RE DL	×	×	○

＊UXP モードおよび AVCHD progressive で撮影した映像は、Blu-ray フォーマットでのみ書き込めます。AVCHD フォーマットのディスクに書き込む場合は、XP モード相当に変換してください。
＊8cm ディスクには対応していません。
＊書き換え可能ディスクの場合、MediaBrowser で自動的にデータを消去します。

保存場所と使用できる機能

ファイルが保存されている場所によって、MediaBrowser で使用できる機能が異なります。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できない機能があります。

機能	保存場所		
	ビデオカメラ（デバイス）	外付型 ハードディスク	パソコン（ライブラリ）
パソコンへのバックアップ	○	–	–
DVD ／ BD の作成	○	○	○
ダイレクトディスク	○	×	×
iTunes へのエクスポート	○	○	○
YouTube への アップロード	○	○	○
Facebook への アップロード	○	○	○
Google Earth 用 ファイル書き出し	○	○	○
.wmv 形式に書き出す	○	○	○
マイポケット用に書き出す	○	○	○
動画編集	○	○	○
静止画編集	○	○	○

MediaBrowser の種類と使用できる機能

各 MediaBrowser で使用できる機能の一覧です。

機能	MediaBrowser 4 BE	MediaBrowser 4
パソコンへの取り込み	○	○
DVD ／ BD の作成	○	○ ＊ Blu-ray ディスクには対応していません
ダイレクトディスク ＊ DVD-Video には対応していません	○	○ ＊ Blu-ray ディスクには対応していません
iTunes へのエクスポート	○	×
YouTube への アップロード	○	○
Facebook への アップロード	○	○
Google Earth 用 ファイル書き出し	○	○
.wmv 形式に書き出す	○	○
マイポケット用に書き出す	×	○
動画編集	○	○
静止画編集	○	○
顔の検出、ファイルの解析	○	○

起動する

ビデオカメラの接続

1 ビデオカメラに AC アダプターを接続し、コンセントに差し込みます。

2 ビデオカメラの電源を入れます。

3 ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続します。

➡ ビデオカメラの液晶画面に選択画面が表示されます。

4 ビデオカメラのメニュー画面でパソコンへの接続メニューを選択します。

ビデオカメラの操作については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

ビデオカメラの接続について

MediaBrowser 使用中にビデオカメラとパソコンの接続が解除されると、ビデオカメラに保存されているファイルが破損するおそれがあります。

パソコンとビデオカメラの接続や取り外しは以下の事項をお守りください。

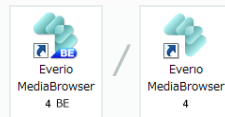
- ビデオカメラの電源は AC アダプターを使用する。
- ビデオカメラは USB ケーブルで直接パソコンに接続する。（USB ハブを経由した接続では正常に動作しない場合があります）

MediaBrowser の起動

MediaBrowser の起動には以下の方法があります。

ビデオカメラを接続する

ビデオカメラを接続し、ビデオカメラのメニューを選択すると、自動的に起動します。

ショートカットアイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

/
スタートメニューから起動する

[スタート] メニュー -[すべてのプログラム]-[PIXELA]-[Everio MediaBrowser 4]-[Everio MediaBrowser 4] を選択します。

＊ Windows 8/Windows 8.1 ではご利用になれません。

検索して起動する（Windows 8/Windows 8.1）

スタート画面 - チャームの［検索］で「Everio MediaBrowser 4」を検索し、［Everio MediaBrowser 4］をダブルクリックします。

最新情報の確認機能

MediaBrowser の起動時に、最新バージョンや製品情報を確認するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、インターネットブラウザが起動して、対象のページへジャンプします。

＊ パソコンがインターネットに接続されている場合のみ表示されます。

＊ メッセージの表示／非表示を設定することができます。（P.119）

終了する

ビデオカメラの取り外し

1 タスクトレイの または アイコンをクリックします。

＊ ご利用の OS によって表示が異なります。

2 [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:)] をクリックします。

＊「ドライブ（X:)」のアルファベットは、お使いのパソコンによって異なります。
＊ 複数表示される場合は、ビデオカメラに該当する項目を選択します。

➡ 取り外し可能のメッセージが表示されます。

3 ビデオカメラを取り外します。

MediaBrowser の終了

ウィンドウ右上の または をクリックすると終了します。

＊ ご利用の OS によって表示が異なります。
＊ ダイアログや設定画面が表示されている場合は、それらを閉じてから終了してください。

パソコンに取り込んで DVD ／ BD に書き出そう

準備

まだパソコンに取り込まれたことのないビデオカメラ内のファイルをすべて取り込みます。

すでに取り込んだファイルをもう一度取り込む場合や、ファイルを個別に取り込む場合は、P.113 の方法で取り込んでください。または P.118 の環境設定画面で読み込み済みマークをリセットしてください。

1 ビデオカメラをパソコンに接続します。

すでにビデオカメラを接続している場合

ビデオカメラのファイルを MediaBrowser で見ている場合は、メニューパネルの をクリックしてください。

2 ビデオカメラのメニューから「バックアップする」を選択します。

➡ MediaBrowser のバックアップ画面が表示されます。

次のページへ

Step 1　ボリュームの選択

ファイルの保存先を選択します。

1 パソコンに保存したいファイルがあるボリュームを選択します。

＊ ファイルシステムが NTFS の保存先を選んでください。

自動分割ファイルを結合する

長時間連続で撮影した場合、ビデオカメラが自動的に映像をいくつかのファイルに分けて保存します。分割保存されたファイルは、ビデオカメラで 1 つの映像として再生できますが、パソコン上では複数のファイルとして認識されるため、取り込み時に 1 つのファイルとして結合しておくことをおすすめします。

＊ 結合しない場合、予期せぬ場面でファイルが分割されていたり、複数ファイルでの再生時にファイルのつなぎ目で映像が途切れたりすることがあります。なお、ファイルシステムが NTFS の保存先が見つからない場合は、自動分割ファイルを結合することができないため、チェックマークを入れることができません。

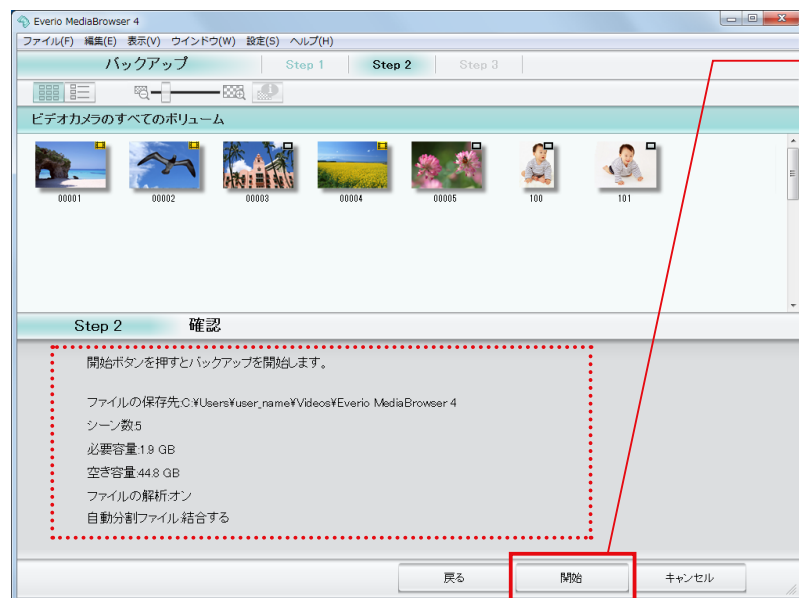
＊ 取り込み時に結合しなかった自動分割ファイルは動画編集 P.38 で再生順に並べて書き出すことで結合できます。（バックアップで取り込んだ場合、またはビデオカメラから直接取り込んだ場合に限ります）

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては対応していない場合があります。

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　確認

設定を確認します。

1　表示される内容を確認し、[開始] をクリックします。

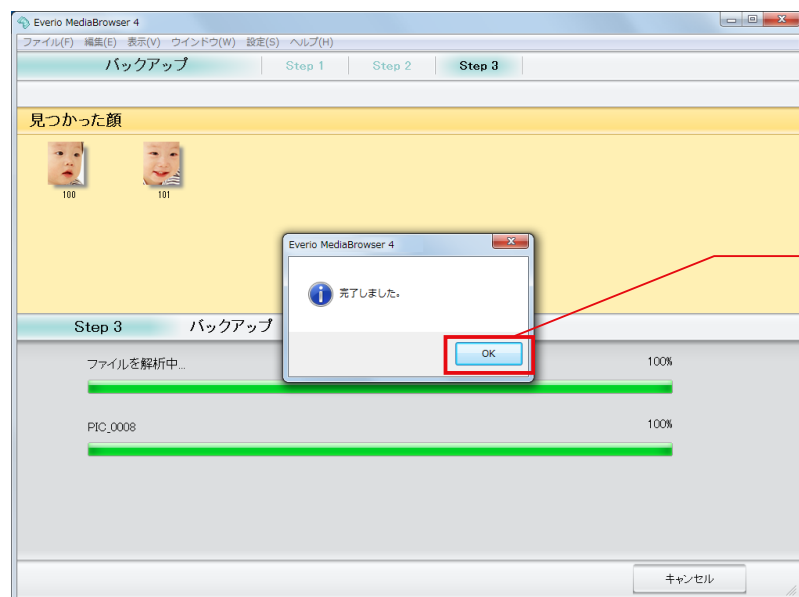
項目	内容
ファイルの保存先	ファイルが保存される場所です。
シーン数	パソコンに保存されるファイルの数です。
必要容量	ファイルを保存するために必要な容量です。
空き容量	保存場所の空き容量です。
ファイルの解析	ファイルに含まれる顔を検出します。
自動分割ファイルを結合する	ビデオカメラが自動的に分割した映像ファイルを結合して取り込みます。

➡ 取り込みが開始されます。

＊ デフォルトでは「マイ ビデオ」/「ビデオ」または「マイ ドキュメント」/「ドキュメント」に保存されます。

保存先やファイルの解析について設定を変更する

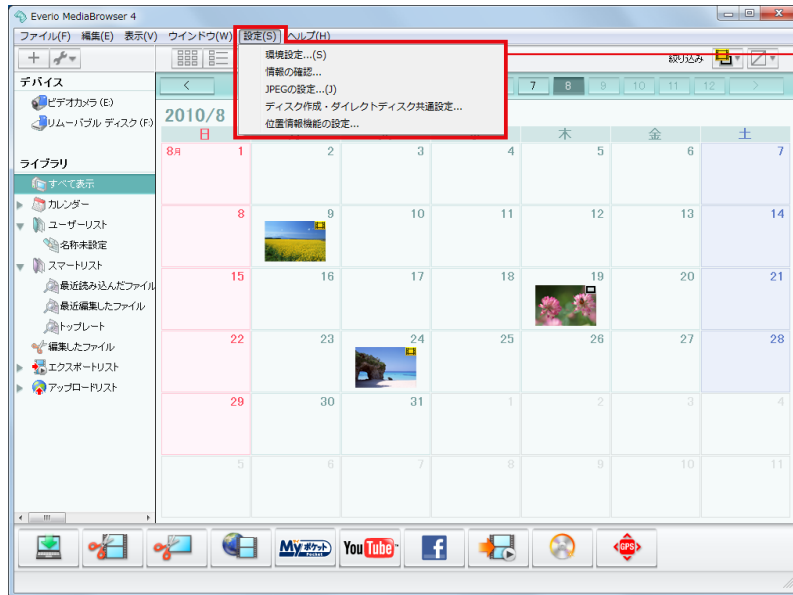
環境設定（P.118）で変更できます。

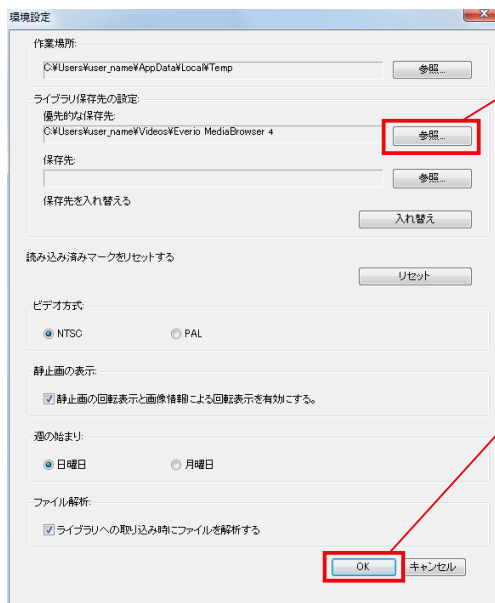
＊ 必要容量がパソコンの空き容量より大きい場合は、ファイルの保存ができません。十分な空き容量のある保存先を変更してください。

2　完了メッセージで、[OK] をクリックします。

取り込んだファイルについて

この方法で一度取り込んだファイルは、次回から表示されなくなります。2 回目以降は P.113 の方法で取り込むか、P.118 の環境設定画面で読み込み済みマークをリセットしてください。

ファイルの保存先を変更する

ビデオカメラからファイルを取り込むときのパソコンの保存先を変更します。

1 [設定] メニューの [環境設定] をクリックします。

➡ 環境設定画面が表示されます。

2 [参照] をクリックします。

保存先の違いについては環境設定（P.118）を参照してください。

3 保存先を指定します。

＊ C: ¥などのルートディレクトリやシステムフォルダー、Windows フォルダー、光学ドライブを指定することはできません。

4 [OK] をクリックします。

➡ 次回の取り込みから、指定した場所にファイルが保存されます。

＊ 保存先を変更する前に取り込んだファイルは変更前の保存先に残ります。

画面説明

MediaBrowser を起動すると表示される画面です。

操作パネル

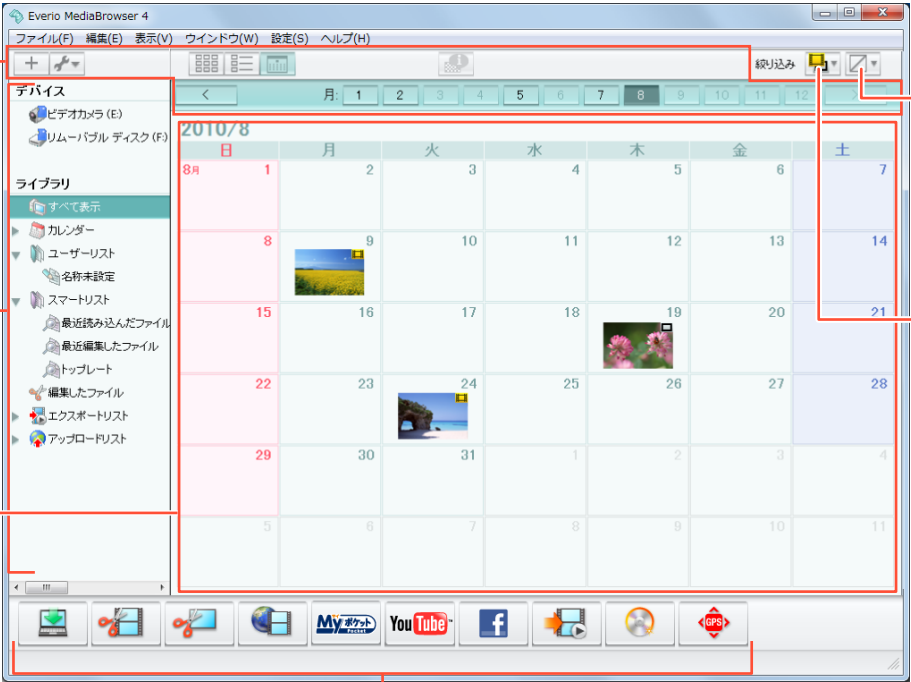
ブラウザーパネルの表示の切り換えや、詳細情報を表示したりなど、さまざまな操作ができます。

P.22

ソースパネル

ファイルが保存または仕分けされている場所を選択します。

ブラウザーパネル

ライブラリで選んだ場所に保存されている映像や静止画などの一覧が表示されます。

フィルタ（ファイル用途）

ブラウザーパネルに表示するファイルを、ファイル用途で絞り込みます。

フィルタ（ファイル形式）

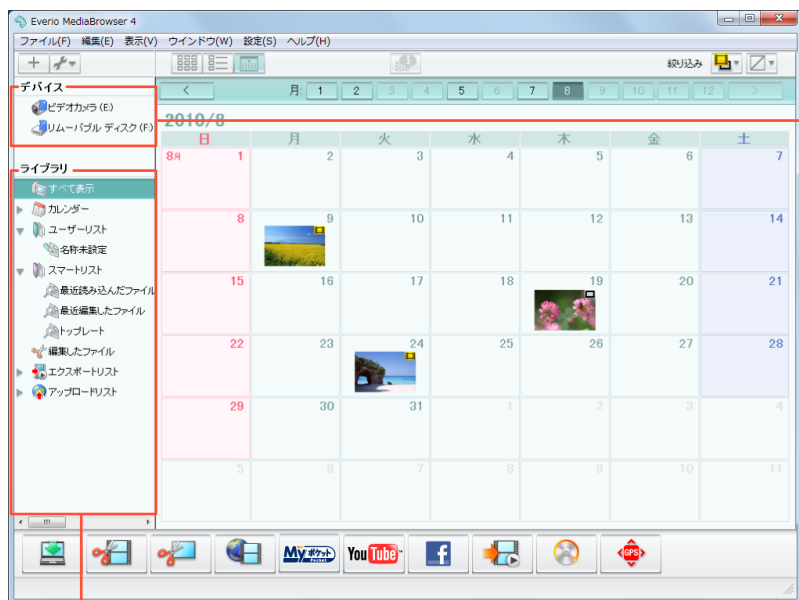
ブラウザーパネルに表示するファイルを、ファイル形式で絞り込みます。

メニューパネル

ボタンをクリックすると目的の操作画面に進みます。

機能	ページ
ファイルの取り込み ＊デバイス選択時のみ	P.14
映像ファイルの編集	P.38
静止画ファイルの編集	P.52
動画共有サイト用にファイル形式を変換	P.88
マイポケット用ファイルの書き出し ＊お使いのビデオカメラの機種によっては対応していない場合があります。	P.92
YouTube へのアップロード	P.75
Facebook へのアップロード	P.82
iTunes へのエクスポート BE	P.71
DVD ／ BD 作成	P.28
Google Earth 用に書き出す ＊[設定] メニューの「位置情報機能の設定」(P.122) の「位置情報に関する機能を使用する」にチェックを入れると表示されます。 ＊この機能は、ビデオカメラ (Everio) で位置情報を記録した場合のみ使用できます。	P.96

次のページへ

ソースパネルのアイコン

デバイス

パソコンに接続されている機器です。

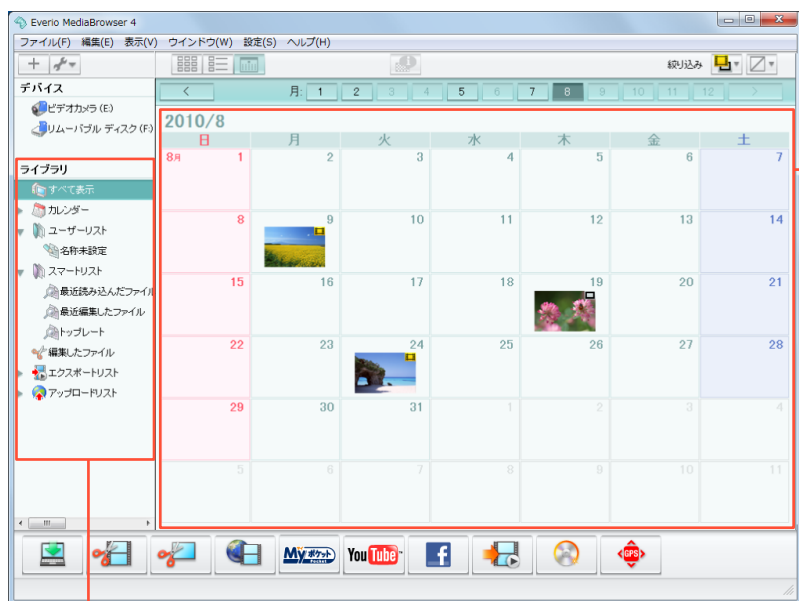
	ビデオカメラ	メモリーまたはハードディスクを内蔵したビデオカメラを接続したときに表示されます。
	SD メモリーカード	SD メモリーカードが挿入されているビデオカメラを接続したときに表示されます。
	リムーバブルディスク	外付けの記憶媒体を接続したときに表示されます。
	外付型ハードディスク	ビデオカメラのファイルをバックアップしたハードディスクを接続したときに表示されます。 ＊お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。 ＊2 台以上接続している場合は、どれか 1 台のみ表示されます。
	ディスクドライブ	ビデオカメラのファイルをバックアップした DVD ／ BD をセットしたときに表示されます。 ＊お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。 ＊2 台以上接続している場合は、どれか 1 台のみ表示されます。

ライブラリ

パソコンに取り込んだファイルの分類です。

	すべて表示	ライブラリに保存されているすべてのファイルを表示します。
	カレンダー	ライブラリに保存したファイルを撮影日を指定して表示します。
	ユーザーリスト	ライブラリに保管されているファイルの中から、任意で集めたファイル集です。
	スマートリスト	ライブラリに保管されているファイルの中から、指定の条件にしたがって集めたファイル集です。
	編集したファイル	編集オブジェクトと編集して書き出したファイルが表示されます。
	エクスポートリスト	iTunes へエクスポートする予定のファイルと、iTunes へエクスポートしたファイルを表示します。BE
	アップロードリスト	インターネットにアップロードする予定のファイルと、インターネットにアップロードしたファイルを表示します。

次のページへ

ブラウザーパネルのアイコン

移動不可マーク

ライブラリのファイルをドラッグ＆ドロップするときに、ファイルを移動できない場所の上で 🚫 が表示されます。

アイコン

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては表示されないアイコンがあります。

アイコン	説明	アイコン	説明
	映像ファイルです。		静止画ファイルです。
UXP	UXP モードの映像ファイルです。		動画編集で作成した編集オブジェクトです。
1080p	AVCHD Progressive の映像ファイルです。		
	ファイルを解析した結果、顔が検出されたファイルです。		ビデオカメラで「iTunes へエクスポート予定」と設定されたファイルです。 BE
	ファイルを解析した結果、顔が検出されなかったファイルです。		iTunes へ転送済みのファイルです。 BE
	DVD ディスク（DVD-Video フォーマット）に書き込み済みのファイルです。		ビデオカメラで「インターネットへアップロード予定」と設定されたファイルです。
	DVD ディスク（AVCHD フォーマット）に書き込み済みのファイルです。		インターネットへアップロード済みのファイルです。
	Blu-ray ディスクに書き込み済みのファイルです。 BE	GPS	位置情報が記録されているファイルです。 ＊ 位置情報の設定が有効時のみ。
	[ファイルが見つからないマーク] 以前ライブラリに追加されたファイルで、そのファイルが移動・削除されるなどして、現在は見つからない場合に表示されます。 ＊ 元ファイルが無い場合は、サムネイルを削除してください。 Q&A　P.124	?	[各機能で使用できないマーク] アップロードやエクスポート時に、使用できないファイルに表示されます。
	[読み込み済みマーク] ビデオカメラに保存されているファイルで、これまでパソコンに取り込まれたことのあるファイルに表示されます。		マークのリセット方法　P.118

基本操作

表示を切り換える

ブラウザーパネルの表示方法によって、操作パネルに表示される機能が異なります。

サムネイル形式で表示します。

P.24

リスト形式で表示します。

P.25

カレンダー形式で表示します。

P.22、P.23

リストで管理する

ファイルをテーマや目的ごとに仕分けするときに使います。

P.105、P.107

＋ ユーザーリストを追加します。

ライブラリで選択している項目に応じて、メニューが表示されます。

ファイルを表示する

目的の年、月または日を選択します。

▶ をクリックすると、そこに含まれる項目が表示されます。

すべてのファイルを表示する場合は、[すべて表示] をクリックします

ファイルを再生する

ファイルをダブルクリックします。

P.26

＊ビデオカメラの映像を見るには、ビデオカメラを接続してからカメラのメニューで［パソコンで見る］を選択してください。

サムネイル上にマウスをあてて、ブラウザーパネル上で再生することもできます。

ファイルを削除する

ファイルを選んで、ファイルを選んでメニューの [編集] から削除を選びます。次に、表示される確認ダイアログで削除の方法を選択します。パソコンから完全に削除する［完全に削除］と、ライブラリに表示させないだけの［ファイルを残す］の、２種類の方法があります。

＊スマートリストにあるファイルは削除できません。

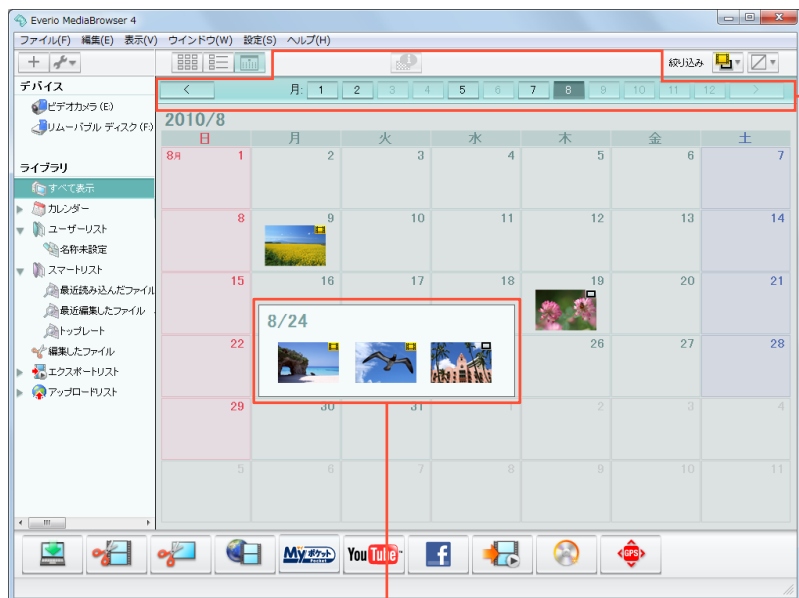
＊ユーザーリストのファイルを削除した場合は、確認ダイアログが表示されずにリスト上から消去され、ライブラリには映像が残ります。

次のページへ

を押すとカレンダー表示（月ごとの表示）に切り換わります。さらに、サムネイルが表示されている日付をクリックすると、日ごとの表示に切り換わります。

操作パネル（月ごとのカレンダー表示）

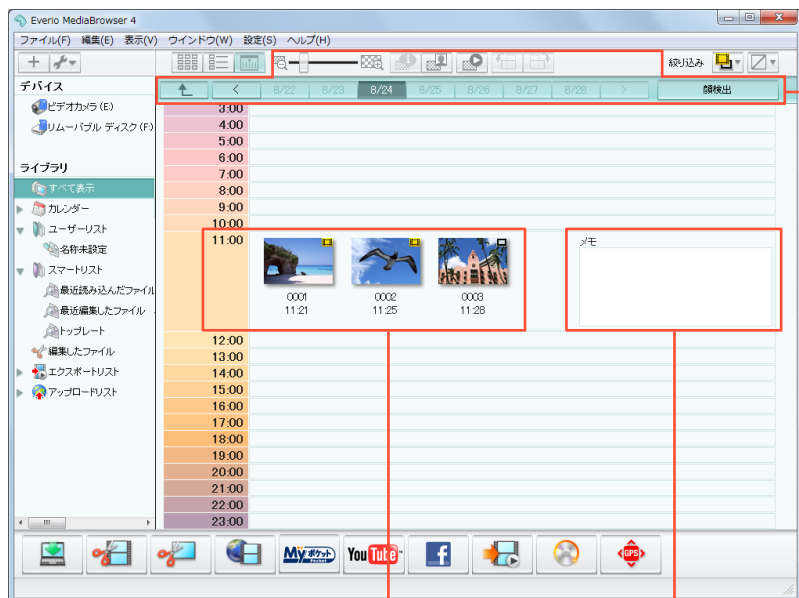
操作パネル

ボタン	説明
（顔表示ボタン）	検出された顔を表示します。 ＊あらかじめファイルを解析しておく必要があります。 ＊ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、認識される顔が異なる場合があります。 P.101
<	前年のカレンダーに移動します。表示中のファイルより前の年に撮影したファイルがない場合は使用できません。
1 ～ 12	撮影したファイルがある月のボタンのみ使用できます。
>	次の年のカレンダーに移動します。表示中のファイルより後の年に撮影したファイルがない場合は、使用できません。

サムネイルの一覧を表示する

日付の上にマウスカーソルをしばらく合わせていると、その日に撮影したファイルのサムネイル一覧が表示されます。

次のページへ

を押してカレンダー表示にしてから、サムネイルが表示されている日付をクリックすると、日ごとの表示に切り換わります。

操作パネル（日ごとのカレンダー表示）

サムネイルの一覧を表示する

ファイルを撮影した時間の欄に、ファイルのサムネイルが表示されます。

メモを入力する

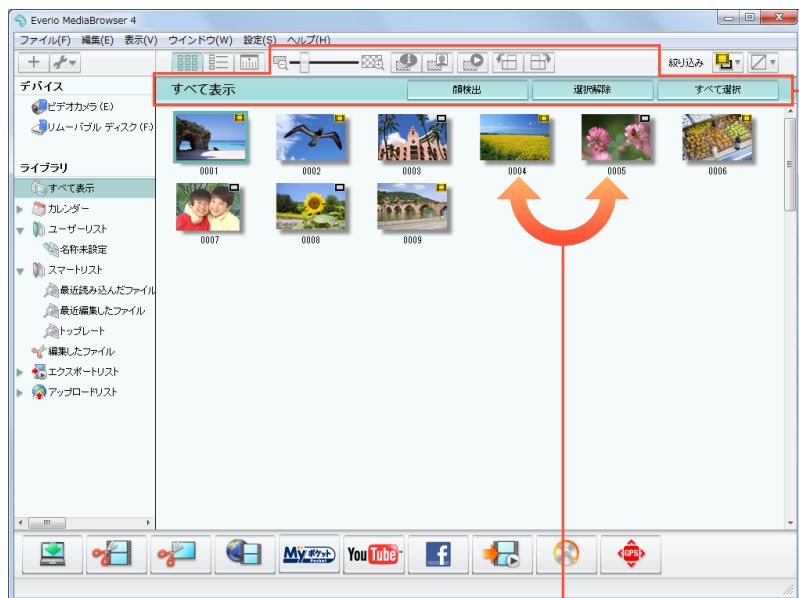
ファイルを撮影した時間に対してメモを入力できます。
＊ソースパネルで［デバイス］を選択した場合は入力できません。

操作パネル

	スライドさせることで、サムネイルのサイズを変更できます。
	ファイルの詳細情報を表示します。 ＊タイトル名やサムネイルを変更することもできます。（P.103） ＊編集した映像は、元の映像と［システムビットレート］が異なる場合や、［ビデオビットレート］の値が表示されなくなることがあります。
	検出された顔を表示します。 ＊あらかじめファイルを解析しておく必要があります。 ＊ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、認識される顔が異なる場合があります。 P.101
	再生画面に切り換わります。 P.26
	：静止画を左回転します。 ：静止画を右回転します。 ＊環境設定（P.118）の「静止画の表示」で設定を有効にしておく必要があります。
	月ごとの表示に戻ります。
<	表示中のファイルより前に撮影したファイルがある週のカレンダーに移動します。
1/1 〜 12/31	撮影したファイルがある日付のボタンのみ使用できます。
>	表示中のファイルより後に撮影したファイルがある週のカレンダーに移動します。
顔検出	顔の解析を行います。 P.102

次のページへ

を押すとサムネイル表示に切り換わります。

操作パネル（サムネイル表示）

ファイルを並べ替える

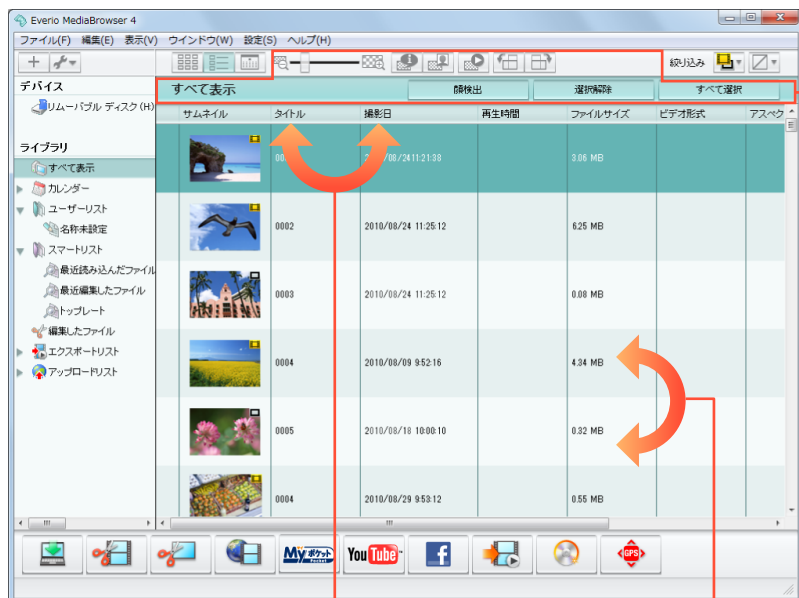
ソースパネルですべて表示またはユーザーリストを選択して、ファイルをドラッグ＆ドロップします。

操作パネル

	スライドさせることで、サムネイルのサイズを変更できます。
	ファイルの詳細情報を表示します。 ＊タイトル名やサムネイルを変更することもできます。（P.103） ＊編集した映像は、元の映像と［システムビットレート］が異なる場合や、［ビデオビットレート］の値が表示されなくなることがあります。
	検出された顔を表示します。 ＊あらかじめファイルを解析しておく必要があります。 ＊ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、認識される顔が異なる場合があります。 P.101
	再生画面に切り換わります。 P.26
	：静止画を左回転します。　：静止画を右回転します。 ＊環境設定（P.118）の「静止画の表示」で設定を有効にしておく必要があります。
顔検出	顔の解析を行います。 P.102
選択解除	ファイルの選択を解除します。
すべて選択	ブラウザーパネルに表示されているファイルをすべて選択します。

次のページへ

を押すとリスト表示に切り換わります。

操作パネル（リスト表示）

項目で並べ替える

項目名をクリックします。項目名の順番をドラッグ & ドロップで入れ替えることもできます。
＊項目によっては並べ替えられません。

表示する項目は、[ウインドウ] メニューから [表示オプションを表示 ...] を選択して、表示されるオプションウィンドウで変更できます。
＊ただし、ファイルの状態、サムネイルおよびタイトルは非表示にできません。

ファイルを並べ替える

ファイルをドラッグ＆ドロップで移動させます。
＊ソースパネルですべて表示またはユーザーリストを選択時のみ。

操作パネル

（スライダー）	スライドさせることで、サムネイルのサイズを変更できます。
（詳細情報）	ファイルの詳細情報を表示します。 ＊タイトル名やサムネイルを変更することもできます。（P.103） ＊編集した映像は、元の映像と [システムビットレート] が異なる場合や、[ビデオビットレート] の値が表示されなくなることがあります。
（顔表示）	検出された顔を表示します。 P.101 ＊あらかじめファイルを解析しておく必要があります。 ＊ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、認識される顔が異なる場合があります。
（再生）	再生画面に切り換わります。 P.26
（回転）	：静止画を左回転します。　：静止画を右回転します。 ＊環境設定（P.118）の「静止画の表示」で設定を有効にしておく必要があります。
顔検出	顔の解析を行います。 P.102
選択解除	ファイルの選択を解除します。
すべて選択	ブラウザーパネルに表示されているファイルをすべて選択します。

再生画面

ファイルをダブルクリックすると、再生画面に切り換わります。

再生パネル

ブラウザーパネルに表示されているファイルを表示します。ファイルをクリックすると、再生が開始されます。

全画面ボタン

クリックすると全画面で表示されます。全画面のときにもう一度画面上をダブルクリックすると、もとの画面サイズに戻ります。

＊ 画面上をダブルクリックすることでも全画面表示にできます。

静止画キャプチャボタン

表示されている映像の場面を静止画として保存します。

P.66

設定

再生中のスライドショーの表示時間や切り換え方法を設定します。

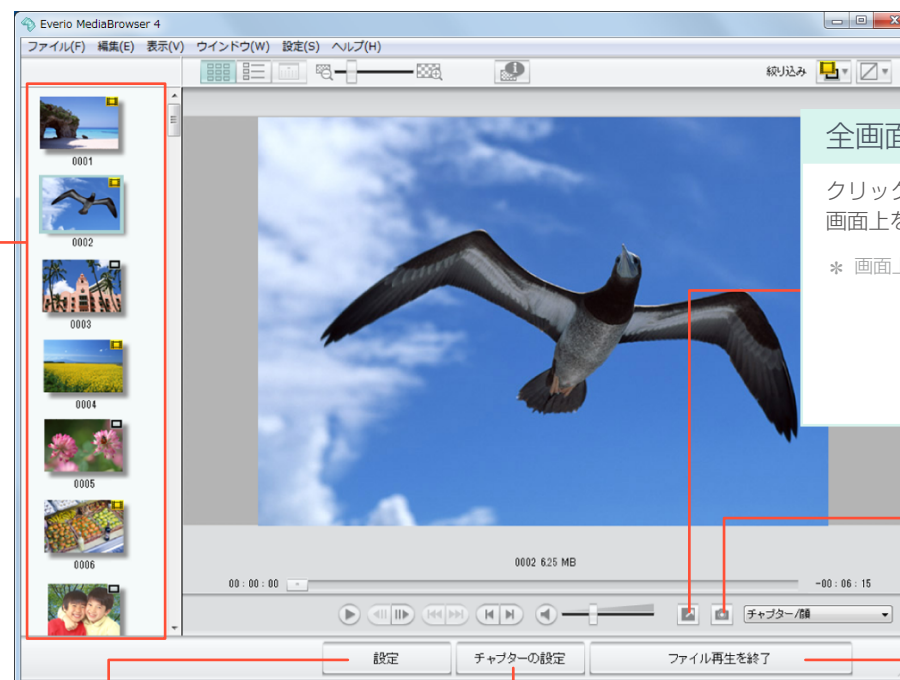
チャプターを設定する

チャプター設定画面を表示して、再生中の映像ファイルにチャプターを設定します。

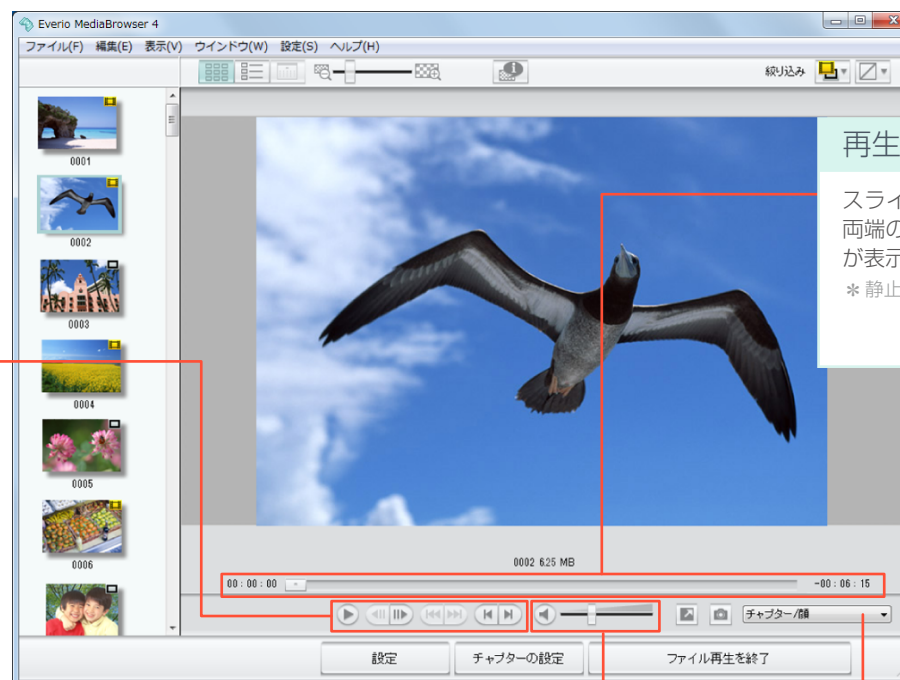
P.50

ブラウザー画面に戻る

クリックすると、ブラウザー画面に戻ります。

次のページへ

再生画面の操作

ファイルを見る

	再生／一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。
	前のフレームへ移動します。
	次のフレームへ移動します。
	前のチャプターへ移動します。
	次のチャプターへ移動します。
	再生中のファイルの先頭にジャンプします。 ＊再生位置が先頭の場合は、前のファイルの先頭にジャンプします。
	次のファイルの先頭にジャンプします。

再生位置を変更する

スライダーをドラッグ＆ドロップして再生開始位置を指定します。両端の時間は再生時間を表します。左に経過時間、右には再生時間が表示されます。

＊静止画ファイルを再生中の場合、スライダーは表示されません。

音量を調節する

スライダーをドラッグ＆ドロップします。 をクリックすると消音になります。元に戻すときは、もう一度クリックします。

チャプターの表示を切り換える

映像ファイルに設定されているチャプターと、顔が検出されたチャプターの表示を切り換えます。

準備

取り込んだファイルを DVD ／ BD に書き出します。

＊ DVD ／ BD に書き込むファイルのタイトル名を変更したい場合は、あらかじめ P.103 の手順を完了しておいてください。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

ビデオカメラから直接 DVD ／ BD に保存したい場合

「ビデオカメラから直接 DVD ／ BD に保存する」（P.115）の手順で操作してください。

2 書き込む DVD ／ BD をパソコンのディスクドライブにセットします。

エクスプローラ画面などが表示される場合は、ウインドウを閉じてください。

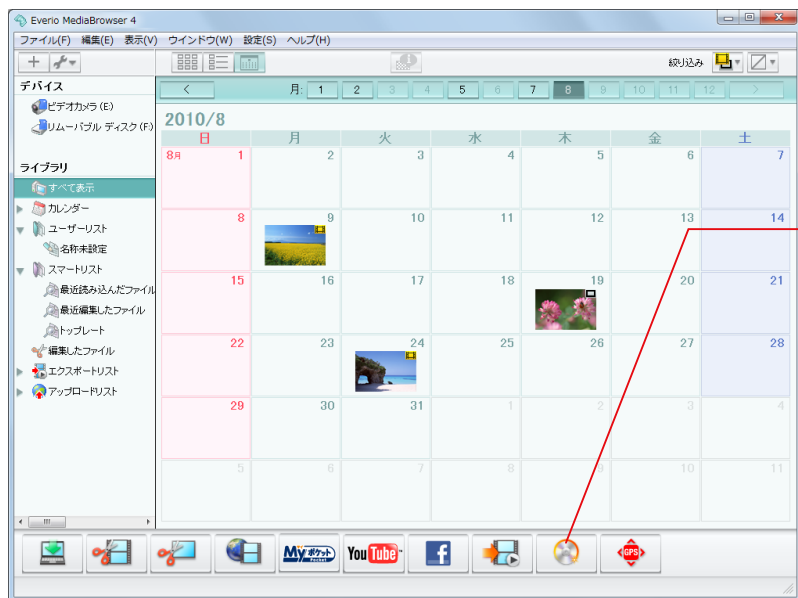
対応ディスク
DVD-R 、DVD-R DL 、DVD-RW 、DVD+R 、DVD+R DL 、DVD+RW
BD-R 、BD-R DL 、BD-RE 、BD-RE DL

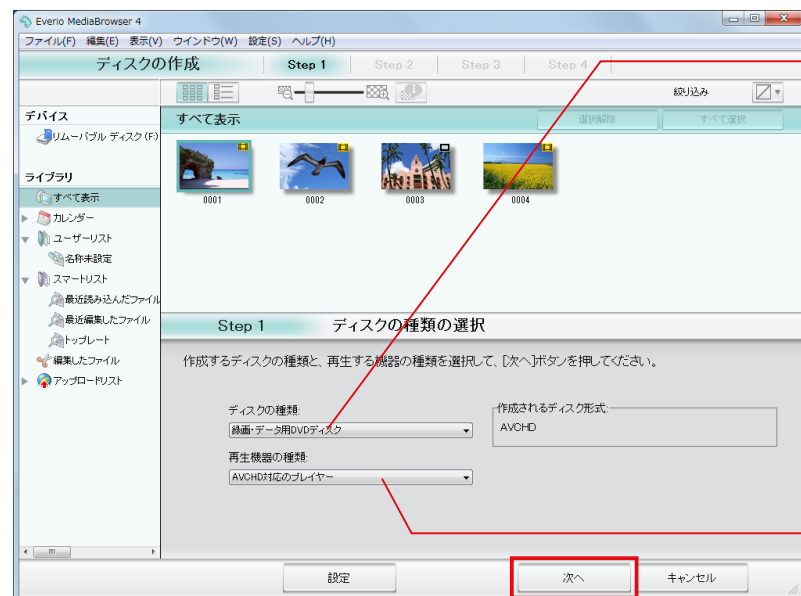
＊お使いのビデオカメラの機種によっては、Blu-ray ディスクに対応していません。

＊8cm ディスクには対応していません。

＊書き換え可能ディスクの場合、MediaBrowser で自動的にデータを消去します。

3 をクリックします。

次のページへ

Step 1　ディスクの種類の選択

作成するディスクや再生機器の種類を選択します。

1 ディスクの種類を選択します。

DVD-Vdeo のディスクを作りたいとき

DVD-Video のディスク作成には、DVD-Video 作成インストーラーが必要になります。

サポートページから無償でダウンロードできますので、以下を選択してサポートページにアクセスしてください。

[メニューバー]-[ヘルプ]-[最新の製品情報はこちら]

ダウンロードが終了したら、インストーラーをダブルクリックし、表示される画面にしたがってインストールしてください。

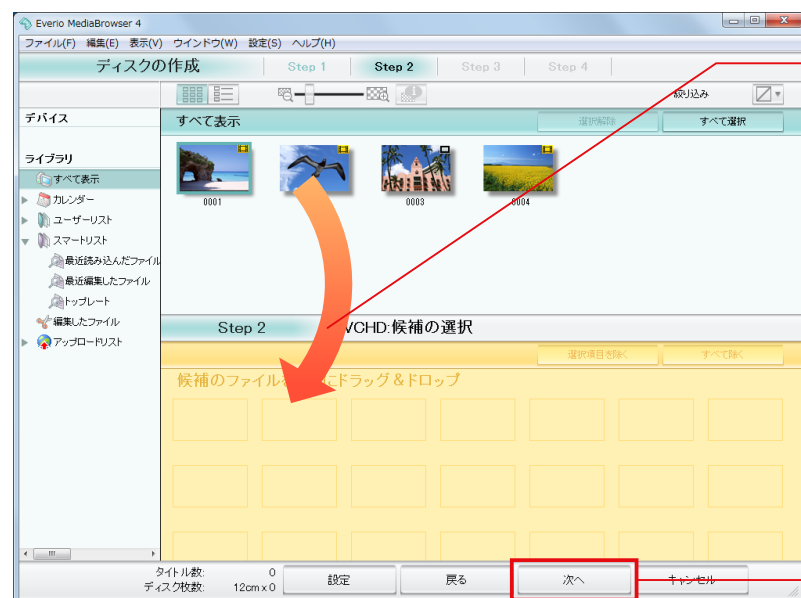
2 ディスクを再生する機器を選択します。

＊ AVCHD ディスクを再生するには、AVCHD 対応の再生機器が必要です。

3 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　ファイルの選択

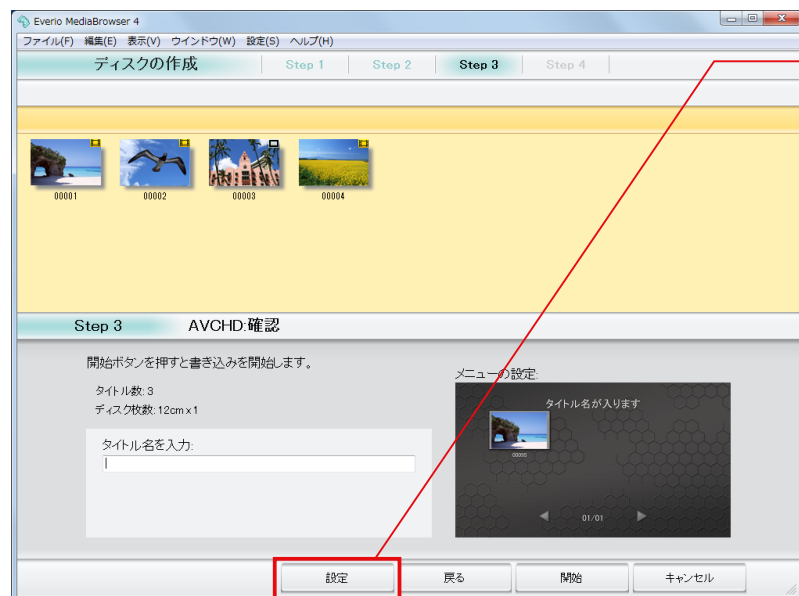
DVD ／ BD に書き込むファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、ディスクに書き込みたい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。
- 画面左下で書き込み容量を確認できます。
  ディスク枚数の表示が赤くなると、一度に書き込めるディスク枚数を超過しているため書き込みできません。一度に書き込めるディスク枚数は、DVD は 5 枚、Blu-ray は 1 枚です。

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 3　確認

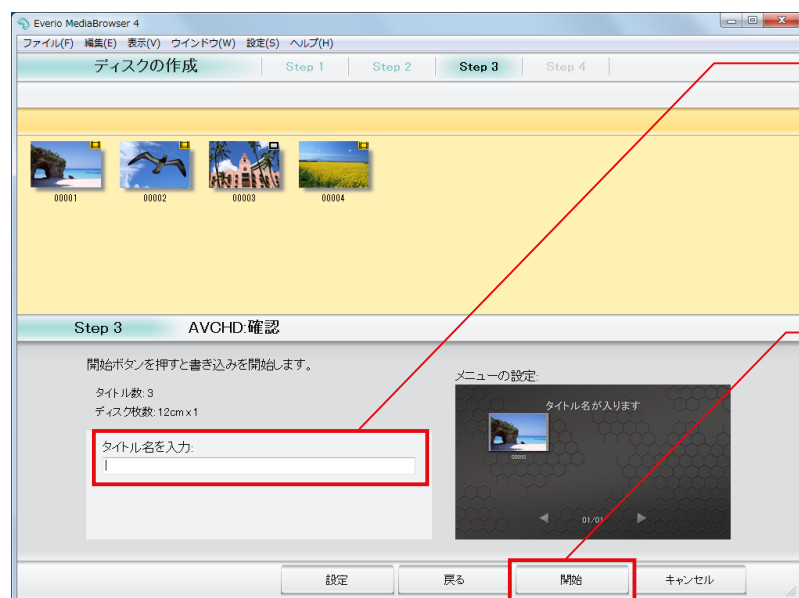
ディスク作成の設定を確認します。

1 [設定] をクリックします。

メッセージが表示される場合

ドライブが見つからないという内容のメッセージが表示される場合は、お使いのドライブが、セットしたディスクに対応していない場合があります。ドライブの対応ディスクを確認してください。

2 ディスク作成の設定をして、[OK] をクリックします。

設定項目の詳細は P.121 を参照してください。

次のページへ

3 メニュー画面のタイトル名を入力します。

Blu-ray ディスクを作成するとき BE

Blu-ray ディスク作成時に AVCHD Progressive を選択した場合、メニュー画面とタイトルはつけられません。

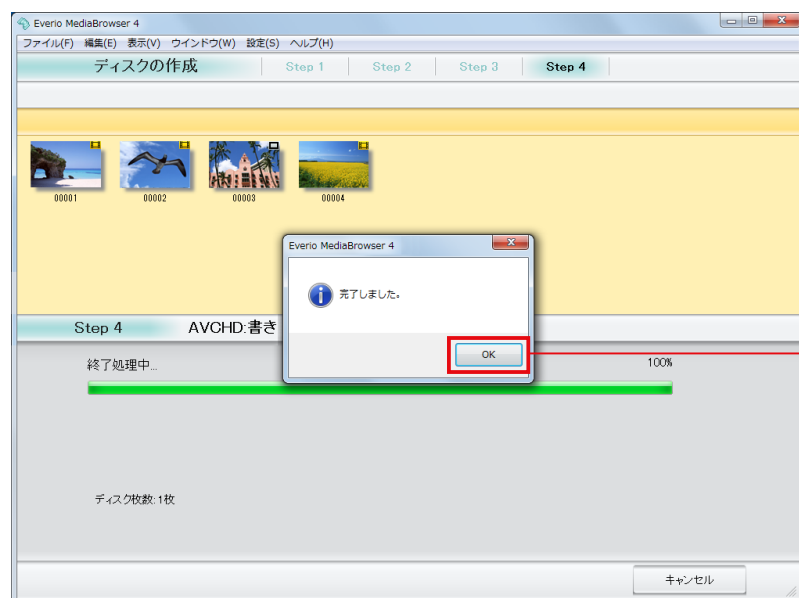
4 [開始] をクリックします。

ディスク作成の設定や、書き込むディスク枚数によっては時間がかかる場合があります。

＊ 書き込み中は、他のアプリケーションの操作などは控えてください。
＊「作業場所の容量が不足しています。」というメッセージが表示される場合は、環境設定（P.118）で作業場所を変更してください。

必要なディスクが 2 枚以上の場合

「次のディスクを挿入してください」とメッセージが表示されたら、ディスクをドライブにセットします。

＊ 一度の操作で最大 5 枚まで（Blu-ray ディスクは 1 枚のみ）のディスクが作成されます。必要なディスクが 5 枚以上の場合は、5 枚目の作成後、同じ手順で書き込みを繰り返してください。

5 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

再生方法

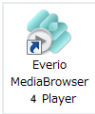
Everio MediaBrowser 4 Player は、ビデオカメラで撮影したファイルや MediaBrowser で作成した DVD ／ BD を再生できます。Blu-ray ディスクや AVCHD フォーマットの DVD ディスクを再生できる機器をお持ちでない場合、パソコンで再生して楽しむことができます。

＊ お持ちのパソコンのディスクドライブが再生するディスクに対応している必要があります。

「Everio MediaBrowser 4 Player」では、以下の映像を再生できます。

	DVD ／ BD		
	DVD-Video	AVCHD	Blu-ray BE
Everio MediaBrowser 4 Player	×	○	○

1 Everio MediaBrowser 4 Player を起動します。

● ショートカットアイコンから起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

● スタートメニューから起動する

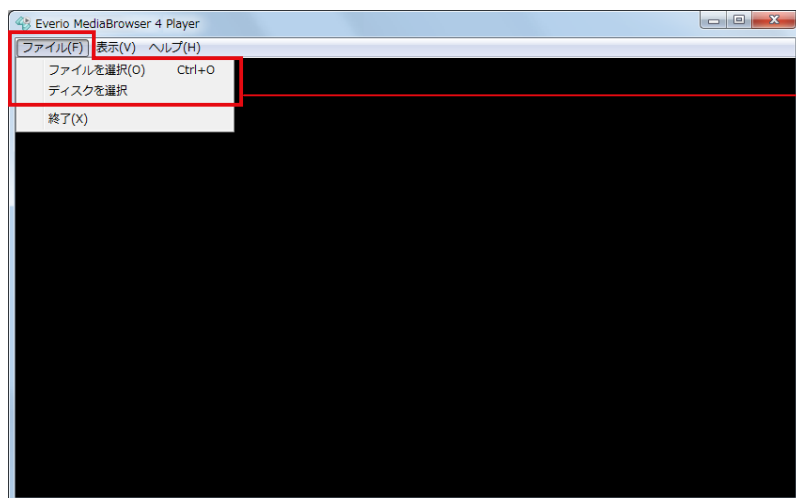
［スタート］メニュー -［すべてのプログラム］-[PIXELA]-[Everio MediaBrowser 4]-[Everio MediaBrowser 4 Player] を選択します。

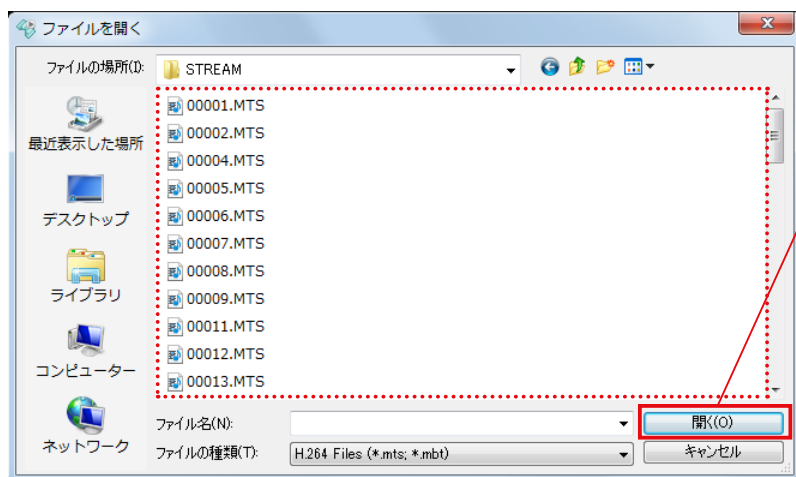
＊ Windows 8/Windows 8.1 ではご利用になれません。

● 検索して起動する（Windows 8/Windows 8.1）

スタート画面 - チャームの［検索］で「Everio MediaBrowser 4 Player」を検索し、[Everio MediaBrowser 4 Player］をダブルクリックします。

➡ Everio MediaBrowser 4 Player の画面が表示されます。

次のページへ

2 [ファイル] をクリックして、再生方法を選択します。

- ファイルを再生する場合は [ファイルを選択] をクリックします。
- DVD ／ BD を再生する場合は [ディスクを選択] をクリックします。

3 再生するファイル／ディスクを選択して、[開く] をクリックします。

➡ 選択したファイル／ディスクが再生されます。

全画面表示で見るとき

映像部分をダブルクリックします。
全画面表示から元の画面に戻るには、映像部分をダブルクリックします。

コントロールパネル

Everio MediaBrowser 4 Player を操作します。

タイトル・チャプター番号

DVD ／ BD 再生時はタイトル番号を表示します。チャプター設定がある場合はチャプター番号を表示します。

再生状態

再生時間で再生時間や早送り、早戻しの倍速などが表示されます。

メニューボタン

DVD ／ BD 再生時にメニュー画面に戻ります。

取り出しボタン

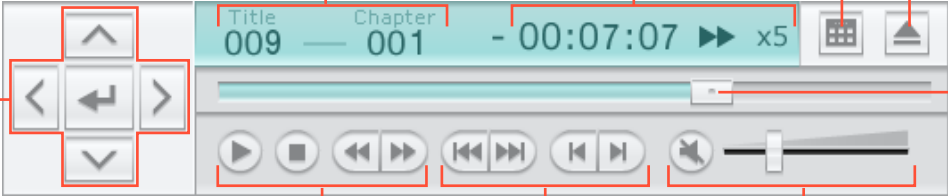
現在再生している DVD ／ BD を取り出します。

ナビゲーションボタン

DVD ／ BD再生時にメニュー画面の操作をします。

再生スライダー

再生位置を表示します。また、スライダーをドラッグ＆ドロップすることにより、再生開始位置を指定できます。

音量レベル

再生中の音量を調節します。 ボタンで消音／消音解除します。

再生コントロールボタン

▶	再生／一時停止します。再生中は一時停止ボタンが表示されます。
■	再生を停止します。
◀◀	映像を早戻しします。 ＊ クリックするたびに、倍速が× 5、× 10、× 30、× 60、× 1、× 5… の順で変化します。
▶▶	映像を早送りします。 ＊ クリックするたびに、倍速が× 5、× 10、× 30、× 60、× 1、× 5… の順で変化します。

スキップボタン

I◀◀	再生中のチャプターの先頭にジャンプします。
▶▶I	次のチャプターにジャンプします。
I◀	再生中のタイトルの先頭にジャンプします。 ＊ 再生位置が先頭の場合は、前のタイトルの先頭にジャンプします。
▶I	次のタイトルの先頭にジャンプします。

次のページへ

ショートカットキー

再生中は、キーボードで下記の操作ができます。

操作	ショートカットキー
再生／一時停止	Space バー
停止	[S]
早戻し	[Ctrl] ＋ [←]
早送り	[Ctrl] ＋ [→]
前のチャプターへ	[←]
次のチャプターへ	[→]
ミュート	[M]
音量アップ	[Shift] ＋ [↑]
音量ダウン	[Shift] ＋ [↓]
全画面表示／解除	[F]

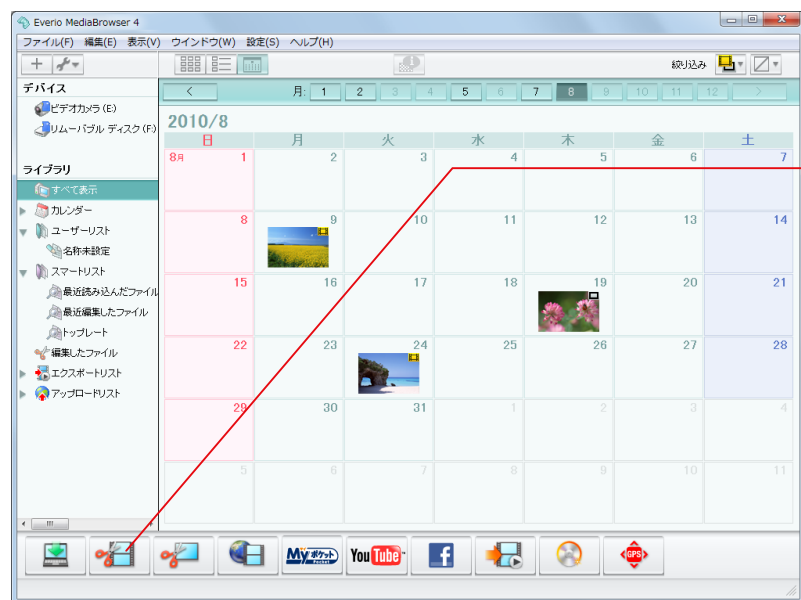
編集しよう

映像を編集する

準備

映像と静止画、音楽などを組み合わせて編集することができます。

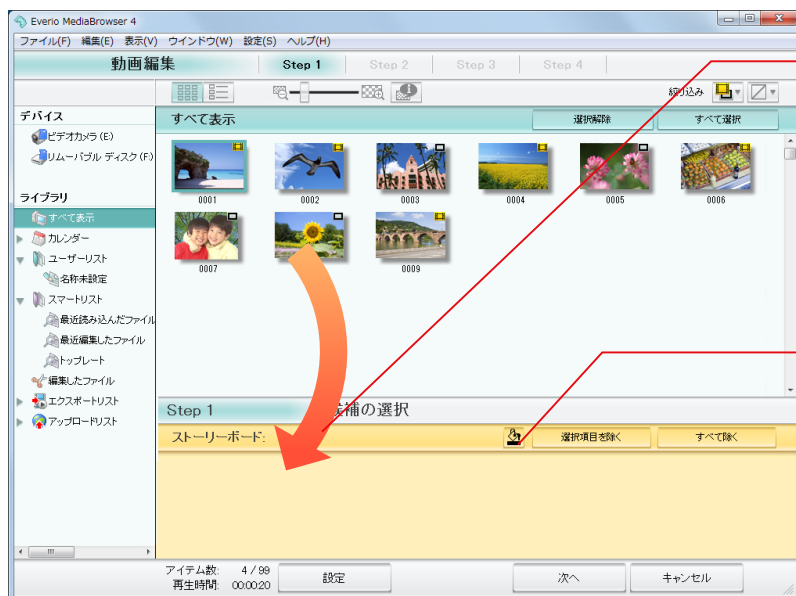
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

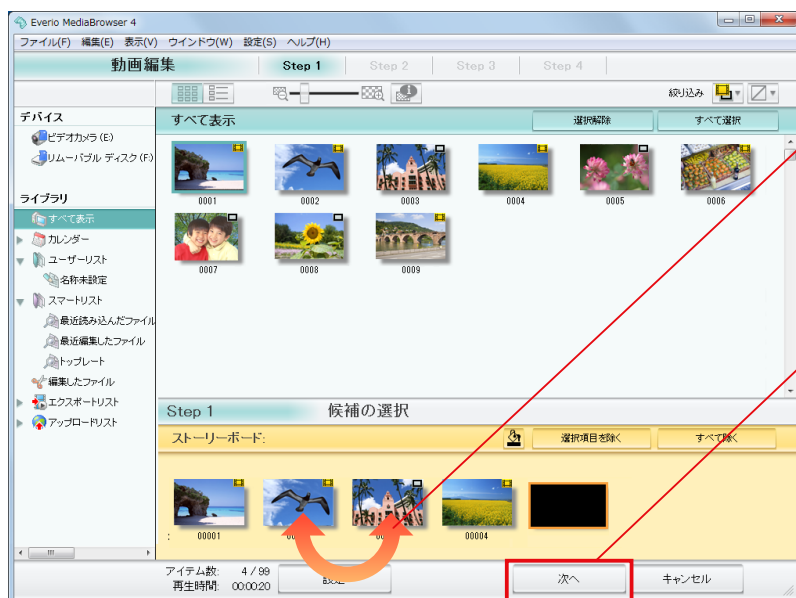
次のページへ

Step 1　ファイルの選択

編集に使用する映像や静止画などを選びます。

1 画面下半分の領域に、編集したいファイルをドラッグ＆ドロップします。

- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックまたは、[すべて除く] をクリックします。
- 編集オブジェクト（P.42）を候補に追加すると、編集内容が展開されます。

2 単色画を追加します。（任意）

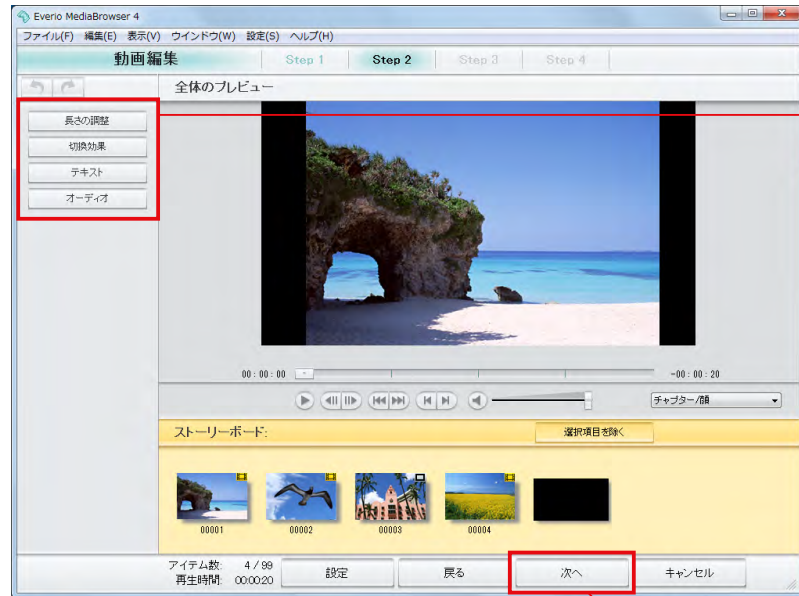
テキストの背景などに使用できる単色の画面を追加することができます。 をクリックして色を選択します。

3 再生順に並べ替えます。

ドラッグ & ドロップして並び替えます。

4 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　編集

テキストや効果などを追加します。

1 編集したい項目をクリックします。

以下の編集ができます。

項目	内容	
長さの調整	ファイルの必要な場面だけを選んで抜き出します。静止画または単色画の表示時間も設定できます。	P.43
切換効果	ファイル間の場面切換に視覚効果を加えます。	P.45
テキスト	文字を加えます。文字の大きさや動きなども設定できます。	P.46
オーディオ	音楽ファイルを追加して再生方法を設定します。	P.49

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 3　確認

出力形式などを確認します。

1 ［設定］をクリックして画質を選択します。

画質を選択して、[OK] をクリックします。

項目		内容
画質の選択	出力形式を［動画ファイル（MBT）］（P.42）にする場合の画質を選択します。	
	HD (1920 × 1080i)	解像度を 1920 × 1080 ピクセルのインターレースに変換します。
	HD (1920 × 1080p) BE	解像度を 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブに変換します。
	SD (16 : 9)	画面比率を 16 : 9 に変換します。変換後は横幅 720 ピクセルに固定されます。
x.v.Color の設定	x.v.Color ON にする	x.v.Color が適用されます。
	x.v.Color OFF にする	x.v.Color が適用されません。

＊「x.v.color」とは、従来より広い色域を再現できる規格です。この規格に対応した機器同士で、今まで再現できなかった色彩を記録・再生できます。
＊お使いのビデオカメラの機種によっては、選択できない項目があります。
＊画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。
＊編集に使用したファイルに近い画質設定にすると、画質の劣化を防ぎ、処理時間を短くできます。
＊設定をしない場合は、前回設定した画質が適用されます。

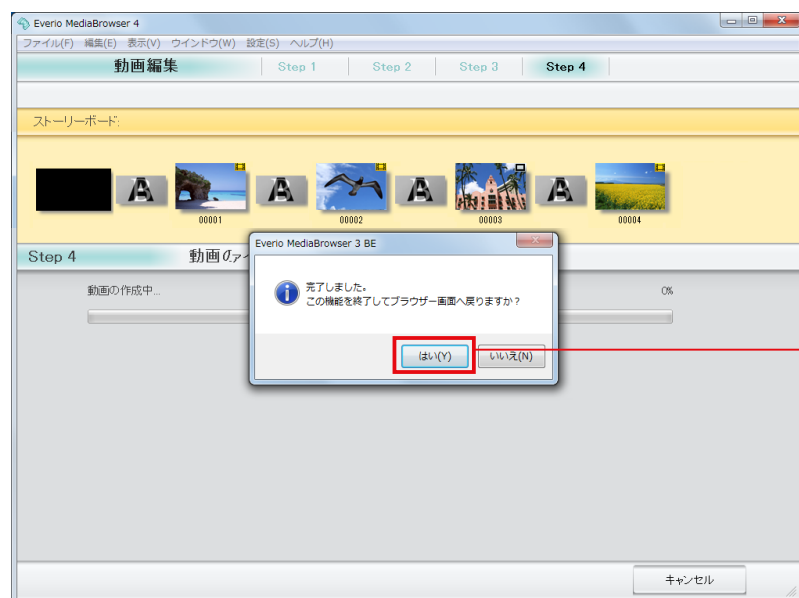
次のページへ

2 出力の設定をします。

項目	内容
タイトル	ライブラリ上でのファイルのタイトル名を変更できます。
出力の形式	[編集オブジェクト] 編集内容を保存します。Step1 で編集オブジェクトを追加すると、編集内容を展開することもできます。 ＊元ファイルがデバイスにある場合、［映像ファイル］に出力されます。 [映像ファイル（MBT)] 映像ファイル形式に出力します。

3 [開始] をクリックします。

➡ 映像ファイルまたは編集オブジェクトの作成が開始されます。

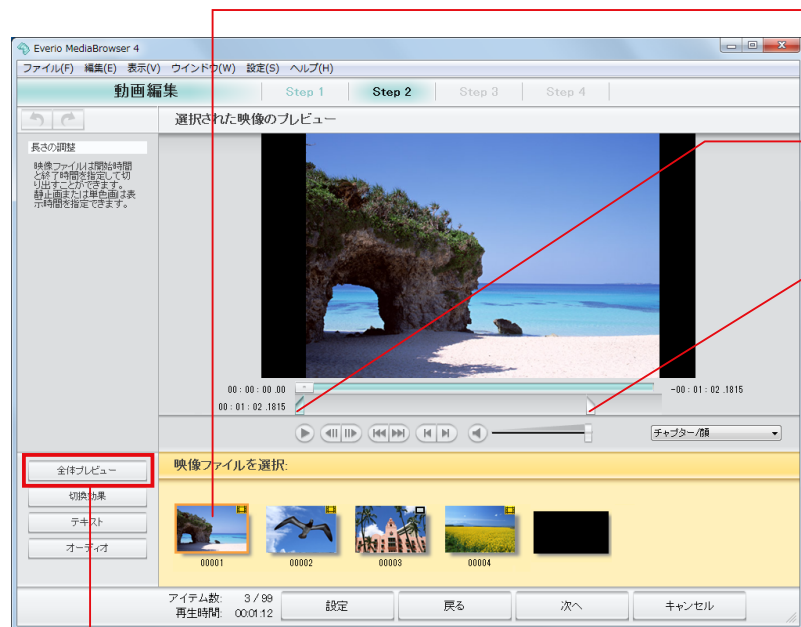
＊ ファイルの再生時間が長かったり編集内容が多い場合、書き出しに時間がかかります。

4 完了メッセージで、[はい] をクリックします。

➡ ブラウザー画面に戻ります。作成したファイルはソースパネルの「編集したファイル」に登録されます。編集を続ける場合は［いいえ］をクリックしてください。

映像の長さを調整する

ファイルの必要な場面だけを選んで抜き出します。使用するファイルによって設定画面が異なります。

＊ ここでは P.40 で［長さの調整］をクリックした場合の操作方法について説明しています。最初から編集する場合は、P.38 を参照してください。

映像ファイルを編集する場合

1 編集したい映像ファイルをクリックします。

2 切り出したい場面の開始位置に、左側のスライダーを移動させせます。

／ ボタンで場面を微調整できます。

3 切り出したい場面の終了位置に、右側のスライダーを移動させせます。

4 他のファイルも編集する場合は、1 ～ 3 の手順を繰り返します。

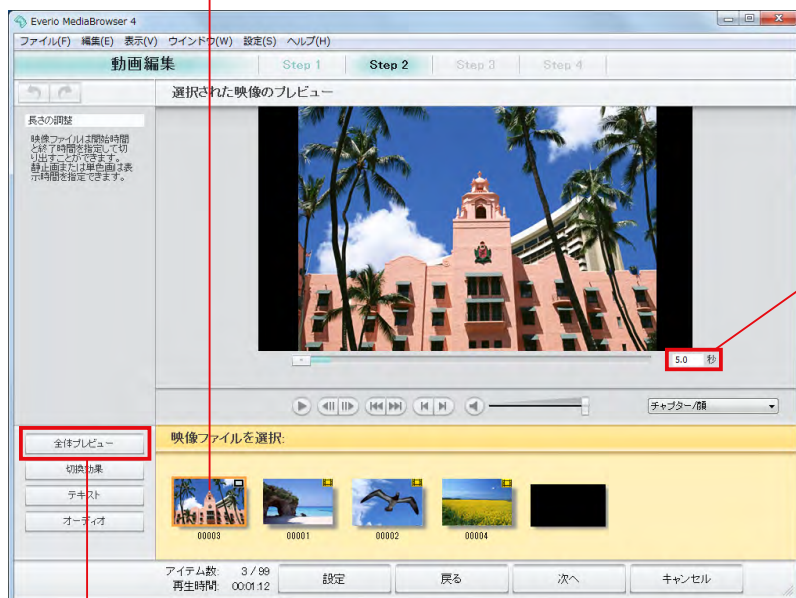
履歴を使う

画面左上の をクリックすると前の操作に戻り、 をクリックするとやり直すことができます。

5 ［全体プレビュー］をクリックします。

➡ 全体プレビュー画面（P.40）に戻ります。

次のページへ

静止画ファイルまたは単色画を編集する場合

1 編集したい静止画ファイルまたは単色画をクリックします。

2 表示時間を入力します。

3 秒～ 60 秒の間で設定できます。

3 他のファイルも編集する場合は、1 ～ 2 の手順を繰り返します。

履歴を使う

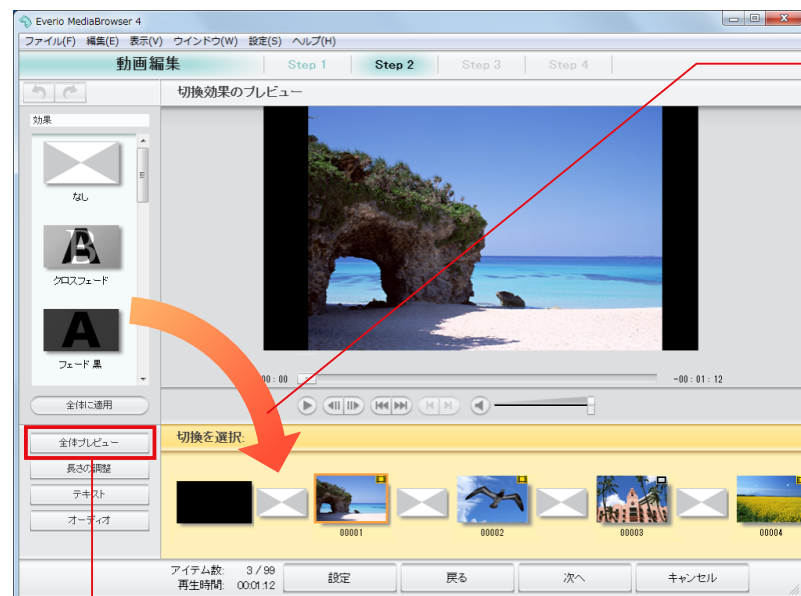
画面左上の をクリックすると前の操作に戻り、 をクリックするとやり直すことができます。

4 ［全体プレビュー］をクリックします。

➡ 全体プレビュー画面（P.40）に戻ります。

場面切換に効果を加える

ファイル間の場面切換に視覚効果を加えます。

＊ ここでは P.40 で［切換効果］をクリックした場合の操作方法について説明しています。最初から編集する場合は、P.38 を参照してください。

1 追加したい切換効果を にドラッグ＆ドロップします。

すべてのファイルに適用したい場合、効果を選択してから［全体に適用］をクリックします。

＊ 3 秒未満の映像ファイルの前後には が表示され、効果を設定できません。

2 必要に応じて手順 1 を繰り返します。

履歴を使う

画面左上の をクリックすると前の操作に戻り、 をクリックするとやり直すことができます。

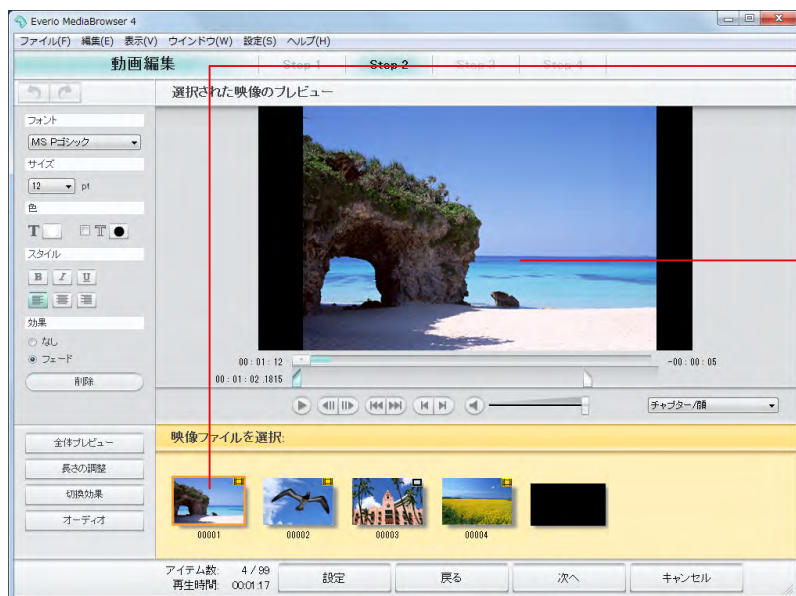
3 ［全体プレビュー］をクリックします。

➡ 全体プレビュー画面（P.40）に戻ります。

＊ ファイルの順番を入れ替えると、ファイルの前後に設定されている切換効果は解除されます。

テキストを追加する

文字を加えます。1 ファイルにつきテキストを 1 つ配置できます。

＊ ここでは P.40 で［テキスト］をクリックした場合の操作方法について説明しています。最初から編集する場合は、P.38 を参照してください。

1 文字を加えたいファイルをクリックします。

2 文字を入れたい箇所をクリックして、文字を入力します。

文字を入力すると、文字が白い枠線で囲まれます。この枠線を「テキストボックス」と呼びます。文字の入力や編集はテキストボックスが表示されているときだけできます。テキストボックスが表示されていないときは、文字の上をクリックしてください。

次のページへ

3 文字の編集をします。

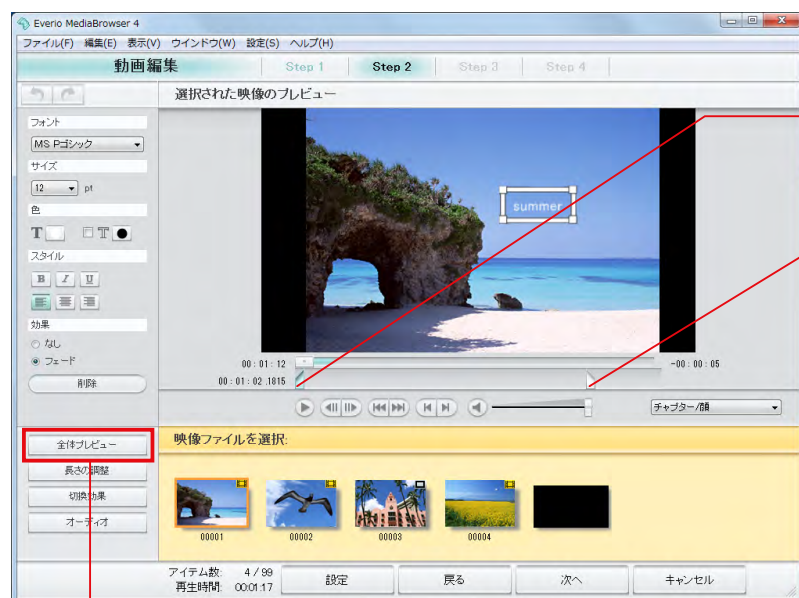
項目	内容
フォント	文字の種類をプルダウンメニューから選びます。
サイズ	文字のサイズをプルダウンメニューから選びます。
色	T：文字の色を選びます。右側の をクリックして色の設定パネルから選びます。 T：文字を縁取ります。チェックを入れてから右側の ● をクリックして色の設定パネルから選びます。
スタイル	文字のスタイルを変更します。もう一度クリックすると解除されます。 B：太字　I：斜体　U：下線 文字の配置を変更します。 ：左揃え　：中央揃え　：右揃え
テキストの効果	フェード効果を追加します。
削除	テキストボックスを削除します。

4 テキストボックスで編集します。

テキストボックスの辺の上で が表示されているときにドラッグ＆ドロップすると、文字の位置を移動できます。

テキストボックスの角で が表示されているときにドラッグ & ドロップすると文字サイズを変更できます。

テキストボックスの角の付近で が表示されているときにドラッグ & ドロップすると文字を回転します。

次のページへ

5 テキスト表示の開始位置に、左側のスライダーを移動させます。

／ ボタンで場面を微調整できます。

6 テキスト表示の終了位置に、右側のスライダーを移動させます。

履歴を使う

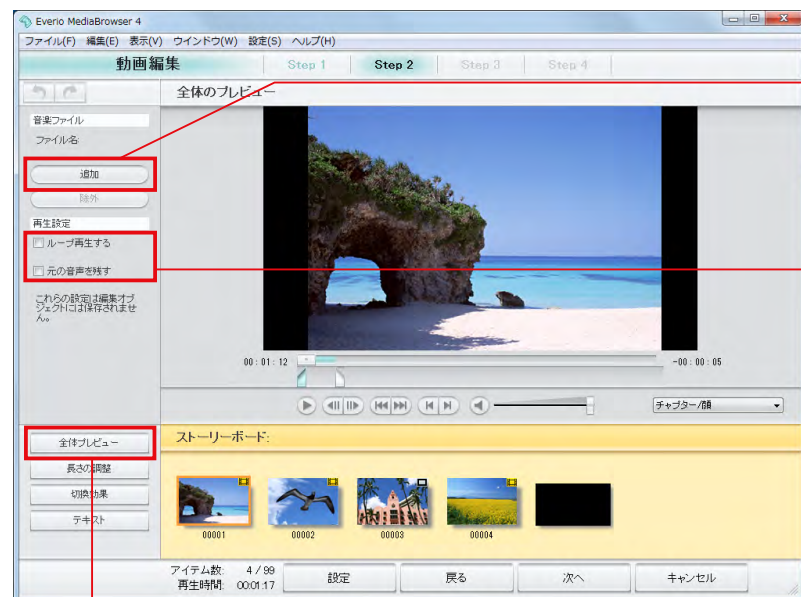
画面左上の をクリックすると前の操作に戻り、 をクリックするとやり直すことができます。

7 ［全体プレビュー］をクリックします。

➡ 全体プレビュー画面（P.40）に戻ります。

音楽を設定する

音楽ファイルを追加して再生方法を設定します。

＊ ここでは P.40 で［オーディオ］をクリックした場合の操作方法について説明しています。最初から編集する場合は、P.38 を参照してください。
＊ 編集オブジェクト（P.42）に書き出す場合は、［オーディオ］の設定は無効になります。

1 ［追加］をクリックして音楽ファイルを選択します。

＊ 1 ファイルにつき音楽ファイルを 1 曲設定できます。
＊ 選択したファイルを変更する場合は［変更］をクリックしてファイルを再選択します。削除する場合は［削除］をクリックします。

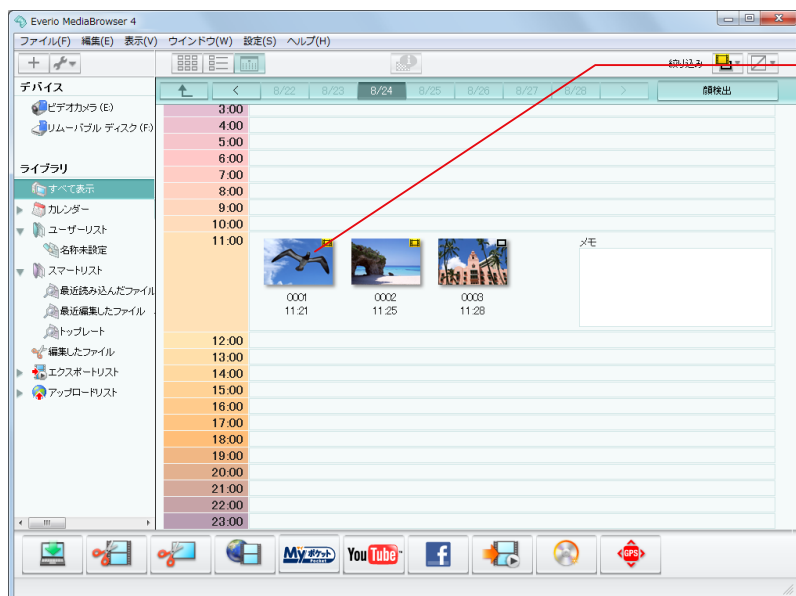
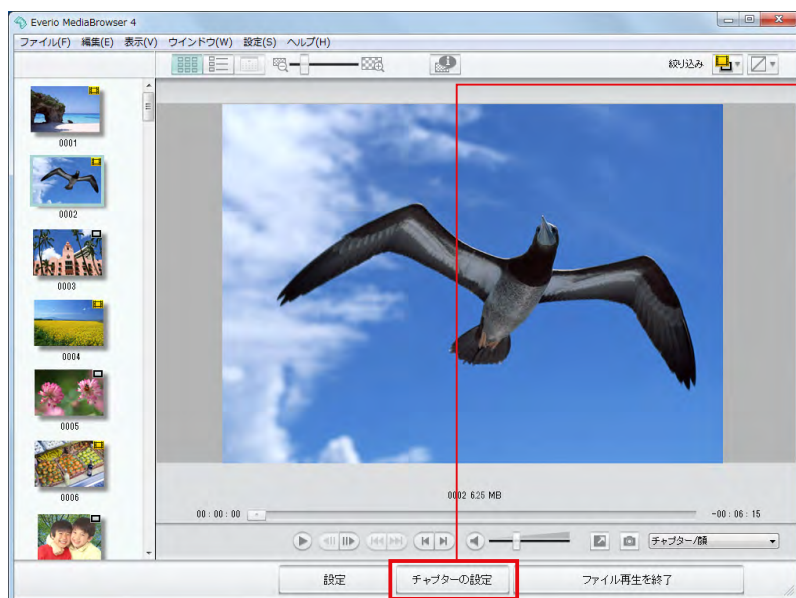
2 再生方法を設定します。

項目	内容
ループ再生する	編集したファイルの再生時間が終了するまで、音楽ファイルを繰り返し再生します。
元の音声を残す	映像ファイルの音声と音楽ファイルの両方を再生します。 ＊映像ファイルの撮影時の音量によっては、音楽ファイルが聞こえにくい場合があります。

3 ［全体プレビュー］をクリックします。

➡ 全体プレビュー画面（P.40）に戻ります。

チャプターを追加する

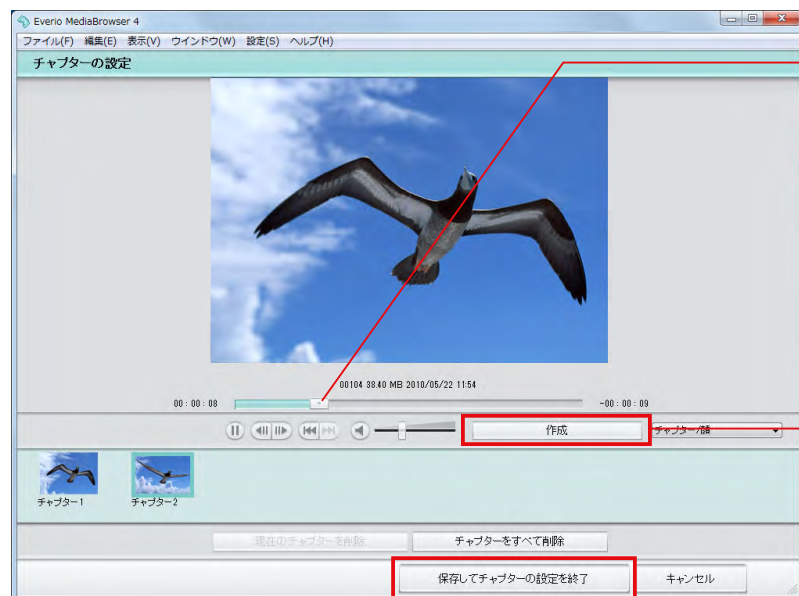
チャプターを設定することで、再生時に特定の場面を頭出しさせることができます。

1 チャプターを設定したい映像ファイルをダブルクリックします。

2 [チャプターの設定] をクリックします。

➡ チャプター設定画面が表示されます。

チャプターを設定すると

- 再生中に、⏮ ／ ⏭ （チャプタースキップボタン）でチャプター毎にスキップできます。
- チャプター設定した箇所は、再生画面の再生バー上の表示で確認できます。

- 設定したチャプターはディスクに書き込んでも残ります。

次のページへ

3 チャプターを設定したい場面を表示します。

ボタンをクリックして、 ボタンや再生スライダーで表示する場面を微調整できます。

4 [作成] をクリックします。

➡ 設定した場面のサムネイルがチャプターリストに追加されます。

＊ 映像ファイルの先頭が「チャプター 1」として設定されます。
＊ 再生中にチャプターリストのスクロールバーの操作はできません。

5 3 ～ 4 の手順を必要なだけ繰り返します。

チャプターは最大 99 個まで作成できます。チャプターの間隔が 3 秒以上空くように設定してください。

チャプターの設定を取り消す

チャプターリスト（画面下半分の領域）のサムネイルを選択して [現在のチャプターを削除] をクリックします。

すべてのチャプターを取り消す場合は、[チャプターをすべて削除] をクリックします。

6 [保存してチャプターの設定を終了] をクリックします。

➡ チャプターが設定され、元のファイルの再生画面に戻ります。

画質を調節する

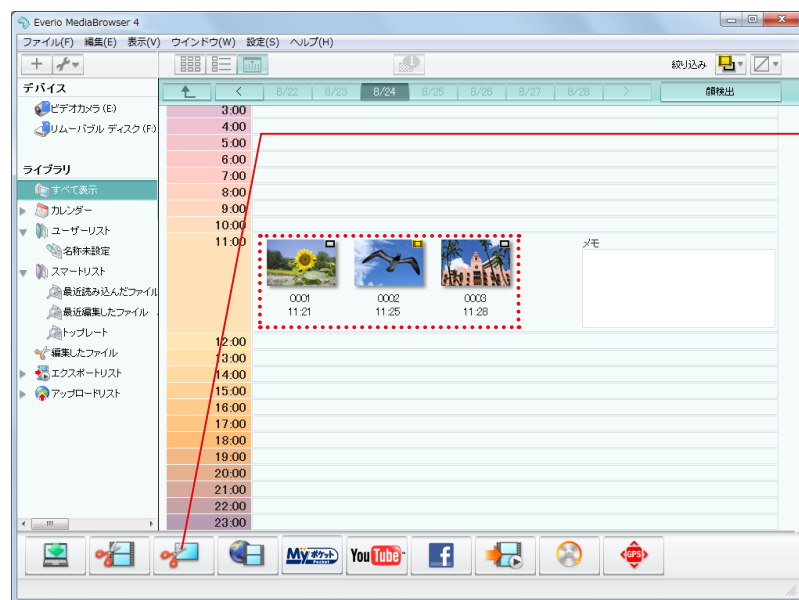
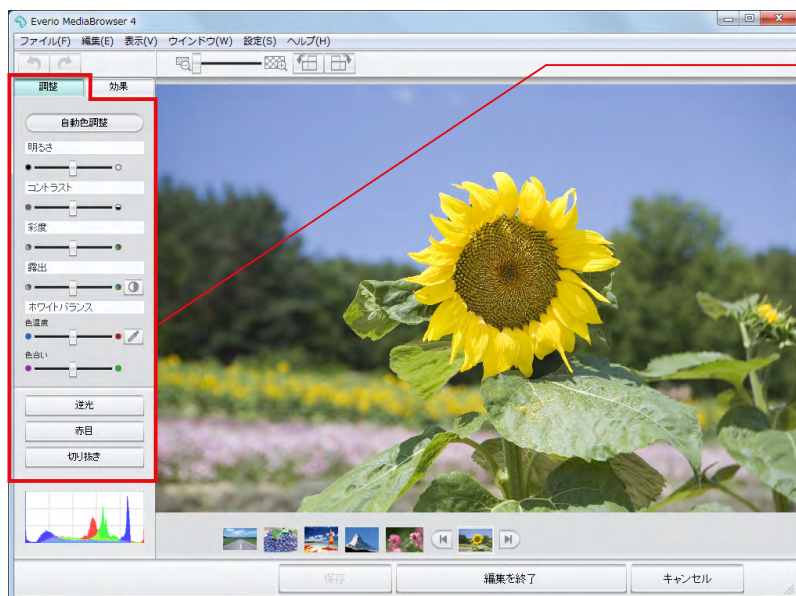
静止画の画質を調節します。

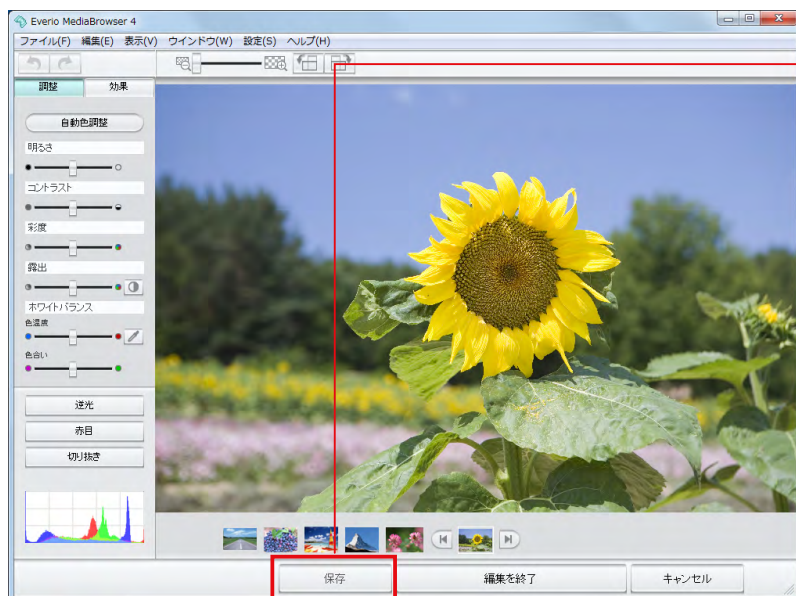
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

次のページへ

3 画質を調節します。

項目	内容	
自動色調整	明るさ、コントラスト、露出を自動的に調節して最適な表示にします。	
明るさ	明るさを調節します。	
コントラスト	陰影の強さを調節します。	
彩度	鮮やかさを調節します。	
露出	露光量を調節します。 をクリックすると自動的に調節して最適な露光量にします。	
ホワイトバランス	白の色味を調節します。	
	[色温度]	光源の色温度を調節します。画像の中の色を基準に調節することもできます。 をクリックして、画像の中の基準にする色のところでクリックします。
	[色合い]	[色温度] で調節したホワイトバランスの色相を調節します。
逆光	逆光を補正します。 [強さ] で画像の陰の部分の明るさを調節して、[彩度] で鮮やかさを調節します。	
赤目	赤目を補正します。 修正する部分をドラッグ & ドロップして指定します。	
切り抜き	指定した箇所を切り抜きます。詳しい操作方法は P.58 を参照してください。	

次のページへ

4 [保存] をクリックします。

➡ 環境設定（P.118）で設定した保存先に画像が保存されます。また、ソースパネルの「編集したファイル」に登録されます。

＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

＊ さらに他の編集を続ける場合は [保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

保存するファイルの画質を変更する

[設定] メニューから [JPEG の設定]（P.120）で、画質を変更してください。

効果を加える

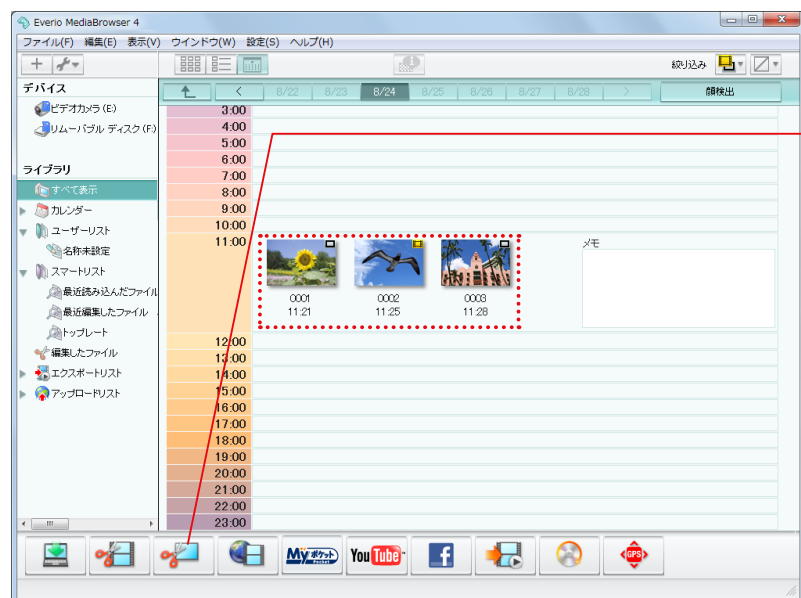
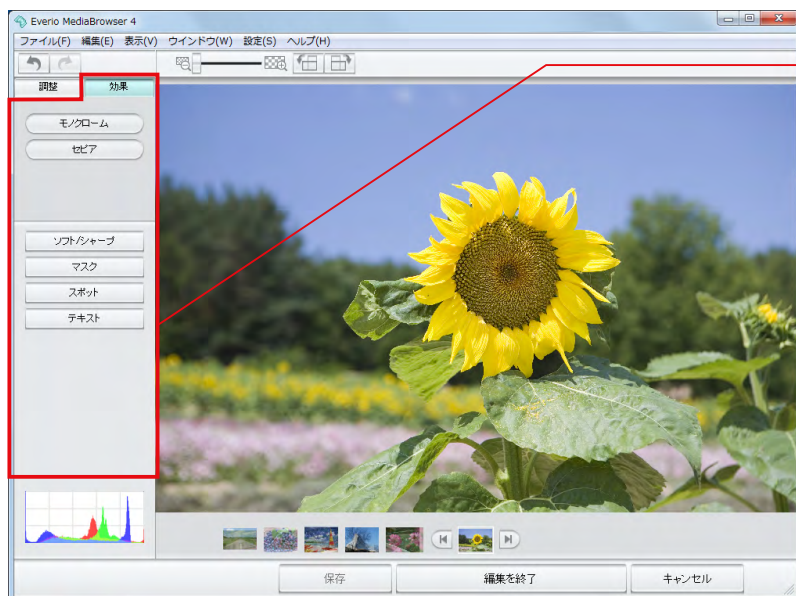
静止画に効果を加えます。

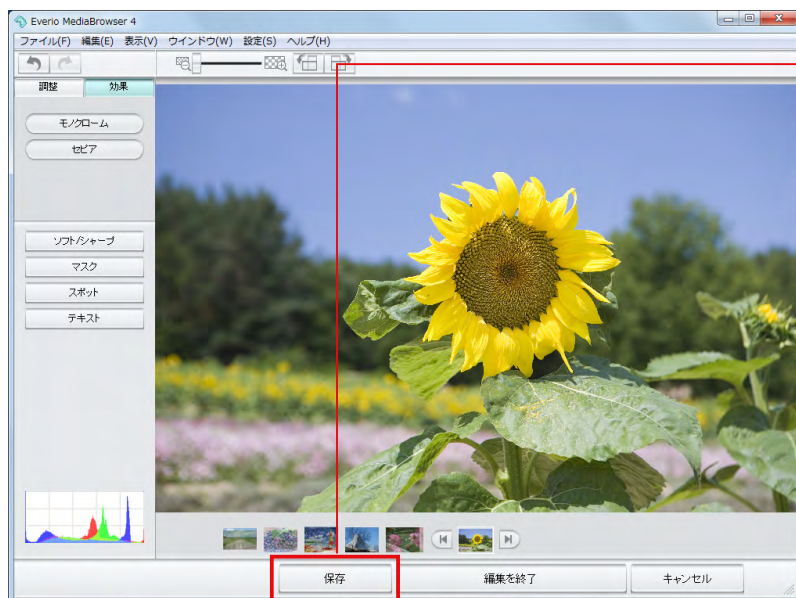
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

次のページへ

3 [効果] タブをクリックして、お好みの効果を付け加えます。

項目	内容
モノクローム	白黒の画像にします。
セピア	セピア調の画像にします。
ソフト／シャープ	画像の輪郭を調節します。
マスク	指定した箇所をぼかします。 ぼかしたい箇所をドラッグ＆ドロップで指定してから、ぼかしの種類（モザイク／ぼかし）と強さを調節します。
スポット	指定した箇所だけを明るく残して際立たせます。 囲み方（円形選択／矩形選択）を選んで、際立たせたい箇所をドラッグ＆ドロップします。[明るさ] のスライダーで明暗の調節ができます。
テキスト	文字を付け加えます。詳しい操作方法は P.61 を参照してください。

次のページへ

4 [保存] をクリックします。

➡ 環境設定（P.118）で設定した保存先に画像が保存されます。また、ソースパネルの「編集したファイル」に登録されます。

＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

＊ さらに他の編集を続ける場合は [保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

保存するファイルの画質を変更する

[設定] メニューから [JPEG の設定]（P.120）で、画質を変更してください。

一部を切り抜く

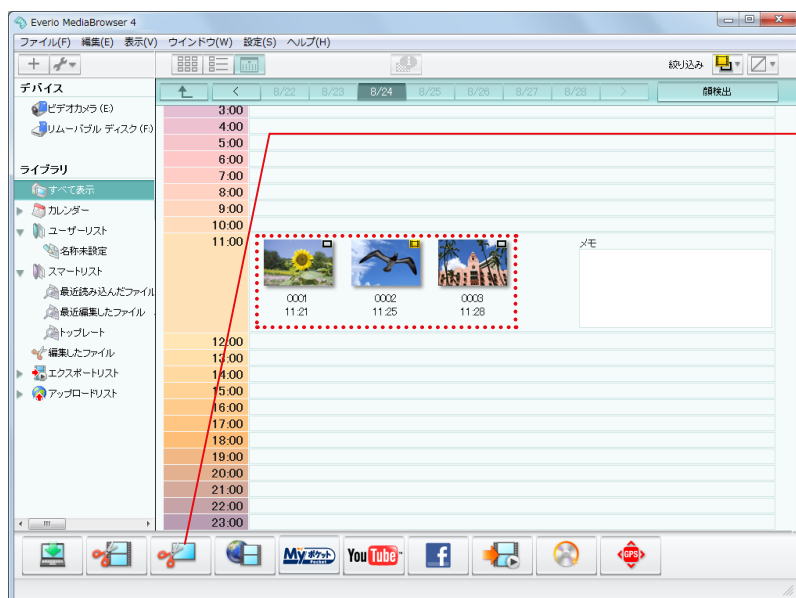
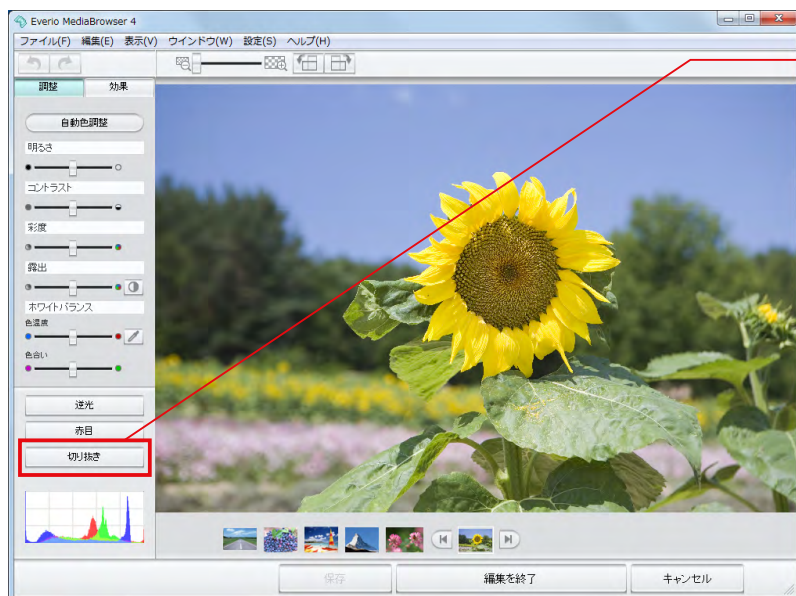
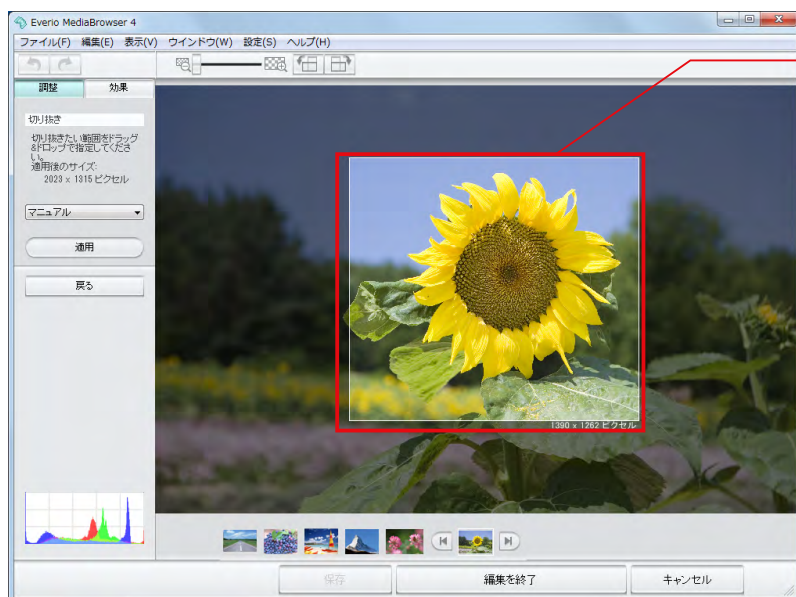
静止画の一部を切り抜きます。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

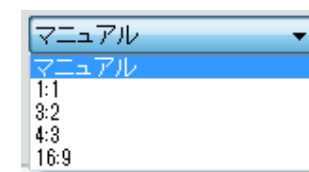
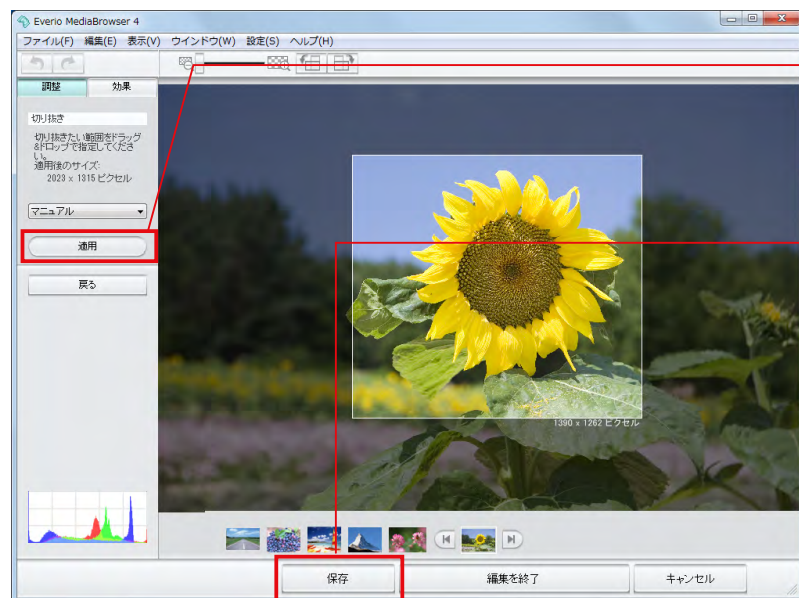
2 対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

次のページへ

3 [切り抜き] をクリックします。

4 切り抜く範囲をドラッグ＆ドロップで指定します。

切り抜く範囲の指定方法

プルダウンメニューで、ドラッグ＆ドロップしたときの縦と横の比率を設定することができます。

次のページへ

5 [適用] をクリックします。

➡ 指定した範囲が切り抜かれます。

6 [保存] をクリックします。

➡ 環境設定（P.118）で設定した保存先に画像が保存されます。また、ソースパネルの「編集したファイル」に登録されます。

＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

＊ さらに他の編集を続ける場合は [保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

保存するファイルの画質を変更する

[設定] メニューから [JPEG の設定]（P.120）で、画質を変更してください。

文字を加える

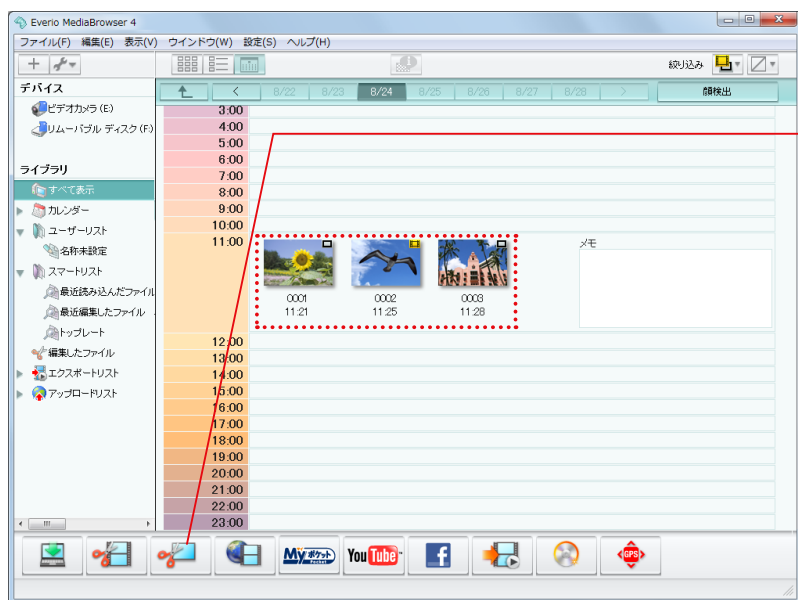
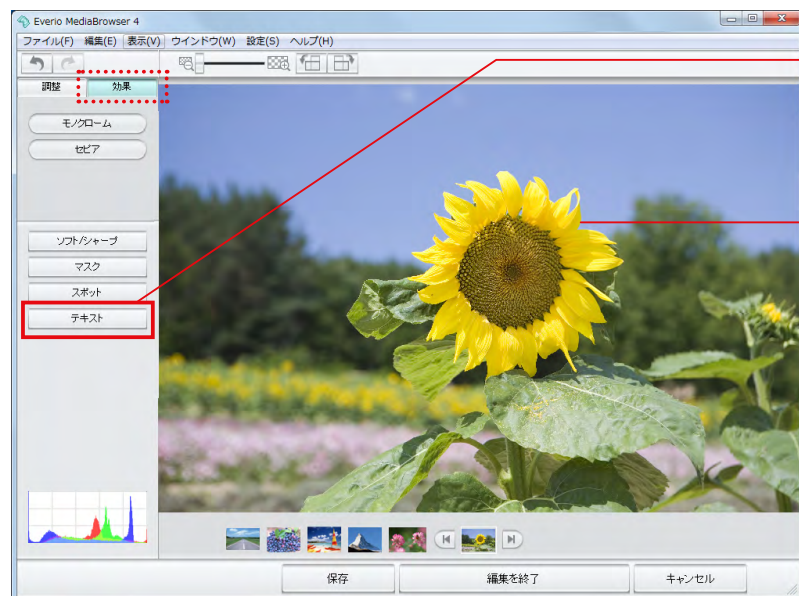
静止画に文字を加えます。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 対象のファイルを選んで をクリックします。

➡ 編集画面に切り換わります。

次のページへ

3 [効果] タブの [テキスト] をクリックします。

4 文字を入れたい箇所をクリックして、文字を入力します。

文字を入力すると、文字が白い枠線で囲まれます。この枠線を「テキストボックス」と呼びます。文字の入力や編集はテキストボックスが表示されているときだけできます。テキストボックスが表示されていないときは、文字の上をクリックしてください。

次のページへ

5 文字の編集をします。

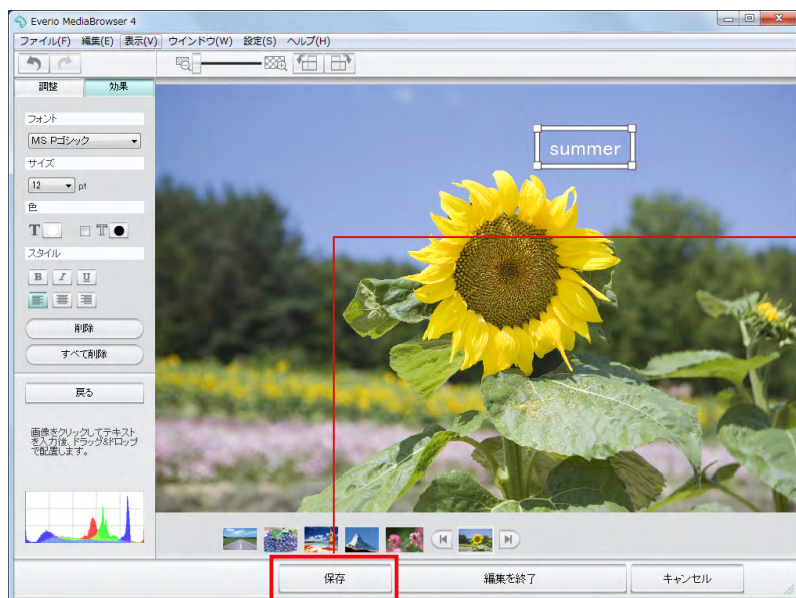
項目	内容		
フォント	文字の種類をプルダウンメニューから選びます。		
サイズ	文字のサイズをプルダウンメニューから選びます。		
色	T：文字の色を選びます。右側の をクリックして色の設定パネルから選びます。		
	T：文字を縁取ります。チェックを入れてから右側の をクリックして色の設定パネルから選びます。		
スタイル	文字のスタイルを変更します。もう一度クリックすると解除されます。		
	B：太字	I：斜体	U：下線
	文字の配置を変更します。		
	：左揃え	：中央揃え	：右揃え
削除	選択中のテキストボックスを削除します。		
すべて削除	すべてのテキストボックスを削除します。		

6 テキストボックスで編集します。

テキストボックスの辺の上で が表示されているときにドラッグ＆ドロップすると、文字の位置を移動できます。

テキストボックスの角で が表示されているときにドラッグ ＆ ドロップすると文字サイズを変更できます。

テキストボックスの角の付近で が表示されているときにドラッグ ＆ ドロップすると文字を回転します。

次のページへ

7 必要に応じて手順４～６を繰り返します。

8 [保存] をクリックします。

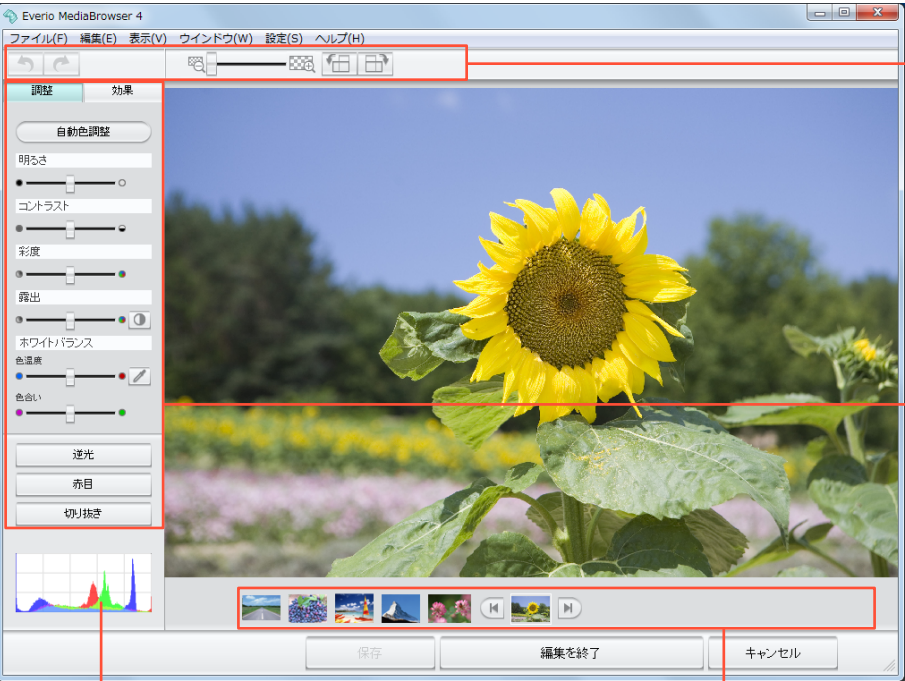
➡ 環境設定（P.118）で設定した保存先に画像が保存されます。また、ソースパネルの「編集したファイル」に登録されます。

＊ 元のファイル形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

＊ さらに他の編集を続ける場合は [保存] をクリックしないで、そのまま編集を続けます。

保存するファイルの画質を変更する

[設定] メニューから [JPEG の設定]（P.120）で、画質を変更してください。

編集画面

ヒストグラム

画像データの色の分布を RGB（R: 赤、G: 緑、B: 青）で表したグラフです。各項目のスライダーを動かすとグラフの形状が変化します。

静止画リスト

同じ保存場所にある静止画ファイルのサムネイルが表示されます。
／ で編集するファイルを変更することができます。ボタンの間にあるサムネイルが現在編集中の静止画です。

操作ボタン

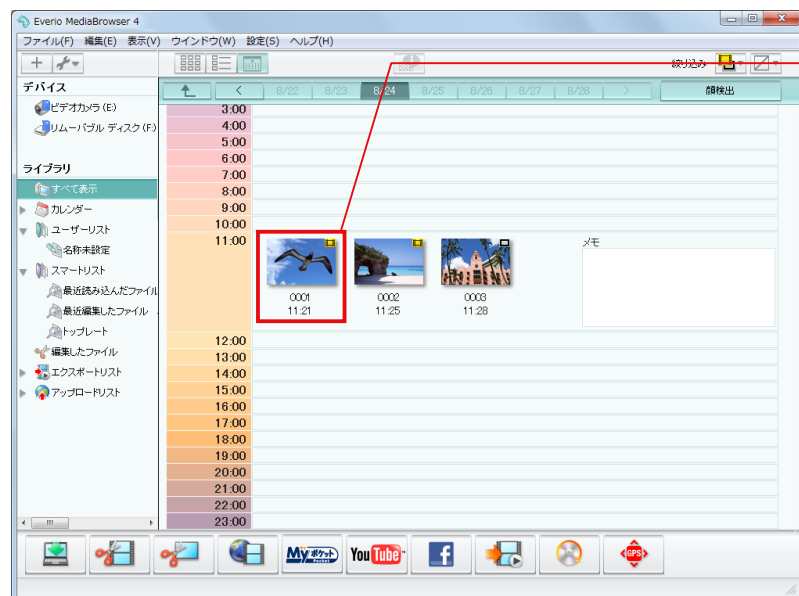
ボタン	説明
（元に戻す）	編集した内容を 1 つ前の状態に戻します。現在の状態から 100 工程までさかのぼれます。
（やり直し）	前の状態に戻っているときに、1 つ先の状態へ進みます。
（表示サイズスライダー）	スライダーをドラッグ＆ドロップして、画像の表示サイズを変更します。
（左回転）	画像を左に 90˚ 回転します。
（右回転）	画像を右に 90˚ 回転します。

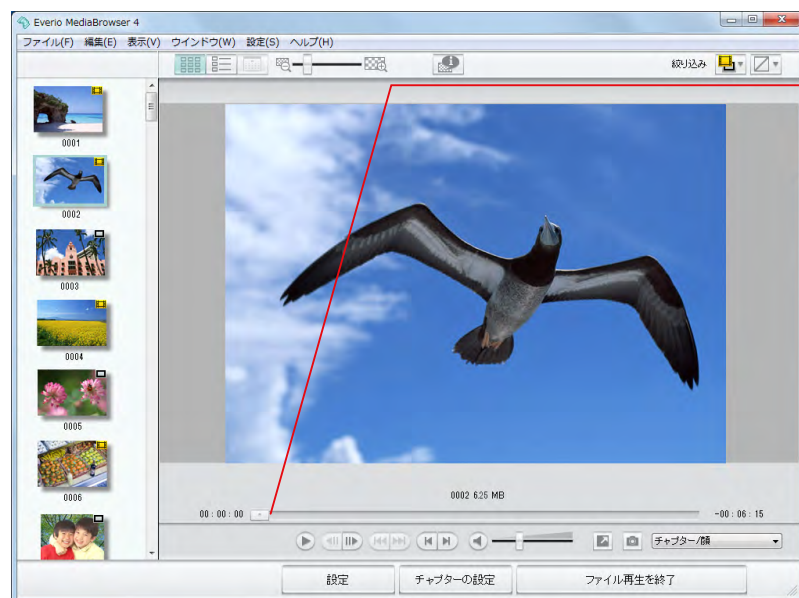
編集パネル

画質を調整したり効果を付け加えます。詳細は各項目の説明ページを参照してください。

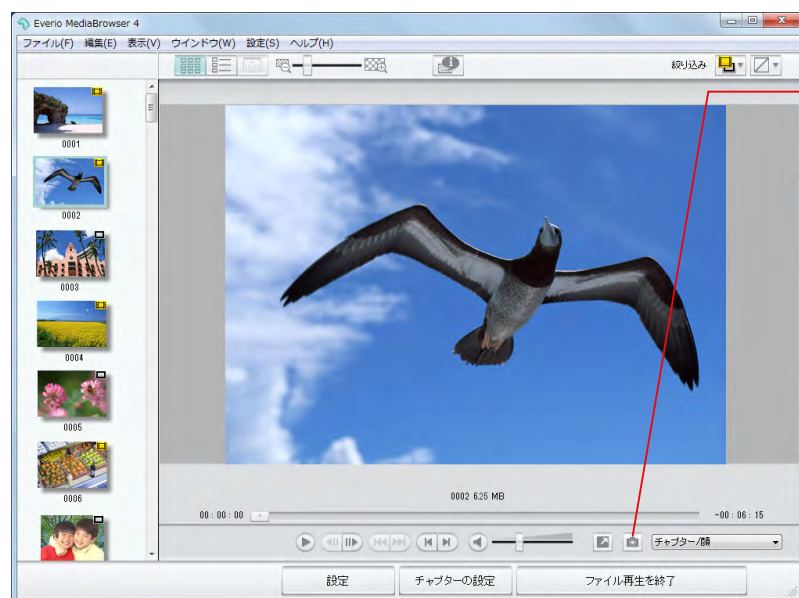
	項目	参照
調整	自動色調整	P.52
	明るさ	
	コントラスト	
	彩度	
	露出	
	ホワイトバランス	
	逆光	
	赤目	
	切り抜き	P.58
効果	モノクローム	P.55
	セピア	
	ソフト／シャープ	
	マスク	
	スポット	
	テキスト	P.61

映像の一場面を静止画として保存する

映像の一場面を静止画として保存することができます。保存された静止画はライブラリに追加されます。

1 映像ファイルをダブルクリックします。

➡ 再生画面が表示されます。

2 静止画として保存したい場面を表示させます。

[⏸] ボタンをクリックして、[◀II] ／ [II▶] ボタンや再生スライダーで表示する場面を微調整できます。

次のページへ

3 ボタンをクリックします。

➡ 環境設定（P.118）で設定した保存先に画像が保存されます。また、保存された静止画はライブラリに追加されます。

＊ 元ファイルの形式にかかわらず、JPEG 形式で保存されます。

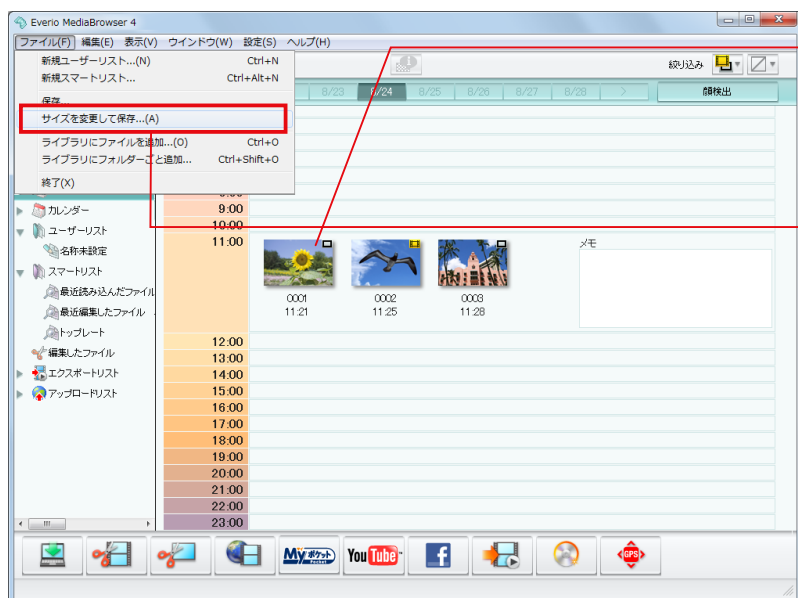
保存するファイルの画質を変更する

[設定] メニューから [JPEG の設定]（P.120）で、画質を変更してください。

サイズを変更して書き出す

ライブラリに保存されている静止画のサイズを変更して、別ファイルに書き出します。

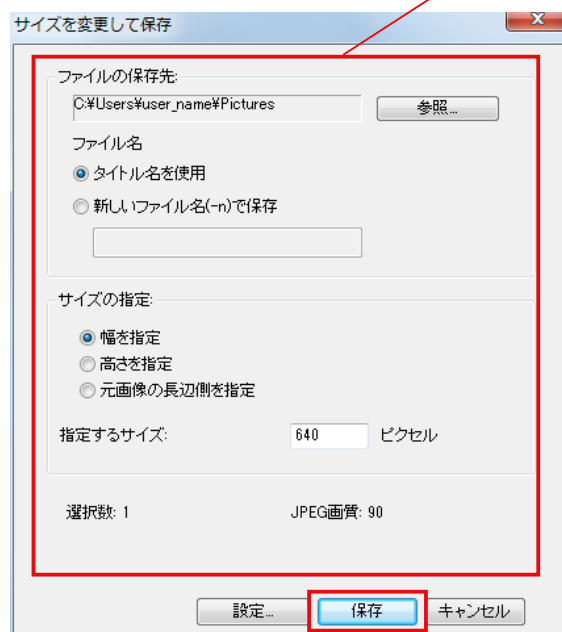
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 対象のファイルをクリックします。

3 [ファイル] メニューから [サイズを変更して保存] を選択します。

次のページへ

4 保存方法を設定します。

項目	内容
保存先	書き出されたファイルの保存先です。
タイトル名	［タイトル名を使用］ 元のタイトル名を使用します。 ［新しいファイル名 (-n) で保存］ ファイル名を入力します。ファイルの拡張子は自動で追加されます。
サイズの指定	指定方法を選択してから、指定するサイズを入力してください。 ［幅を指定］ 横幅を指定します。 ［高さを指定］ 高さを指定します。 ［元画像の長辺側を指定］ 画像の長辺を指定します。
選択数	選択されているファイルの数です。
JPEG 画質	画質が表示されます。画質を変更する場合は［設定］をクリックして変更してください。

5 ［保存］をクリックします。

➡ 指定した保存場所に、サイズが変更された画像が保存されます。

iTunes や YouTube などで楽しもう

準備

映像を iPod などのファイル形式に変換して、iTunes に登録します。

＊ エクスポートには iTunes および QuickTime が必要です。iTunes および QuickTime は Apple 社のホームページからダウンロードできます。

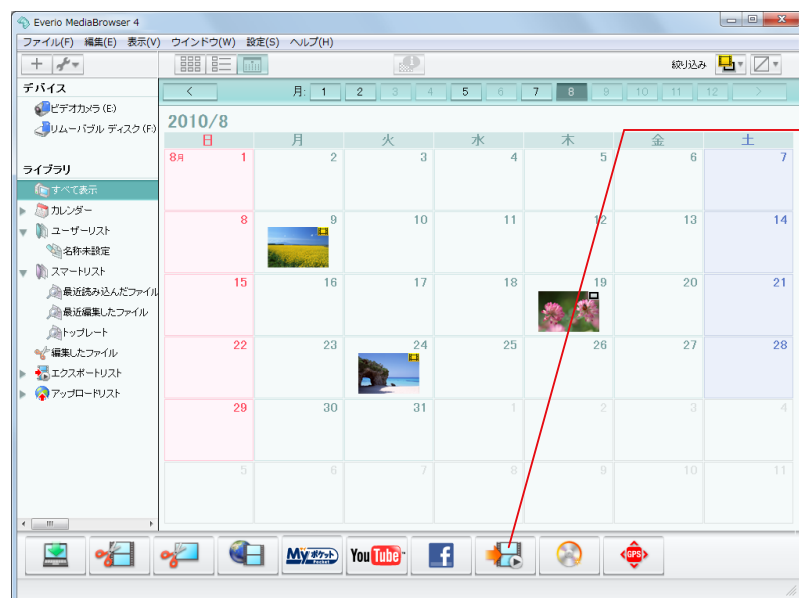
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

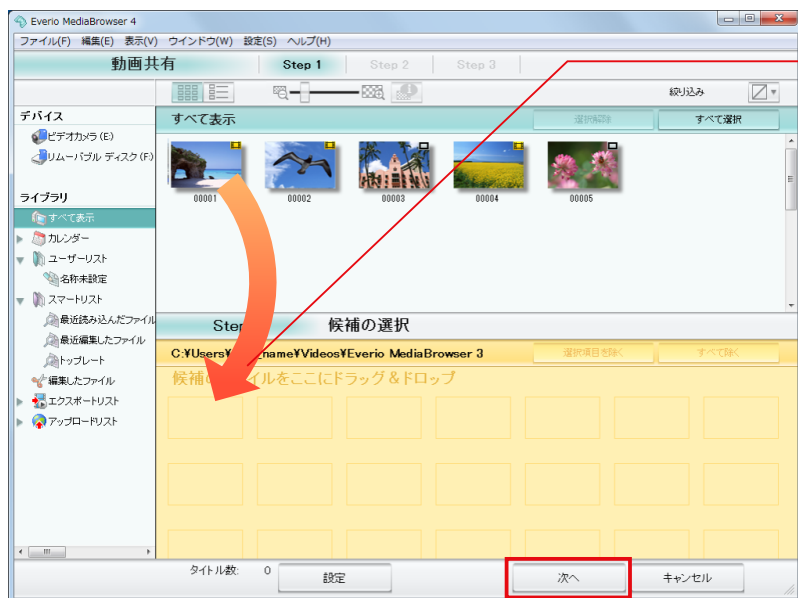
ビデオカメラから直接エクスポートする

ビデオカメラ上で iTunes へのエクスポート用に設定されているファイルを、直接 iTunes に登録することができます。ビデオカメラをパソコンに接続してから、ビデオカメラの液晶画面のメニューで「ライブラリに登録する」を選択してください。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。

ビデオカメラ上での操作については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

2 をクリックします。

Step 1　ファイルの選択

エクスポートするファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、変換したい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

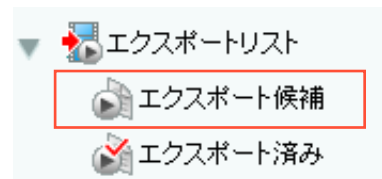
エクスポートリストの活用

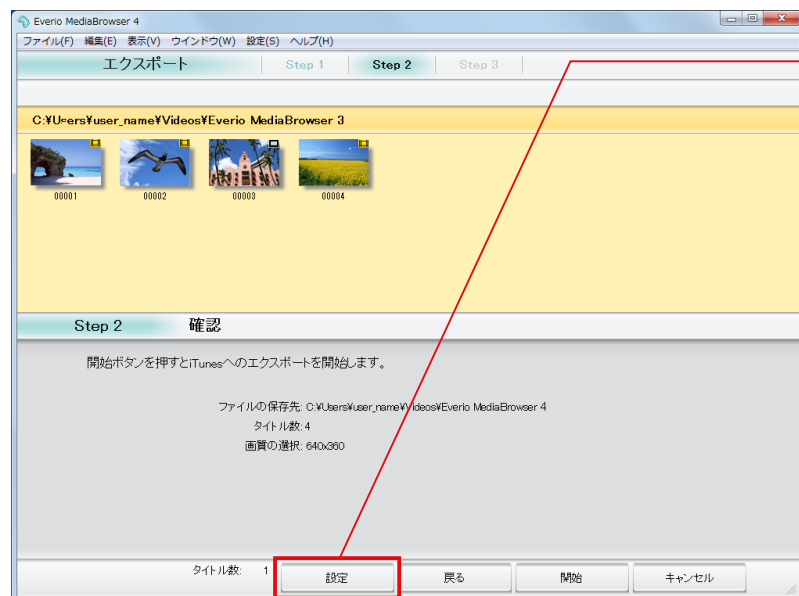
事前に、ビデオカメラでエクスポート用の設定をしたファイルは、自動的にソースパネルの「エクスポート候補」に登録されます。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。

ビデオカメラ上での操作については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　確認

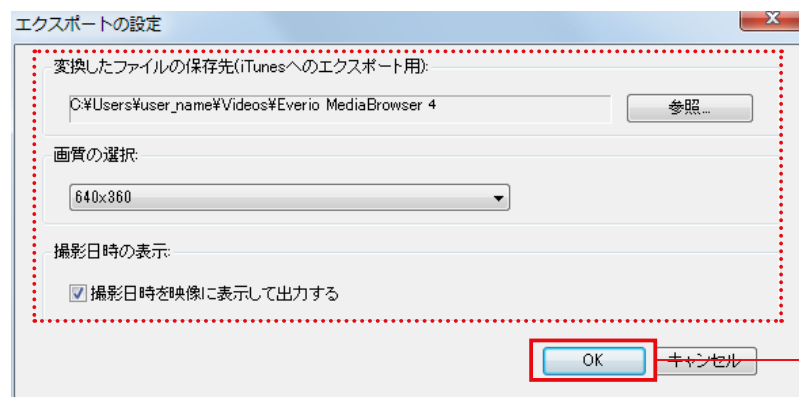
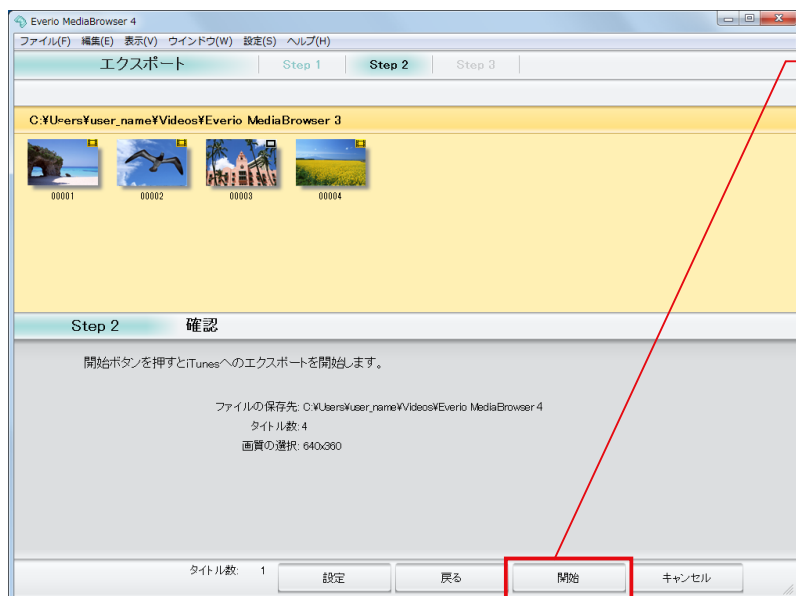
エクスポート設定を確認します。

1 [設定] をクリックします。

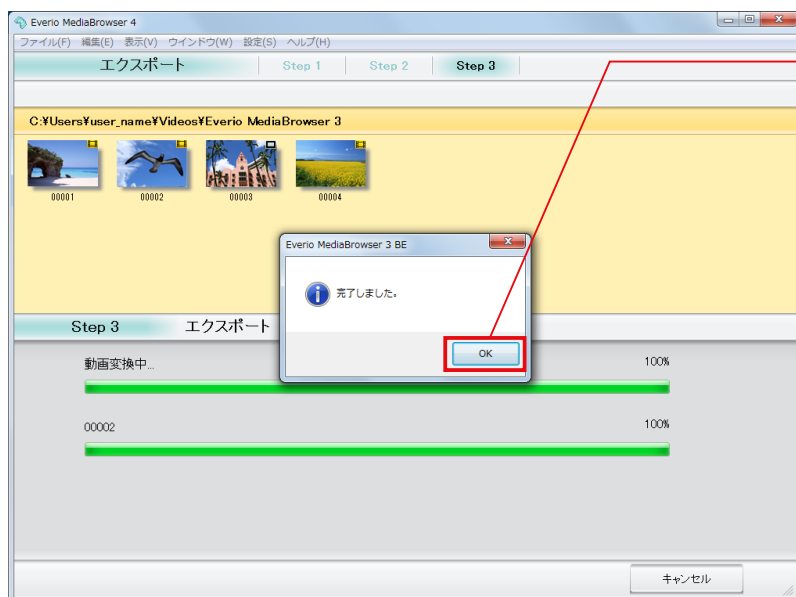
2 エクスポートの設定を確認し、[OK] をクリックします。

項目		内容
変換したファイルの保存先（iTunes へのエクスポート用）		ファイルの保存先を選択します。
画質の選択	1280 × 720	解像度を 1280 × 720 ピクセルに変換します。
	640 × 360 ／ 640 × 360 (480)	解像度を 640 × 360 または 640 × 480 ピクセルに変換します。
	320 × 180 ／ 320 × 180 (240)	解像度を 320 × 180 または 320 × 240 ピクセルに変換します。
撮影日時を映像に表示して出力する		映像の右下に撮影日を表示します。

＊ 画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。

＊ iPod などのご使用の機器にあった画質を選択してください。

次のページへ

3 [開始] をクリックします。

➡ ファイルの変換、iTunes への転送が開始されます。

4 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

この機能を使用した後は、フィルタ（用途）P.18 が iTunes へのエクスポート用の映像のみの表示に設定されます。

➡ エクスポートされたファイルは iTunes のプレイリストに登録され、次回 iPod を更新する際に iPod に反映されます。

iTunes にエクスポートできない場合

ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

準備

映像を YouTube のサイトにアップロードします。

＊ YouTube へのアップロードには、インターネットへの接続と YouTube アカウントの登録が必要です。

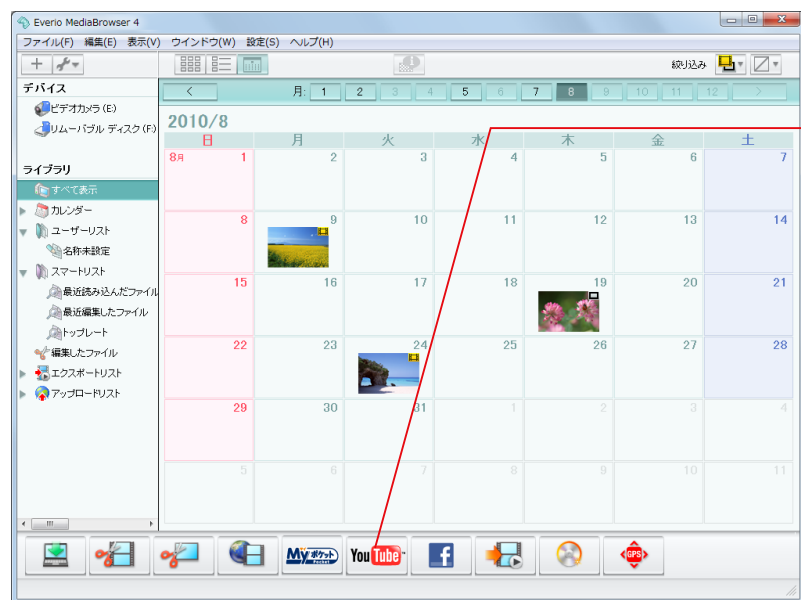
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

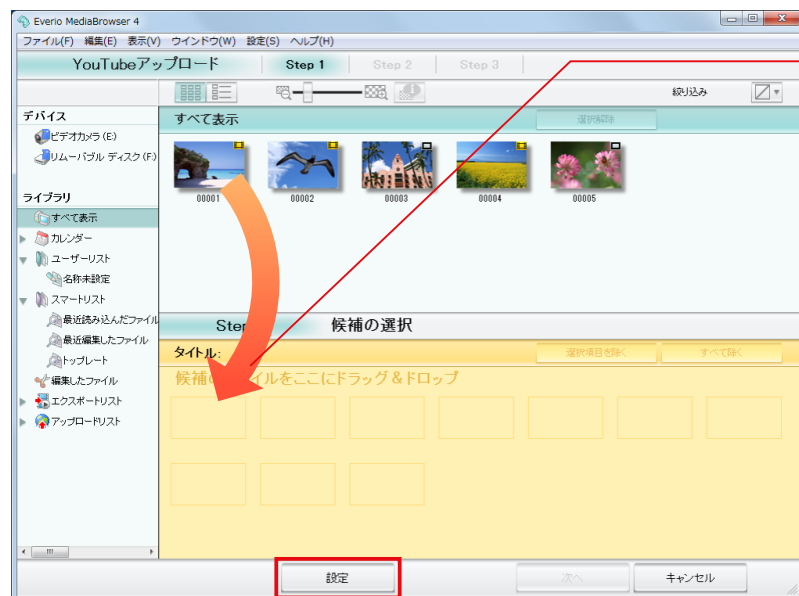
ビデオカメラから直接アップロードする

ビデオカメラ上でインターネットへのアップロード用に設定されているファイルを、直接 YouTube に登録することができます。ビデオカメラをパソコンに接続してから、ビデオカメラの液晶画面のメニューで「アップロードする」を選択してください。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。

ビデオカメラ上での操作については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

2 をクリックします。

Step 1　ファイルの選択

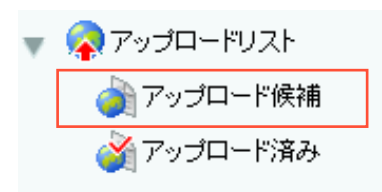
アップロードするファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、変換したい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

- 一度に、最大 10 ファイルまでアップロードできます。
- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

アップロードリストの活用

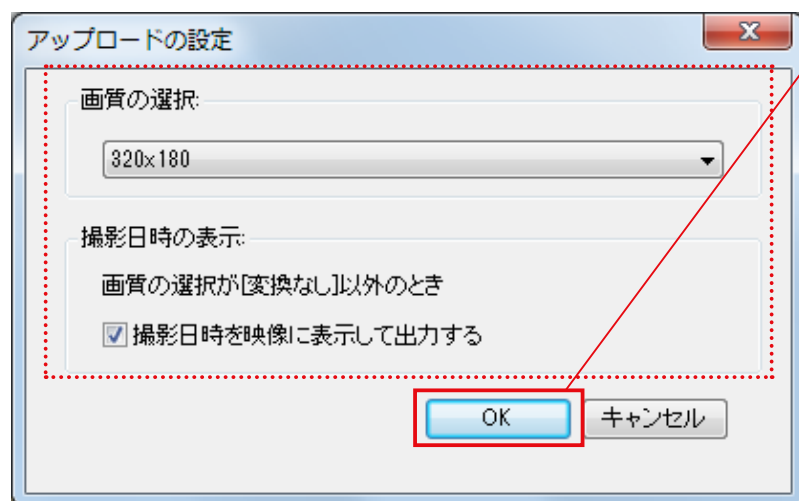
事前に、ビデオカメラでアップロード用の設定をしたファイルは、パソコンへの取り込み時に、自動的にソースパネルの「アップロード候補」に登録されます。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。

ビデオカメラ上での操作については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

アップロードする映像ファイルについて

再生時間が１５分以上のファイルには、サムネイル上に ?（機能制限アイコン）が表示され、映像ファイルを正常にアップロードできない可能性があります。

2 [設定] をクリックします。

次のページへ

3 画質を選択して、[OK] をクリックします。

項目		内容
画質の選択	変換なし	元の映像を MediaBrowser で変換しないで、そのままアップロードします。
	1920 × 1080	解像度を 1920 × 1080 ピクセルに変換します。
	1280 × 720	解像度を 1280 × 720 ピクセルに変換します。
	320 × 180 ／ 320 × 180 (240)	解像度を 320 × 180 または 320 × 240 ピクセルに変換します。
撮影日時を映像に表示して出力する		映像の右下に撮影日を表示します。 ＊「画質の選択」を［変更なし］にした場合は出力されません。

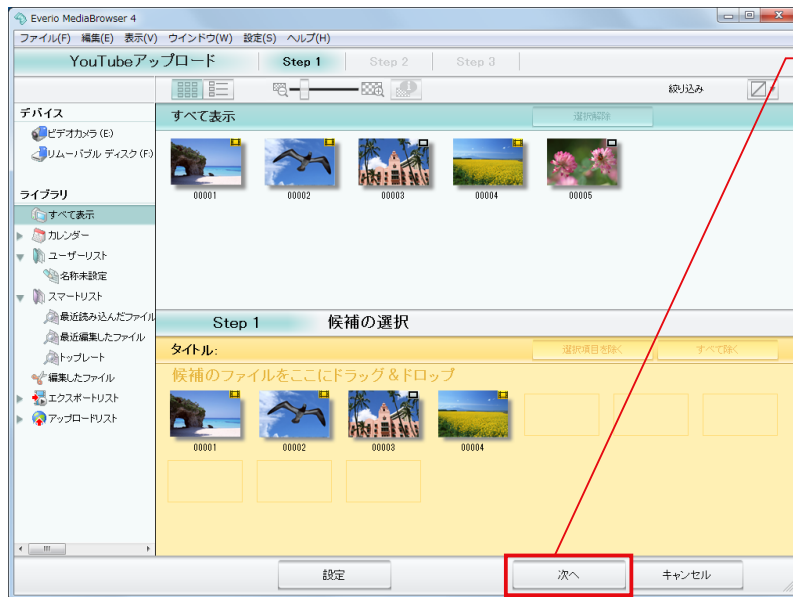
＊画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。
＊設定をしない場合は、前回アップロード時の画質が適用されます。
＊YouTube の仕様変更などにより、YouTube 上で設定通りに表示されない場合があります。

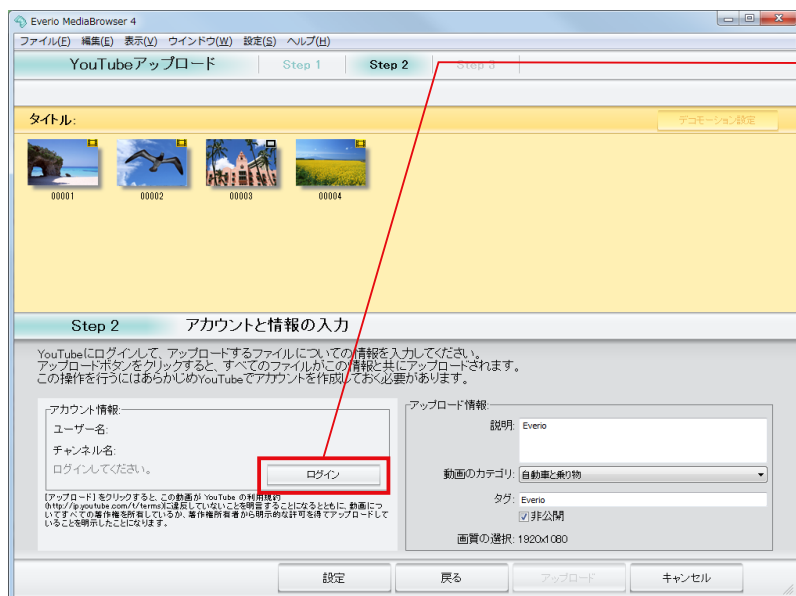
画質を [変換なし] にした場合

- デコモーションの設定（P.80）はできません。
- 変換の時間はかかりませんが、通信環境によってアップロードに時間がかかる場合があります。
- 再生画質は YouTube によって変換される形式の画質になります。
- YouTube 上で正しく再生されない場合は、[変更なし］以外の画質を選択してアップロードしてください。

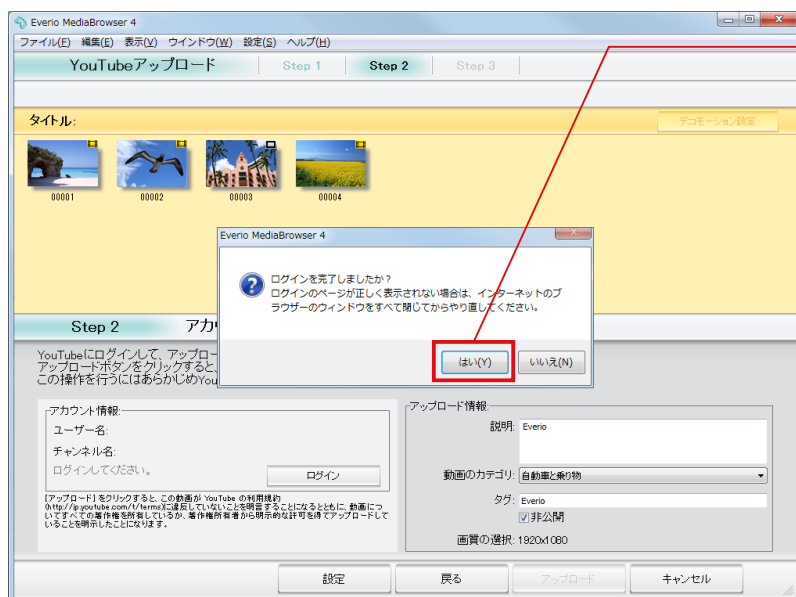
次のページへ

4 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　ログインと情報の入力

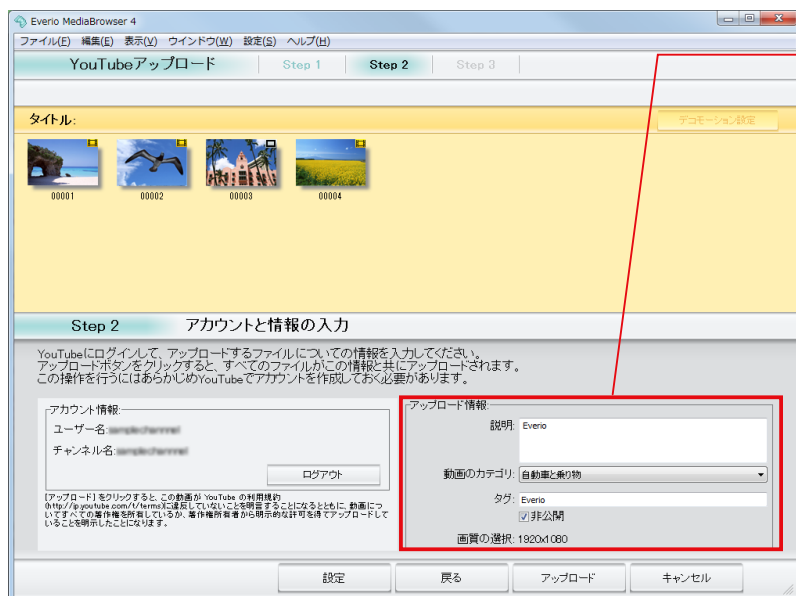
アップロードの設定をします。

1 [ログイン] をクリックします。

➡ Google のログイン画面が表示されます。ログインして MediaBrowser の使用を承認してください。

＊ すでにログインしている場合は手順 3 に進んでください。

2 確認メッセージで、[はい] をクリックします。

メッセージが表示されるとき

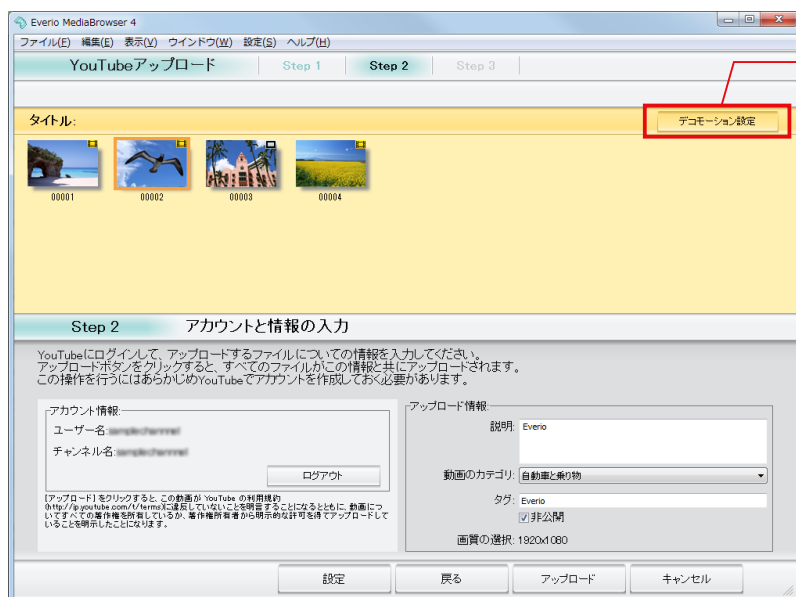
［はい］をクリックした後に YouTube のチャンネルについてのメッセージが表示される場合、そのまま続けるとアップロードに失敗するおそれがあります。インターネットからご利用のアカウントで YouTube にログインして、YouTube のチャンネルを作成しておいてください。

次のページへ

3 映像ファイルの情報を設定します。

[説明]、[動画のカテゴリ]、[タグ]、[非公開] を入力します。同時にアップロードするすべてのファイルに、この情報が適用されます。

位置情報について

位置情報が記録されているファイル（ GPS アイコンのあるファイル）をアップロードした場合、撮影場所の位置情報も同時に登録されます。

＊ この機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

4 映像ファイルにフレームを設定します。（任意）

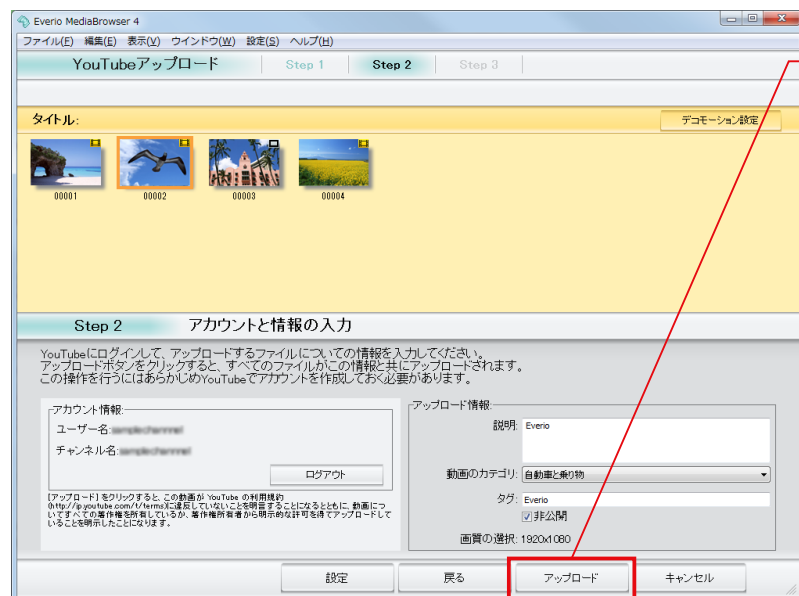
アップロードする映像にデコレーションを加えることができます。

＊「画質の選択」を［変更なし］にした場合は出力されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

① 映像ファイルを選択して、［デコモーション設定］をクリックします。

② フレームを選択して、[決定] ボタンをクリックします。

次のページへ

5 [アップロード] をクリックします。

➡ ファイルの変換、YouTube へのアップロードが開始されます。

Everio MediaBrowser 4

アップロードを完了しました。

アップロードした動画ページのURLをメールに含めたり、埋め込みコードでブログに動画を表示したりすることができます。

コピーしない

動画ページのURL

http://www.youtube.com/*****************************

http://www.youtube.com/*****************************

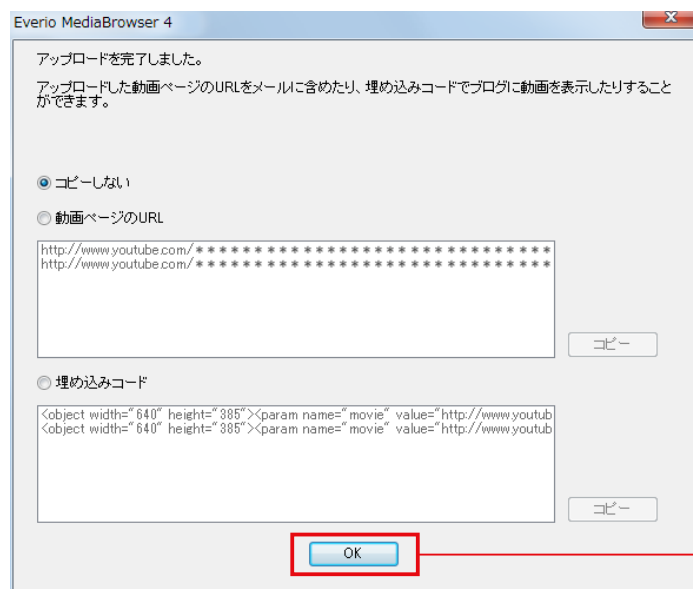
コピー

埋め込みコード

<object width="640" height="385"><param name="movie" value="http://www.youtub

<object width="640" height="385"><param name="movie" value="http://www.youtub

コピー

OK

6 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

＊ この機能を使用した後は、フィルタ（用途）P.18 がアップロード用の映像のみの表示に設定される場合があります。

YouTube のリンクをブログに貼り付ける

アップロードした映像のリンク情報をコピーすることができます。共有サイトやブログに貼り付ける時に使用します。対象の項目を選択してから［コピー］をクリックしてください。

YouTube にアップロードできない場合

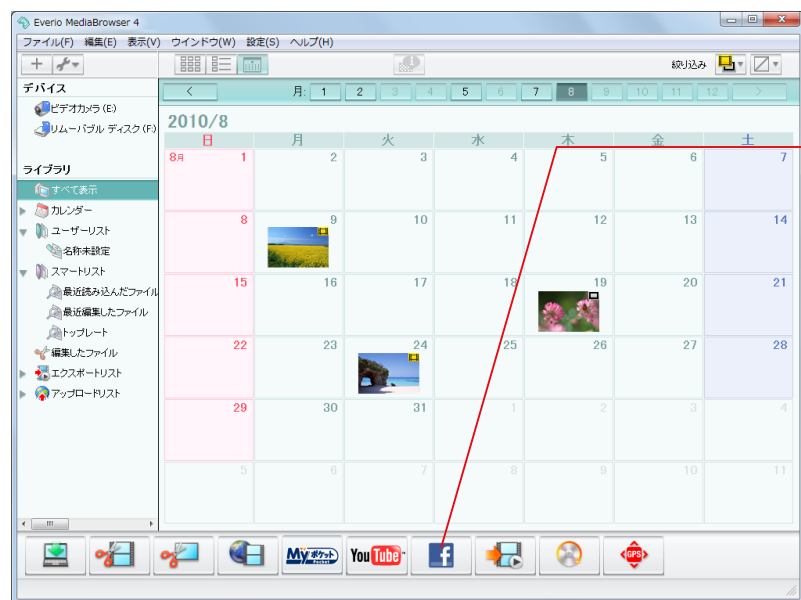
ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

準備

ファイルを Facebook のサイトにアップロードします。

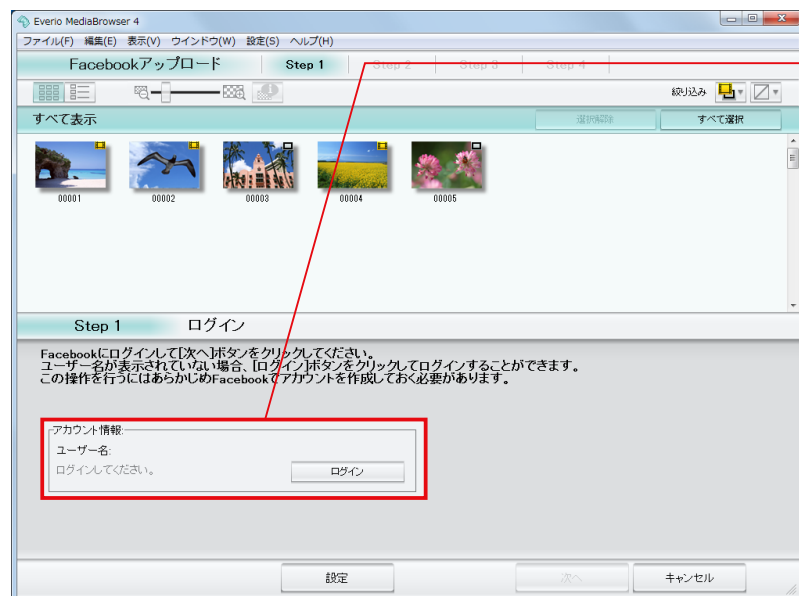
＊ Facebook へのアップロードには、インターネットへの接続と Facebook アカウントの登録が必要です。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 をクリックします。

次のページへ

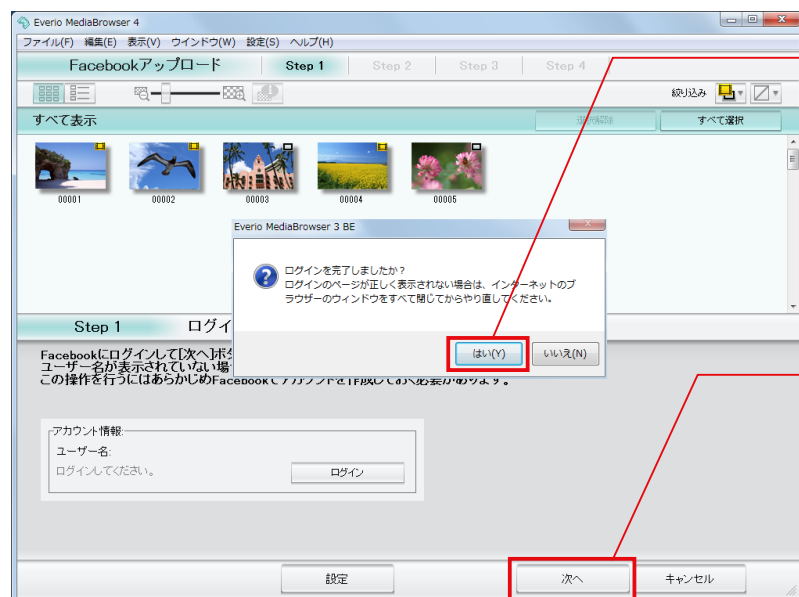
Step 1　ログイン

Facebook にログインします。

1 [ログイン] をクリックします。

➡ Facebook のログイン画面が表示されます。ログインして MediaBrowser の使用を許可してください。

＊ すでにログインしている場合は手順 3 に進んでください。

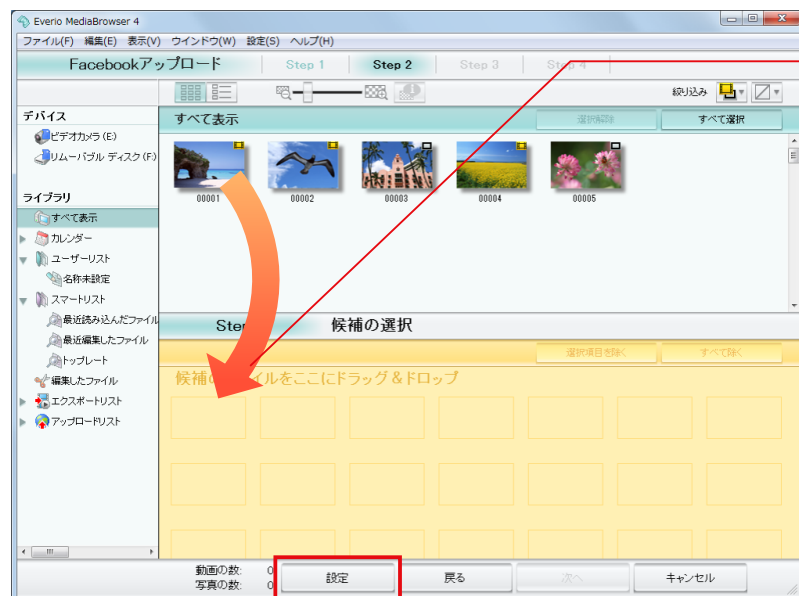
使用許可の設定について

MediaBrowser から Facebook にアップロードするには、Facebook の使用許可が必要です。Facebook 上で MediaBrowser の使用を常に許可しておいてください。

2 確認メッセージで、[はい] をクリックします。

3 [次へ] をクリックします。

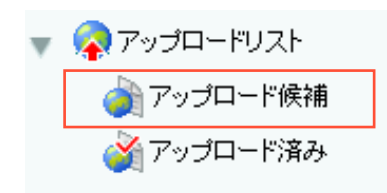
次のページへ

Step 2　ファイルの選択

アップロードするファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、変換したい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

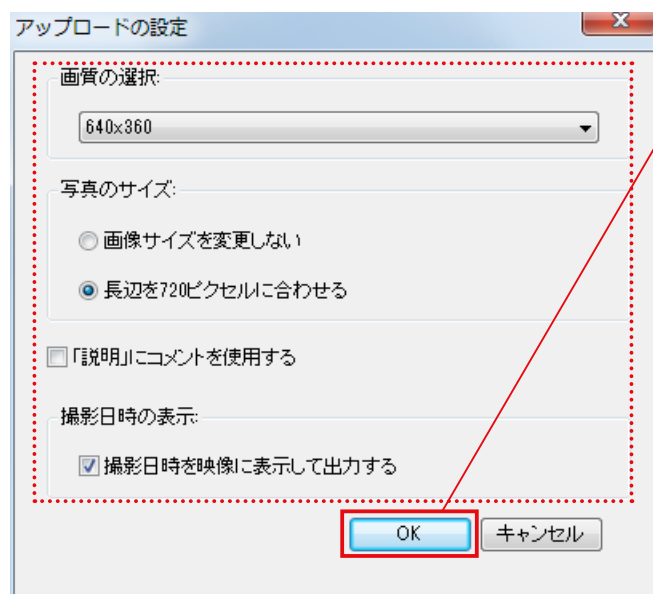
アップロードリストの活用

事前に、ビデオカメラでアップロード用の設定をしたファイルは、パソコンへの取り込み時に、自動的にソースパネルの「アップロード候補」に登録されます。

アップロードする映像ファイルについて

サムネイル上に ? （機能制限アイコン）が表示されている映像ファイルは、Facebook にアップロードできる再生時間を超えているため正常にアップロードできない可能性があります。

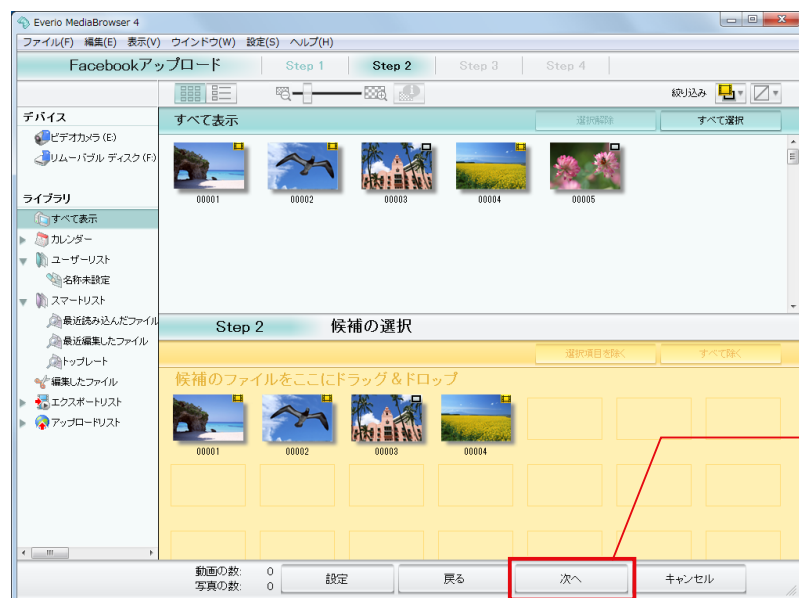
2 [設定] をクリックします。

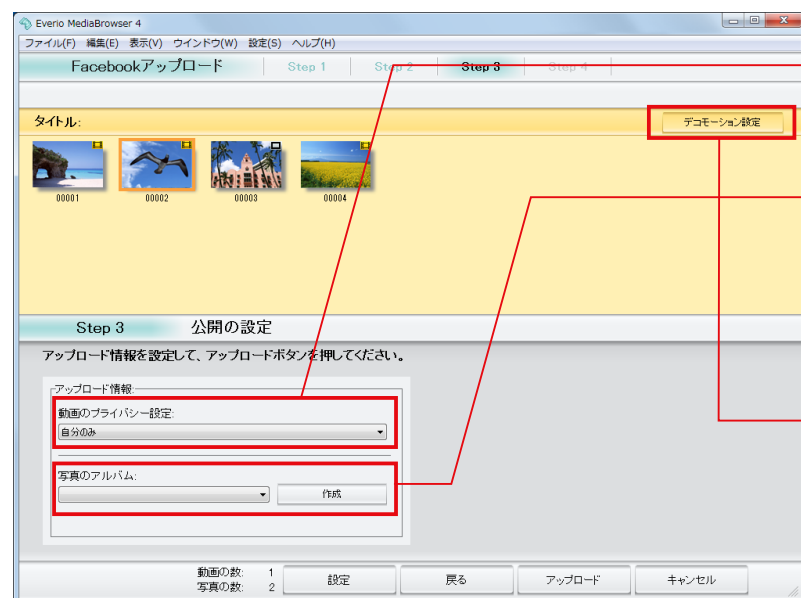
次のページへ

3 各項目を設定して、[OK] をクリックします。

項目	内容	
画質の選択	映像ファイルの画質を選択します。	
	1920 × 1080	解像度を 1920 × 1080 ピクセルに変換します。
	1280 × 720	解像度を 1280 × 720 ピクセルに変換します。
	640 × 360 ／ 640 × 360 (480)	解像度を 640 × 360 または 640 × 480 ピクセルに変換します。
写真のサイズ	静止画ファイルの画質を選択します。	
	画像ファイルを変更しない	元の画像を MediaBrowser で変換しないで、そのままアップロードします。
	長辺を 720 ピクセルに合わせる	長辺を 720 ピクセルに変換します。
「説明」にコメントを使用する	MediaBrowser のコメントで入力したコメント（P.104）を Facebook で使用します。 ＊静止画の場合はコメントは使用されません。	
撮影日時を映像に表示して出力する	映像の右下に撮影日を表示します。	

＊画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。
＊設定をしない場合は、前回アップロード時の設定が適用されます。
＊Facebook の仕様変更などにより、Facebook 上で設定通りに表示されない場合があります。

4 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 3　アップロードの設定

アップロードの設定をします。

1 Facebook 上での公開範囲を選択します。

映像をアップロードする場合、Facebook 上での公開範囲を選択します。

2 アルバムを選択します。

静止画をアップロードする場合は、Facebook 上で静止画を管理するアルバムを選択します。
［アルバムを作成］をクリックして、新規で作成することもできます。

3 映像ファイルにフレームを設定します。（任意）

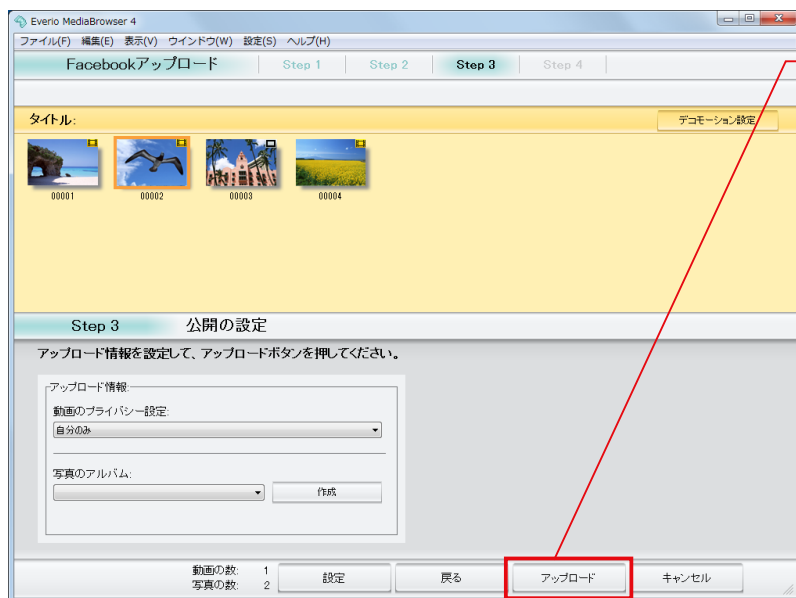
アップロードする映像にデコレーションを加えることができます。

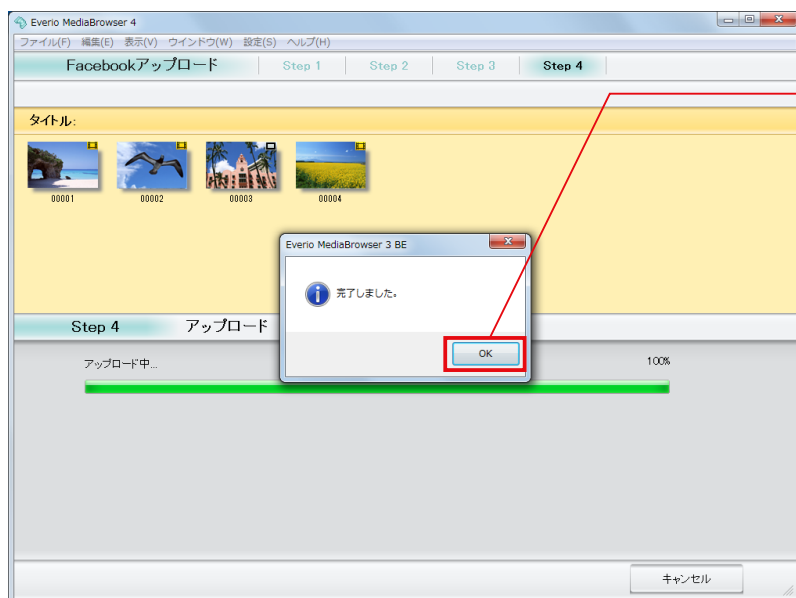
＊「画質の選択」を［変更なし］にした場合は出力されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

① 映像ファイルを選択して、［デコモーション設定］をクリックします。

② フレームを選択して、[決定] ボタンをクリックします。

次のページへ

4 ［アップロード］をクリックします。

➡ ファイルの変換、Facebook へのアップロードが開始されます。

5 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

Facebook にアップロードできない場合

ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

準備

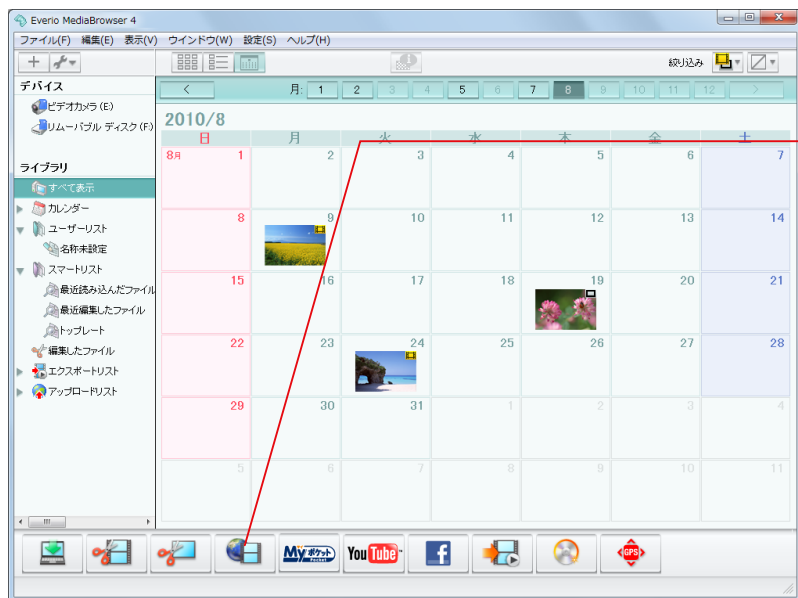
動画共有サイトに映像をアップロードしたい場合や、携帯メディアプレーヤー等で再生したい場合に、ファイルの形式を WMV 形式に変換できます。

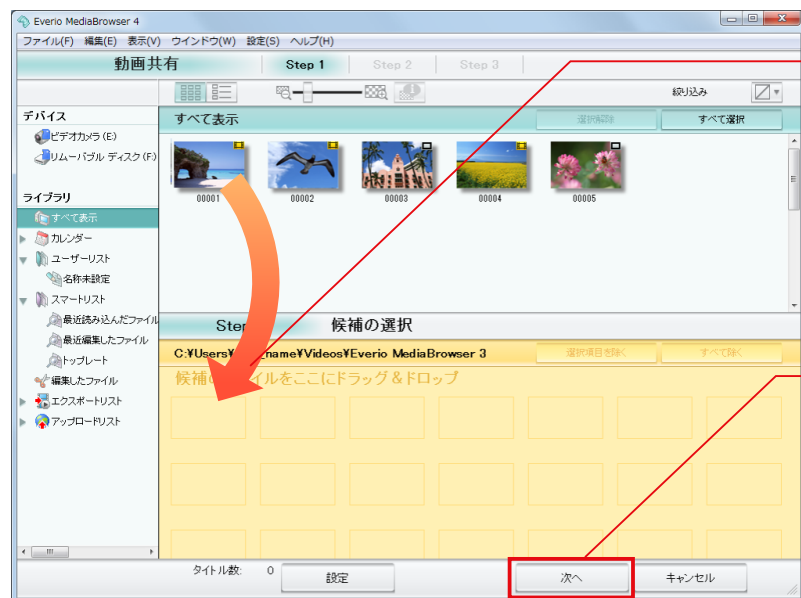
＊ 動画共有サイトや携帯プレーヤー用に変換する場合は、そのサイトやプレーヤーが .WMV 形式に対応しているかを確認してください。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

2 をクリックします。

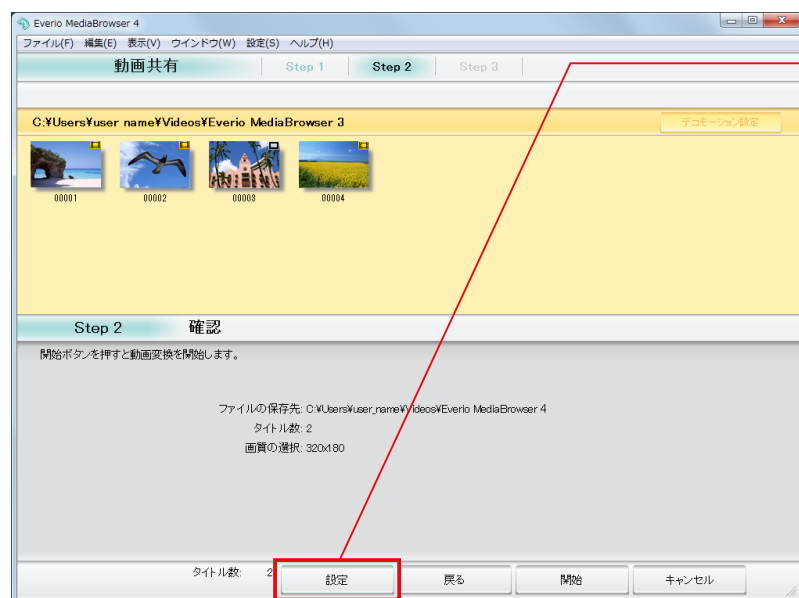
次のページへ

Step 1　ファイルの選択

.WMV 形式に書き出すファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、変換したい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

- 日付の異なるファイルを同時に複数選択する場合は、ソースパネルで [すべて表示] を選択し、 ボタンで一覧表示に切り換えてからファイルを選択します。
- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

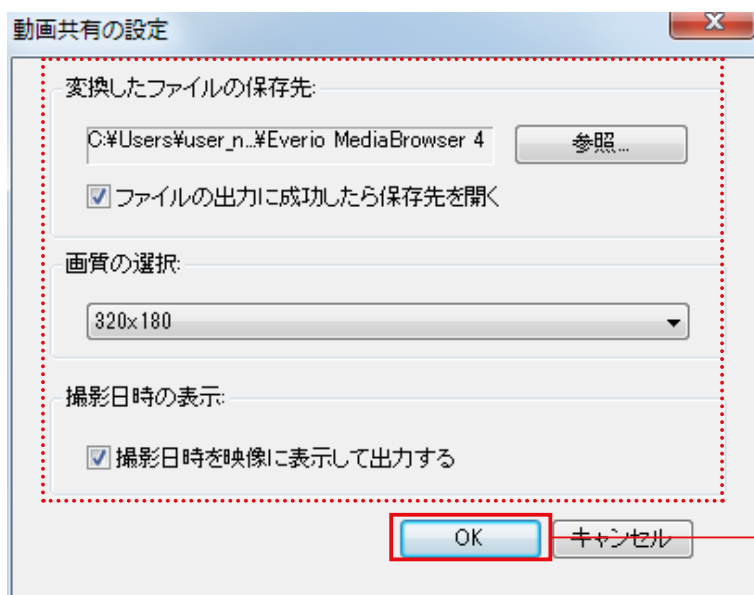
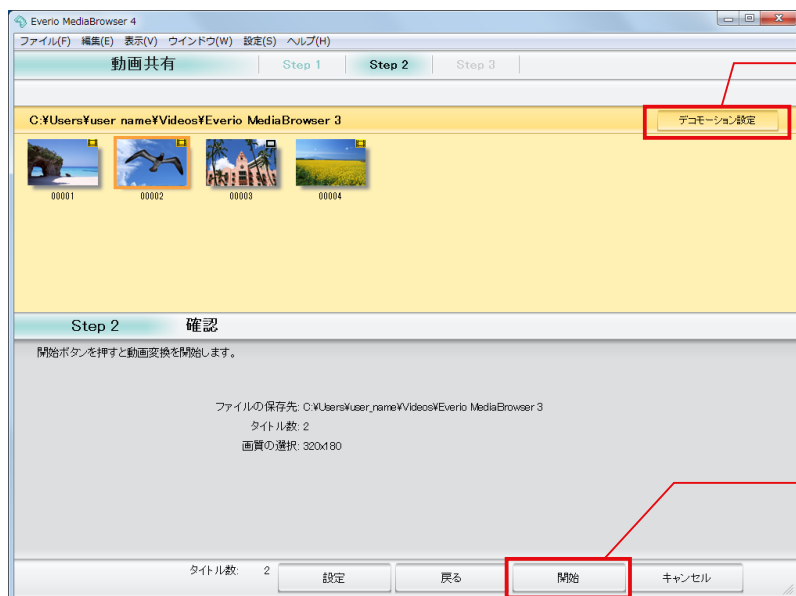
Step 2　確認

書き出しの設定を確認します。

1 [設定] をクリックします。

2 書き出しの設定を確認し、[OK] をクリックします。

項目		内容
変換したファイルの保存先		.WMV 形式に変換したファイルの保存先を設定します。
ファイルの出力に成功したら保存先を開く		変換が完了したら保存先のフォルダを開くかどうかの設定をします。
画質の選択	1920 × 1080	解像度を 1920 × 1080 ピクセルに変換します。
	1280 × 720	解像度を 1280 × 720 ピクセルに変換します。
	640 × 360 ／ 640 × 360（480）	解像度を 640 × 360 または 640 × 480 ピクセルに変換します。
	320 × 180 ／ 320 × 180 (240)	解像度を 320 × 180 または 320 × 240 ピクセルに変換します。
撮影日時を映像に表示して出力する		映像の右下に撮影日を表示します。

＊画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。
＊画質を設定しない場合は、前回設定した画質が適用されます。

次のページへ

3 映像ファイルにフレームを設定します。（任意）

映像にデコレーションを加えることができます。

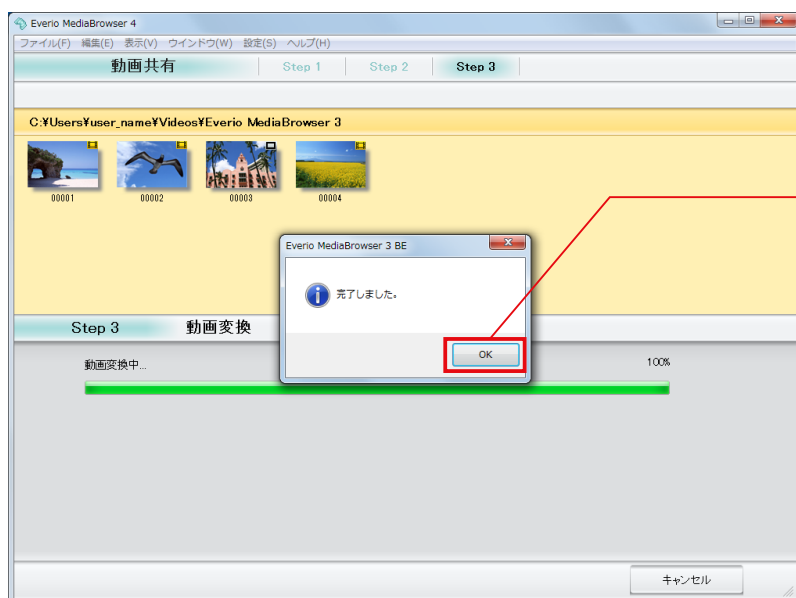
＊「画質の選択」を［変更なし］にした場合は出力されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

① 映像ファイルを選択して、［デコモーション設定］をクリックします。

② フレームを選択して、[決定] ボタンをクリックします。

4 [開始] をクリックします。

➡ ファイルの変換が開始されます。

5 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

➡ 変換されたファイルが、指定の場所に保存されます。

マイポケット用にファイルをエクスポート

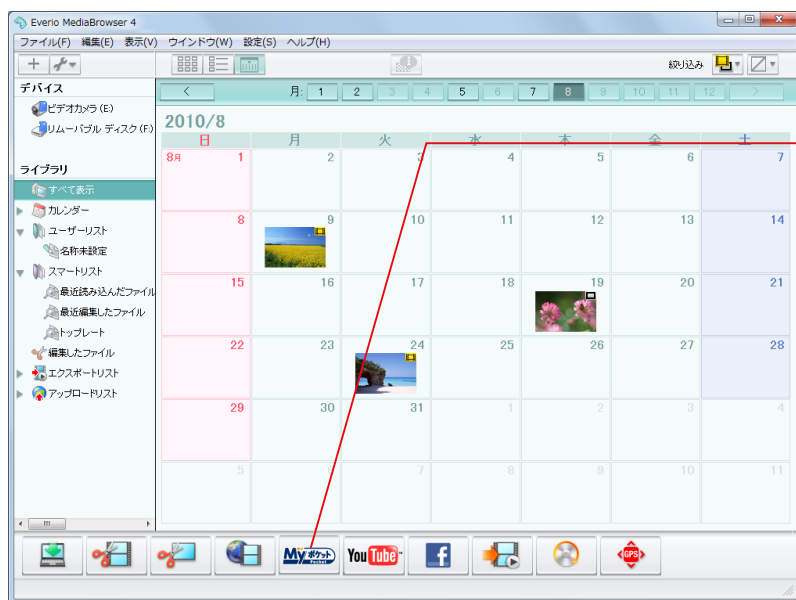
準備

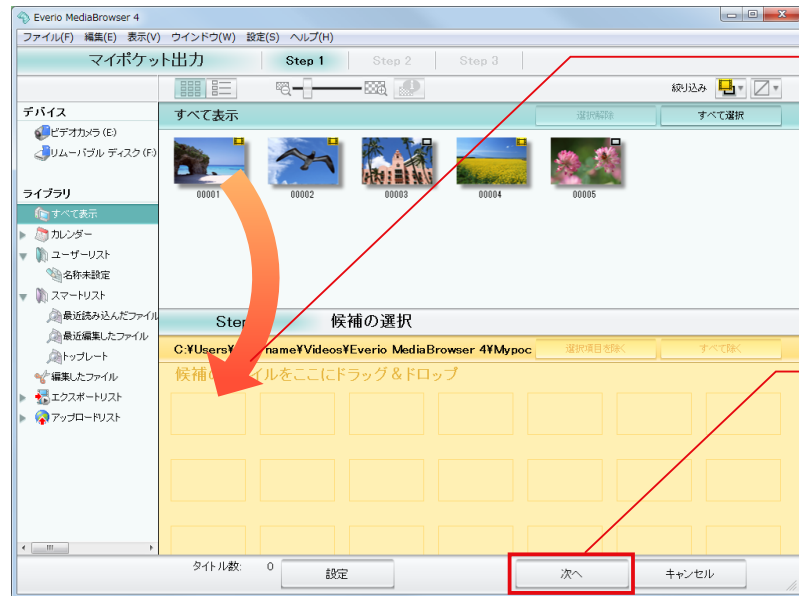
NTT コミュニケーションズ株式会社が提供するパーソナルクラウドサービス「マイポケット」で使用するためのファイルを書き出します。

＊ マイポケットの利用には、別途申し込みが必要です。くわしくは NTT コミュニケーションズ株式会社のホームページを確認してください。
＊ マイポケットは日本国内向けのサービスです。
＊ お使いのビデオカメラの機種によっては対応していない場合があります。

1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

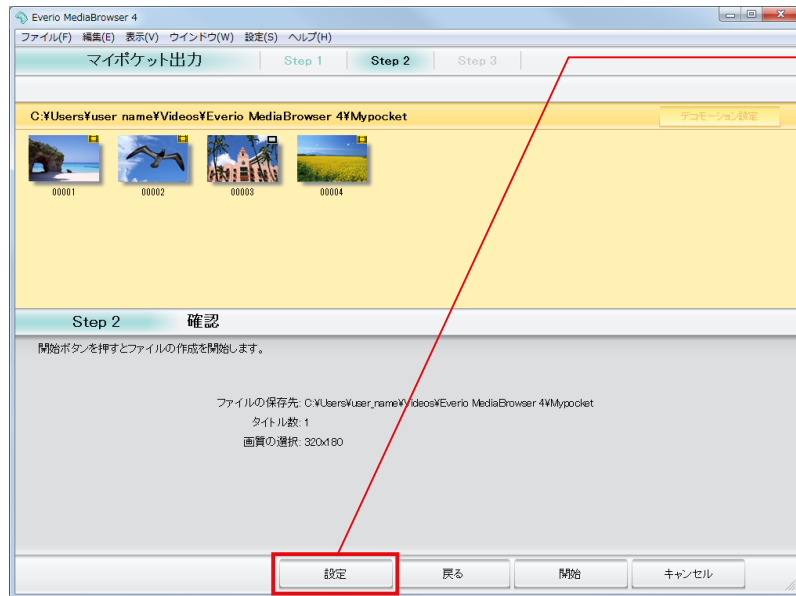
2 [My ポケット] をクリックします。

Step 1　ファイルの選択

マイポケット用に書き出すファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、書き出したい映像ファイルをドラッグ＆ドロップします。

- 日付の異なるファイルを同時に複数選択する場合は、ソースパネルで [すべて表示] を選択し、 ボタンで一覧表示に切り換えてからファイルを選択します。
- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

2 [次へ] をクリックします。

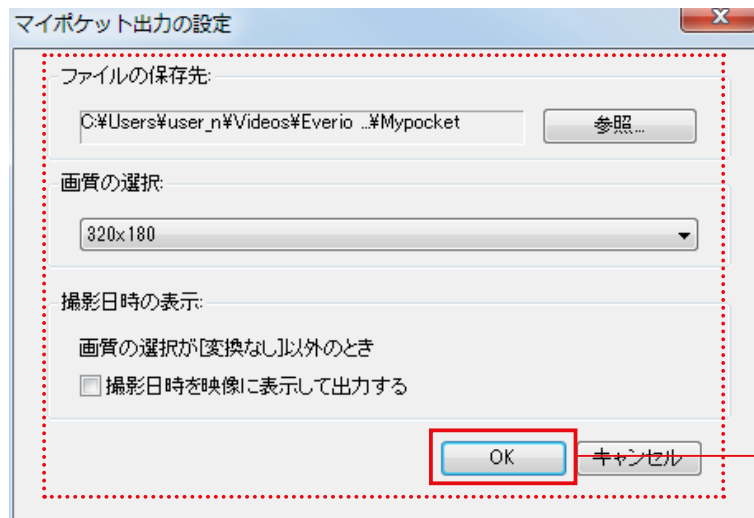
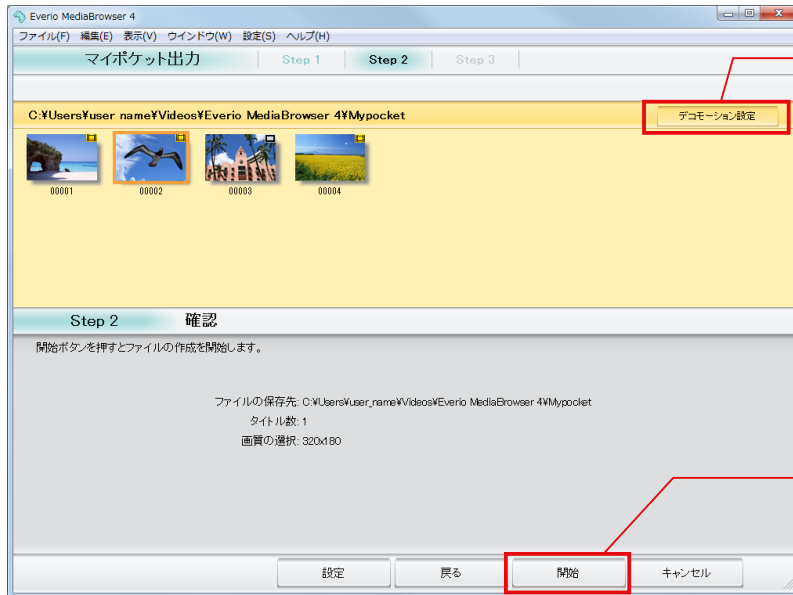
次のページへ

Step 2　確認

書き出しの設定を確認します。

1 [設定] をクリックします。

2 書き出しの設定を確認し、[OK] をクリックします。

項目		内容
ファイルの保存先		ファイルの保存先を設定します。
画質の選択	変換なし	元の映像を MediaBrowser で変換しません。
	1920 × 1080	解像度が 1920 × 1080 ピクセルの WMV ファイルに変換します。
	1280 × 720	解像度が 1280 × 720 ピクセルの WMV ファイルに変換します。
	640 × 360 ／ 640 × 360（480）	解像度が 640 × 360 または 640 × 480 ピクセルの WMV ファイルに変換します。
	320 × 180 ／ 320 × 180 (240)	解像度が 320 × 180 または 320 × 240 ピクセルの WMV ファイルに変換します。
撮影日時を映像に表示して出力する		映像の右下に撮影日を表示します。

＊画面比率が異なる映像に変換した場合は、画面の上下または左右に黒い帯が表示されます。
＊画質を設定しない場合は、前回設定した画質が適用されます。
＊静止画は変換されません。
＊画質の選択を［変換なし］にする場合、MBT ファイルを使用しているときは、出力先のフォルダでサムネイルが表示されません。また、MTS ファイルのときは、お使いのパソコンの環境によって表示されない場合があります。
＊MTS ファイルや MBT ファイルの再生は Everio MediaBrowser 4 Player を使用するか、MediaBrowser のライブラリにファイルを追加して再生してください。

次のページへ

3 映像ファイルにフレームを設定します。（任意）

映像にデコレーションを加えることができます。

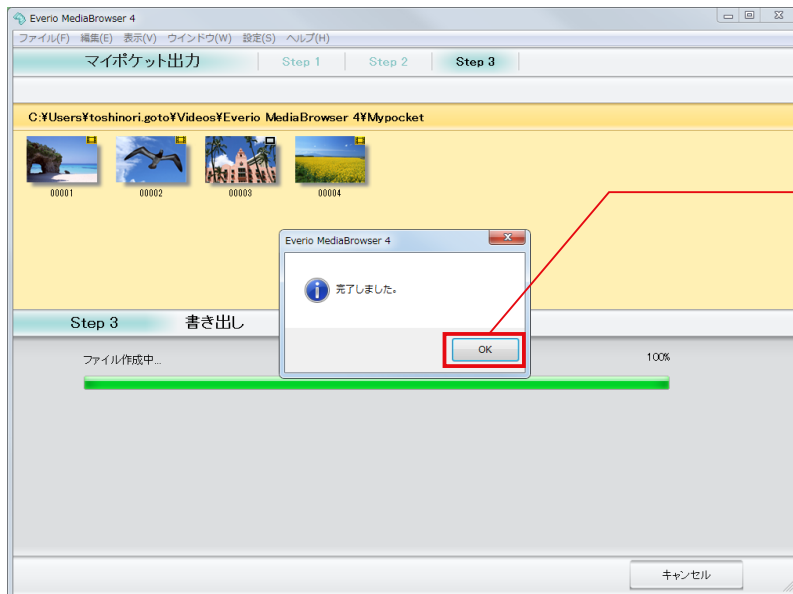
＊「画質の選択」を［変更なし］にした場合は出力されません。

＊ デコモーションの設定は保存できません。MediaBrowser を終了すると消去されます。

① 映像ファイルを選択して、［デコモーション設定］をクリックします。

② フレームを選択して、[決定] ボタンをクリックします。

4 [開始] をクリックします。

➡ マイポケット用ファイルの保存が開始されます。

5 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

➡ MediaBrowser が最小化され、保存先のフォルダとマイポケットのホームページが表示されます。

＊ マイポケットの使用方法やアップロードの制限などについては、マイポケットのホームページにあるヘルプを参照してください。

＊ 設定を [変換なし] にして書き出した場合は、元のファイルを保存先にコピーします。

＊ マイポケット用に書き出したファイルを削除しても、書き出しに利用した元のファイルは残ります。

＊ マイポケット用のファイルは「アップロードリスト」には表示されません。

準備

撮影時に位置情報を記録したファイルを、Google Earth 用の位置情報ファイルとして書き出します。

＊ この機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

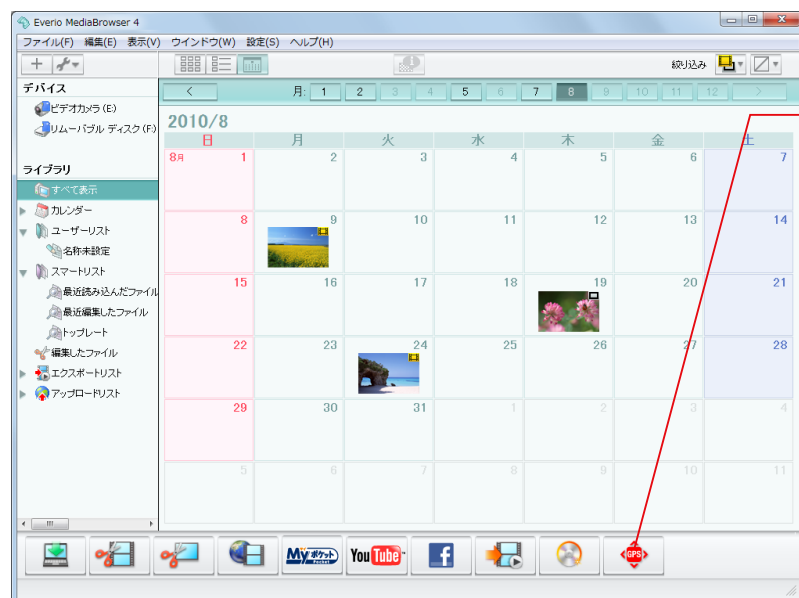
1 ビデオカメラのファイルをパソコンに取り込みます。

詳しい操作方法については、P.14 を参照してください。

対応ファイルについて

Google Earth 用のファイルは、位置情報が記録されているファイルからのみ書き出せます。
GPS アイコンが表示されているファイルを選択してください。

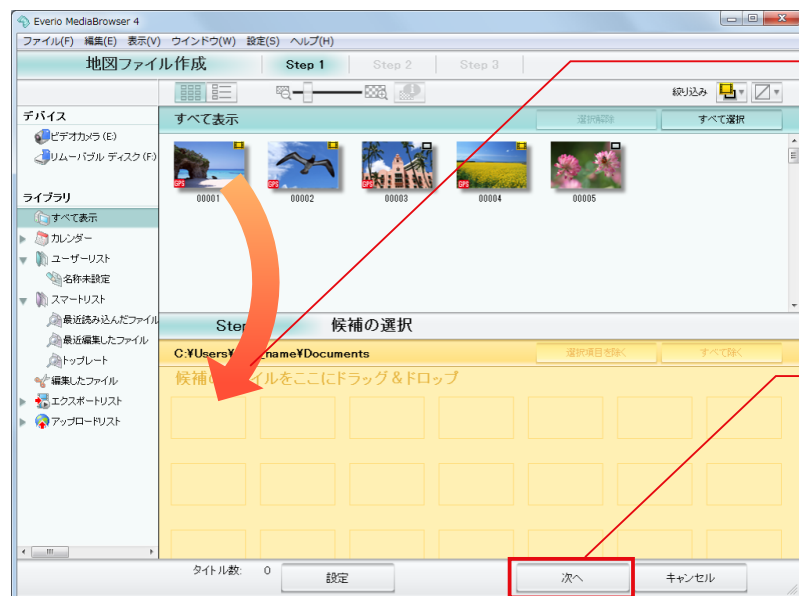
＊ 撮影時の環境によっては、位置情報が記録されていない場合があります。

位置情報の記録方法については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

2 をクリックします。

［設定］メニューの［位置情報機能の設定］(P.122) で、「位置情報機能を有効にする」にチェックを入れると表示されます。

次のページへ

Step 1　ファイルの選択

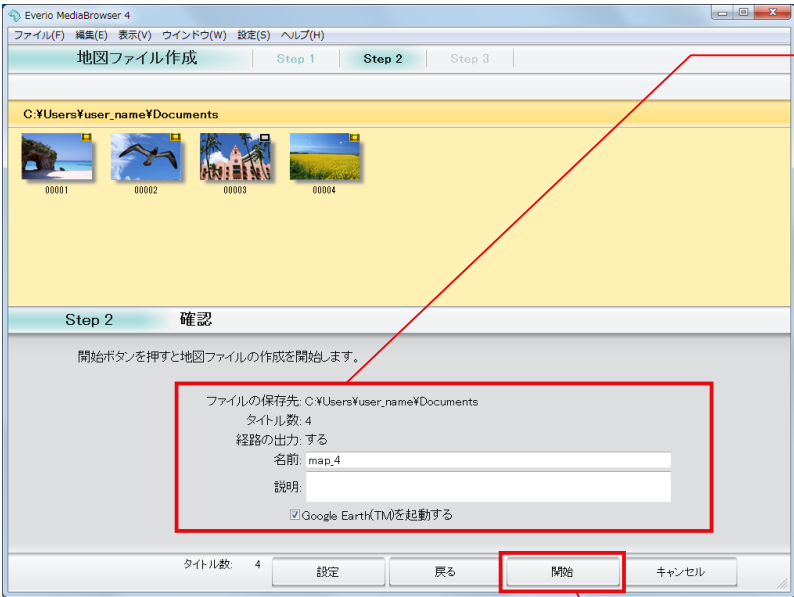
書き出すファイルを選択します。

1 画面下半分の領域に、書き出したいファイルをドラッグ＆ドロップします。

- GPS アイコンが表示されているファイルを選択してください。
- 画面下半分の領域に移動したファイルを削除する場合は、ファイルを選択して、[選択項目を除く] ボタンをクリックします。

2 [次へ] をクリックします。

次のページへ

Step 2　確認

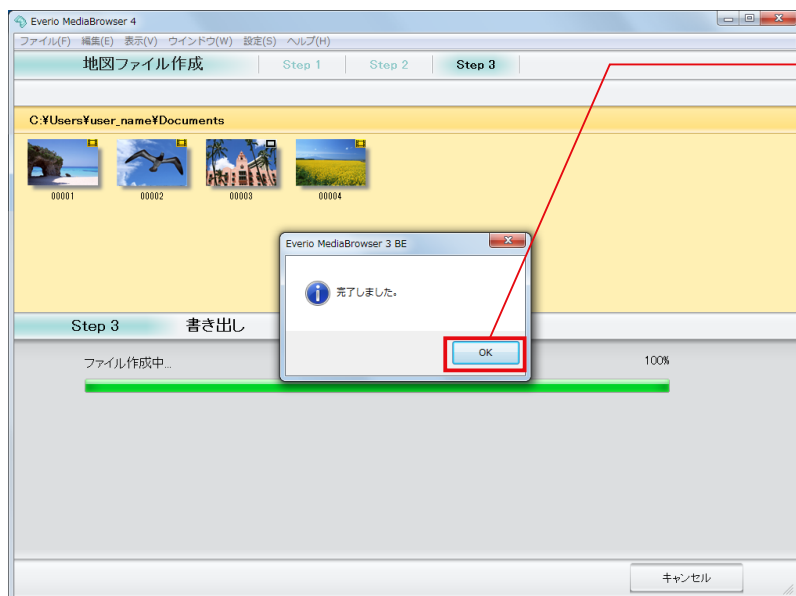
書き出しの設定を確認します。

1 表示される内容を確認します。

項目	内容
保存先	書き出されたファイルの保存先です。
タイトル数	1 ファイルが 1 タイトルとして書き出されます。
名前	Google Earth 上で表示される名前です。
説明	Google Earth 上で表示される説明です。
Google Earth(TM) を起動する	チェックを入れると、ファイルの書き出し後に Google Earth を起動します。 ＊事前にソフトウェアをインストールしておく必要があります。インストールの方法については、P.110 を参照してください。
経路の出力	Google Earth 上で経路が表示されます。

保存先と経路出力の変更

[設定] ボタンをクリックすると、保存先と経路出力の設定画面が表示されます。

2 [開始] をクリックします。

次のページへ

3 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

➡ Google Earth 用に書き出されたファイルが、指定の場所に保存されます。

Google Earth 上での操作については、Google Earth のユーザーガイドを参照してください。

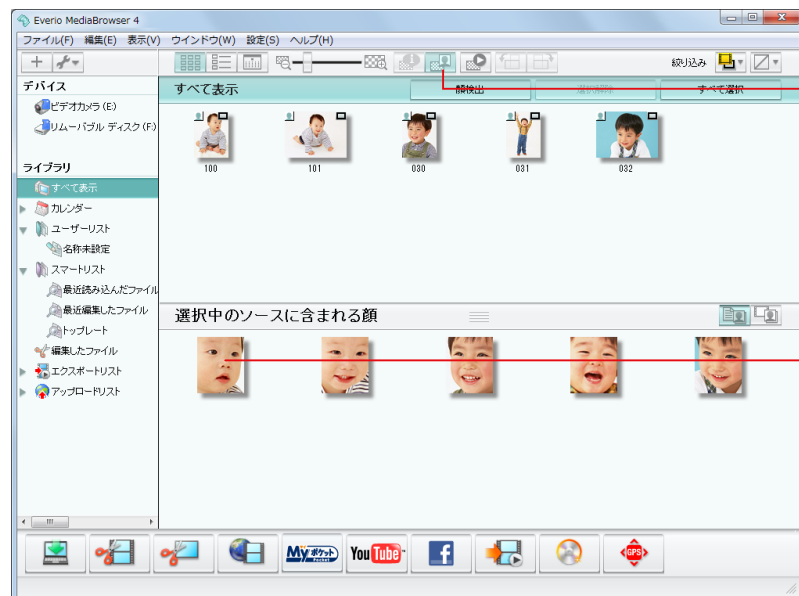
＊ Google Earth を使用するには、インターネットへの接続が必要です。

こんなこともできます

顔からファイルを探す

ブラウザーパネルで使う

ファイルに含まれる代表的な顔を検出して、顔からファイルを探すことができます。ファイルの取り込み時にファイルを解析します。環境設定（P.118）で「ファイルを解析する」にチェックを入れておいてください。

＊ 上記以外の方法でファイルを取り込んだ場合は、個別に解析する必要があります。（P.102）
＊ ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、ここで検出される顔はビデオカメラ上とは異なります。

1 をクリックします。

➡ 顔パネルに解析された顔が表示されます。

＊ あらかじめ または をクリックして表示を切り換えておいてください。
＊ 顔が表示されないときは、顔の検出を行う必要があります。（P.102）

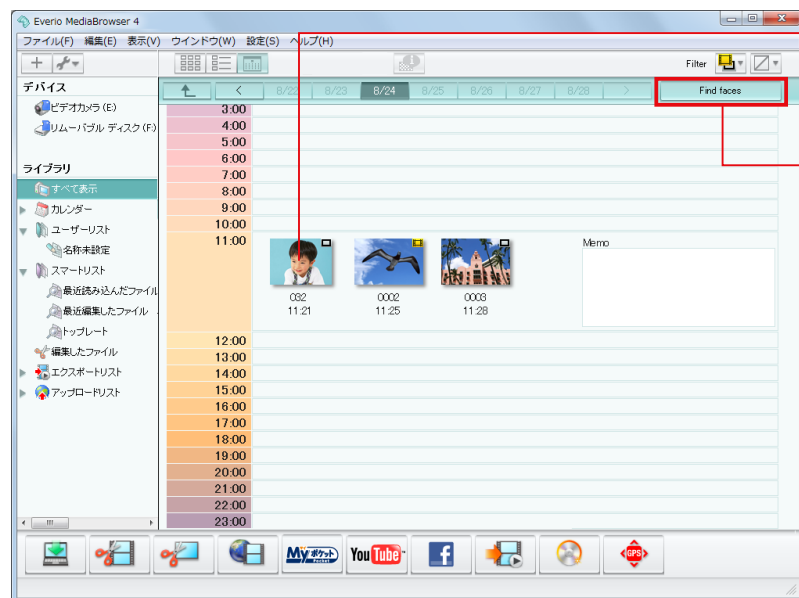
2 顔をダブルクリックします。

➡ 再生画面が表示されます。選択したファイルが映像ファイルの場合は、選んだ顔の再生時間から表示されます。

表示される顔を絞り込む

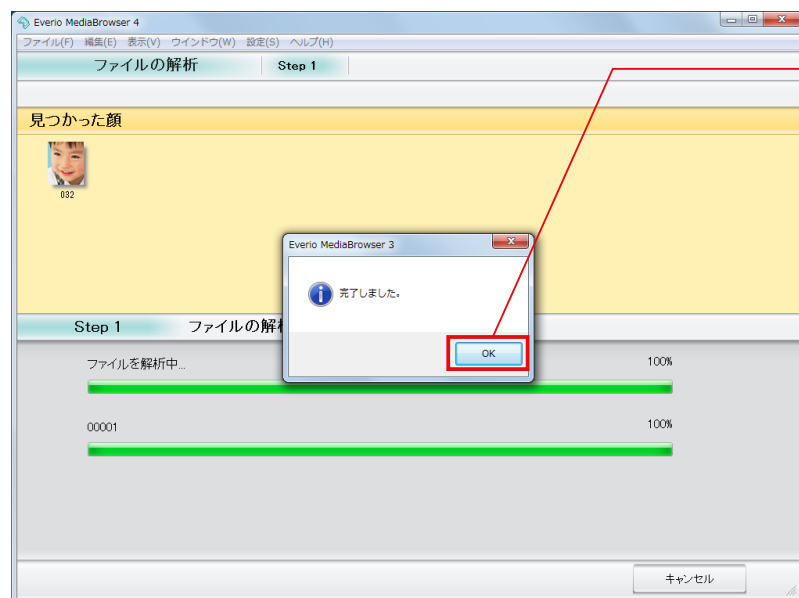
顔パネルに表示される顔をファイルごとに絞り込むことができます。対象のファイルを選択してから、顔パネルの をクリックしてください。 をクリックして絞り込みを解除することもできます。

ファイルを個別に検出する

個別に顔検出を行います。ファイルの取り込み時に解析されていないときは、この方法を行なってください。

1 対象のファイルをクリックします。

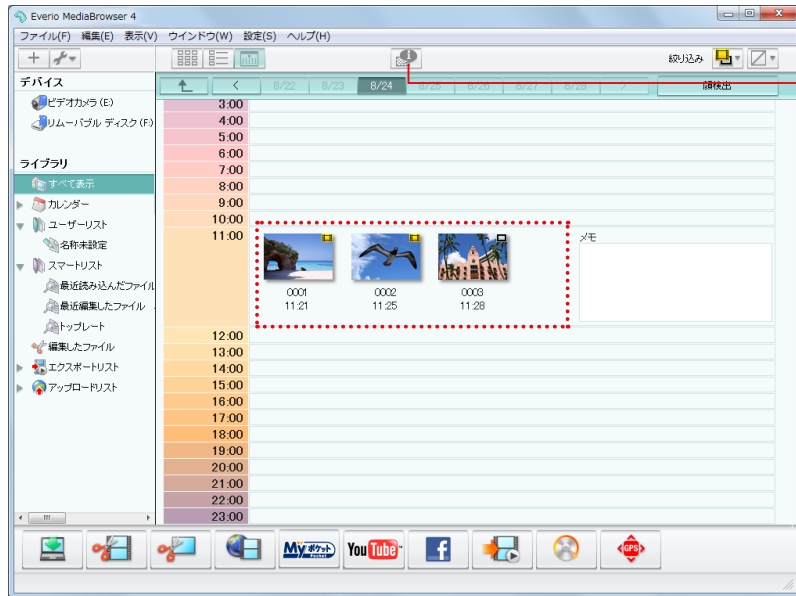
2 ［顔検出］をクリックします。

＊ ファイルを選択しないで［顔検出］をクリックすると、解析されていないファイルをすべて解析します。

➡ ファイルの解析が開始されます。

3 完了メッセージで、[OK] をクリックします。

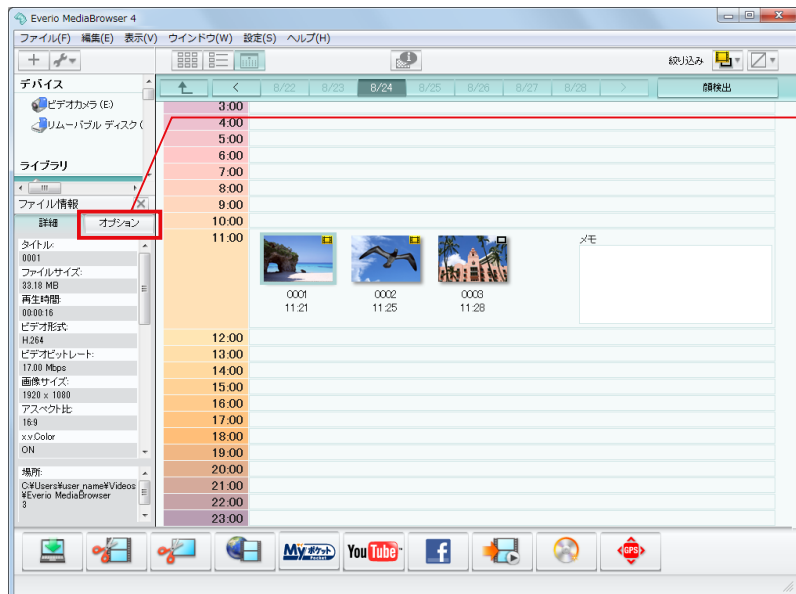
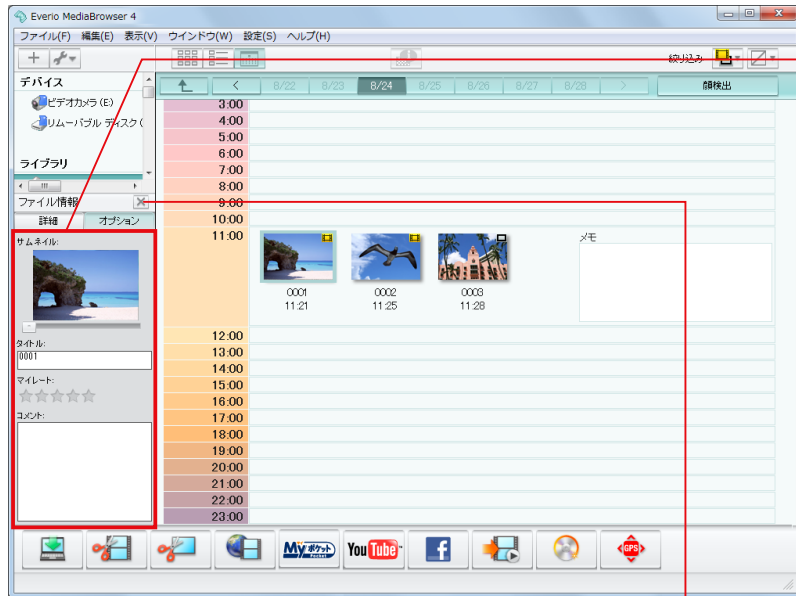
➡ ブラウザー画面に戻ります。

ライブラリに保存されているファイルのタイトル名やサムネイル画面を変更します。

＊ 静止画はサムネイルを変更することはできません。

1 対象のファイルを選んで、 ボタンをクリックします。

➡ ファイル情報パネルが表示されます。

2 ［オプション］をクリックします。

次のページへ

3 各項目を編集します。

項目	内容
サムネイル	スライダーをドラッグ＆ドロップすることで、サムネイル画像を変更できます。
タイトル	ライブラリ上でのファイルのタイトル名を変更できます。作成した DVD ／ BD のメニュー画面には、ここで変更した名称が表示されます。
マイレート	好きなファイルにランクをつけることができます。スマートリストの条件などに活用できます。星の上をドラッグ＆ドロップして、星の数を増やしたり減らしたりできます。
コメント	ファイルに関するコメントを入力します。 ＊ Facebook へのアップロード（P.85）では記入したコメントを用いることができます。

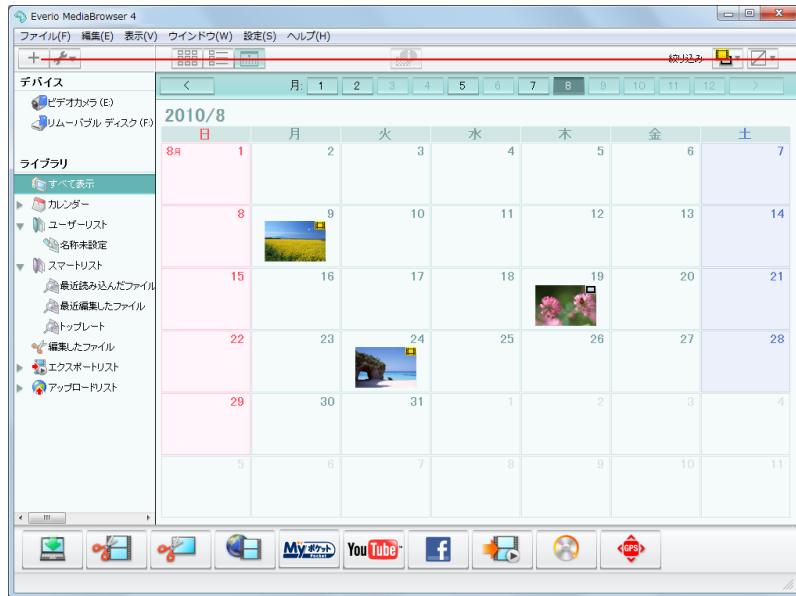
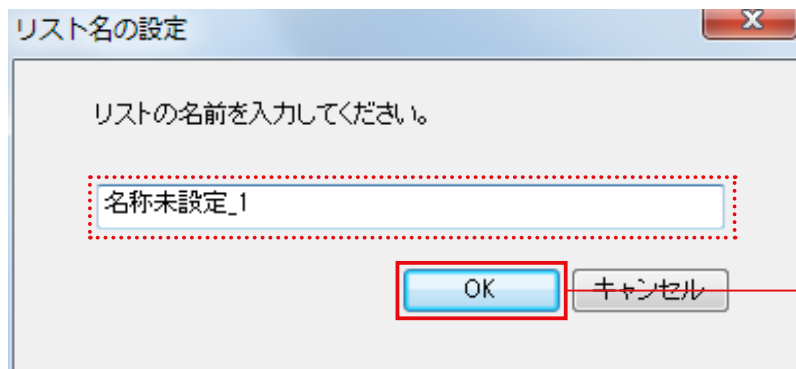
4 をクリックします。

編集された項目について

ここで編集した内容は MediaBrowser のブラウザー画面にのみ反映されます。

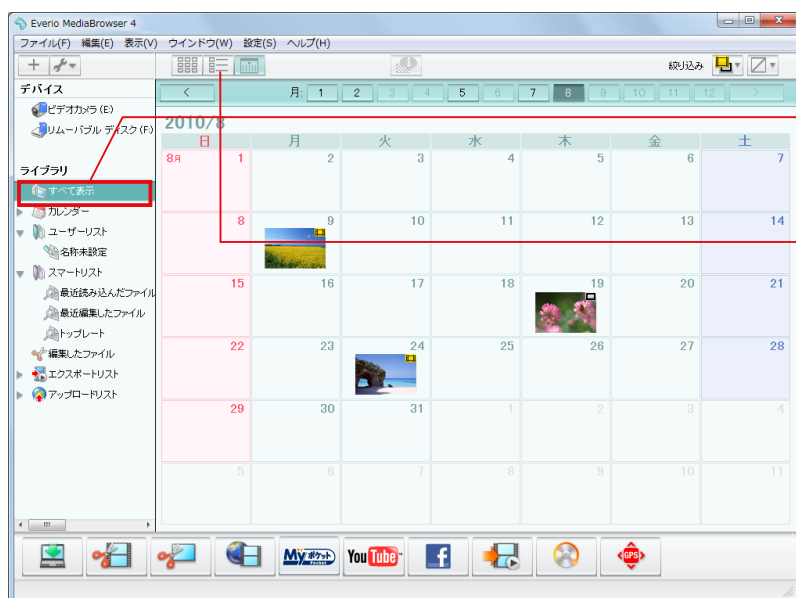
ファイル名は変更できません。

目的に合わせてファイルを整理する（ユーザーリスト）

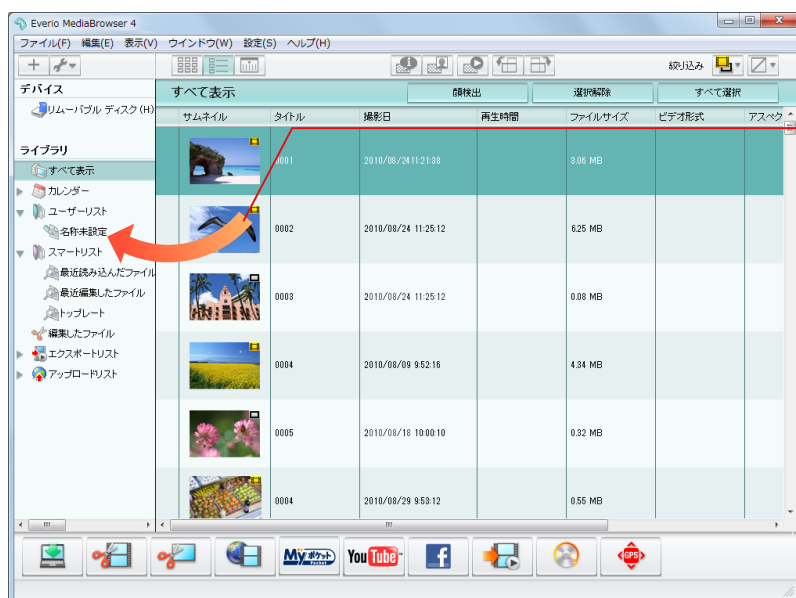
ユーザーリストとは、写真アルバムのように好きな映像を選択して、リストで整理する機能です。

1 ＋ をクリックします。

2 ユーザーリスト名を入力して、[OK] をクリックします。

➡ 新しいユーザーリストがソースパネルに追加されます。

次のページへ

3 ソースパネルの [すべて表示] をクリックします。

4 をクリックします。

➡ ライブラリのすべてのファイルが一覧で表示されます。

5 追加したいファイルを、作成したユーザーリストへドラッグ＆ドロップします。

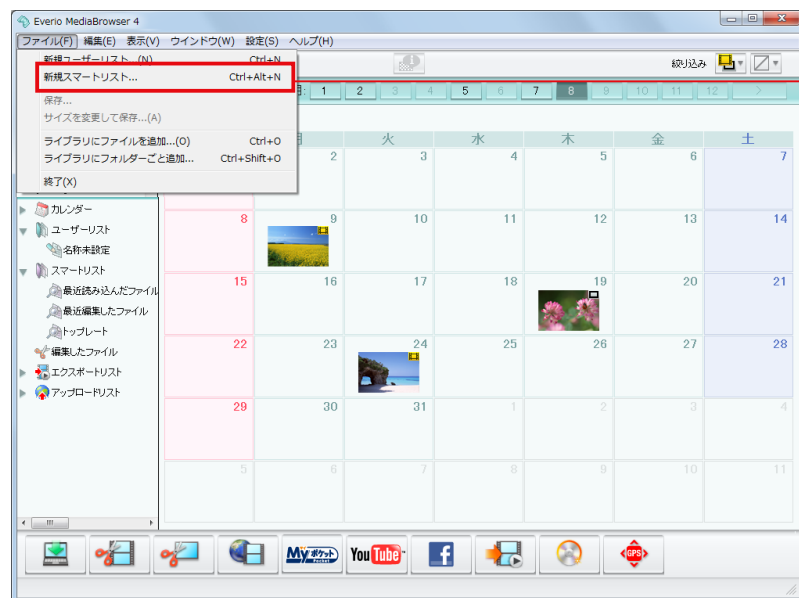
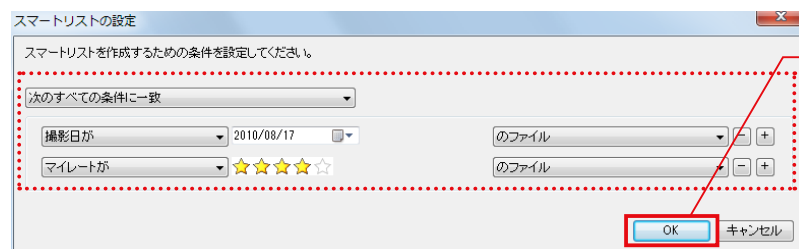
➡ 選択したファイルがユーザーリストに追加されます。

[デバイス] のファイル

ソースパネルの [デバイス] に保存されているファイルをユーザーリストへ追加する場合、パソコンに取り込んでからユーザーリストに反映します。

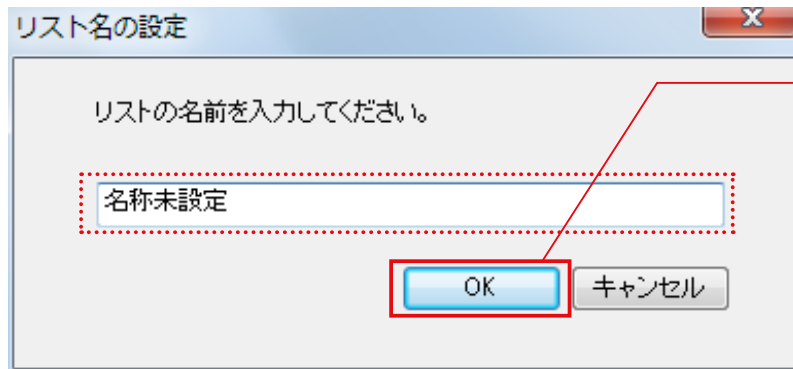
デバイス
ビデオカメラ (E:)
リムーバブル ディスク (F:)

条件を設定してファイルを整理する（スマートリスト）

スマートリストとは、電子データの特性を生かして、自動で映像を集める機能です。条件を指定すると、その条件を満たすファイルが自動で集められます。

1 [ファイル] メニューから [新規スマートリスト ...] を選択します。

2 条件を指定して、[OK] をクリックします。

ひとつのスマートリストに、最大 10 項目までの条件を設定できます。

- 条件を追加したい場合は、 + ボタンをクリックして条件を選択します。
- 複数の条件を指定した後、不要な条件を削除する場合には、 − ボタンをクリックします。

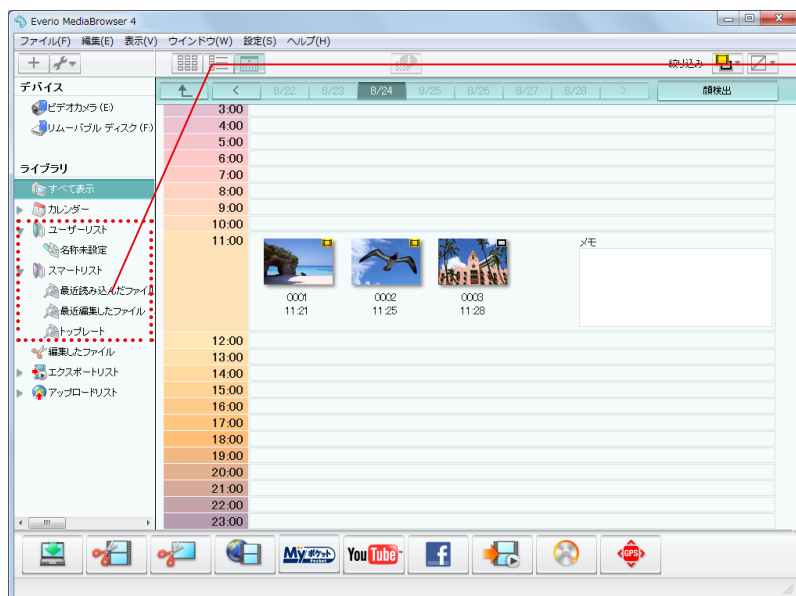
次のページへ

3 スマートリスト名を入力して、[OK] をクリックします。

➡ 新しいスマートリストがソースパネルに追加されます。スマートリストの中には、設定した条件に合うファイルが自動的に追加されています。

後から条件を変更する場合

スマートリストを右クリックして、[スマートリストを編集 ...] を選択します。

リストを削除する

ユーザーリスト／スマートリストを削除しても、その中のファイルはライブラリに残ります。

1 削除したいユーザーリスト／スマートリストを選択します。

2 キーボードの [Delete] を押します。

➡ 確認ダイアログが表示されます。

＊ 空のユーザーリスト／スマートリストを削除する場合は、ここで削除が完了します。確認ダイアログは表示されません。

3 [OK] をクリックします。

➡ ユーザーリスト／スマートリストが削除されます。

準備

撮影時に位置情報を記録したファイルは、MediaBrowser での再生に合わせて、Google Earth 上で位置情報を表示することができます。

＊ この機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。
＊ Everio MediaBrowser 4 Player で再生する場合は表示されません。

1 位置情報を記録しながら撮影します。

操作方法については、対応するビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

2 Google Earth をダウンロードします。

以下の URL から Google Earth をダウンロードします。

http://earth.google.com/

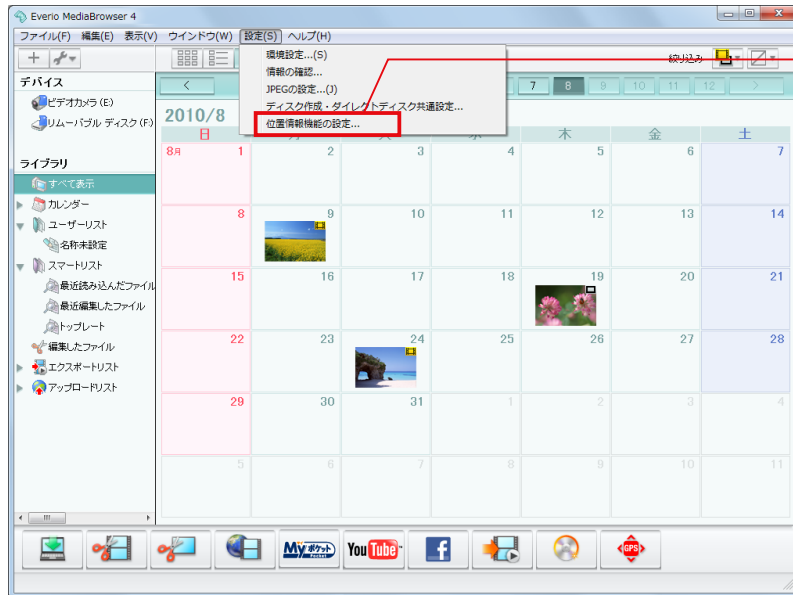
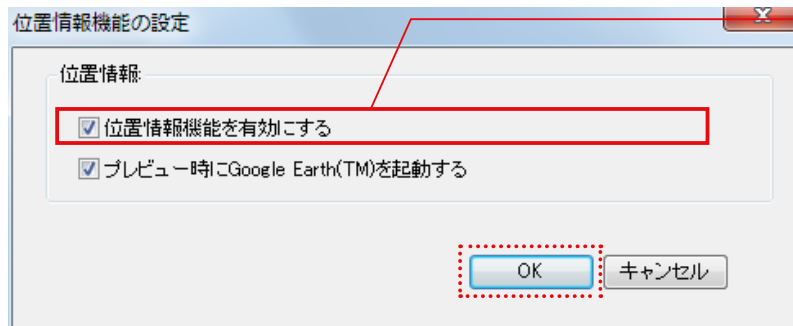
＊ Google Earth のホームページが見つからない場合は、「Google Earth」で検索してください。

3 Google Earth をインストールします。

ダウンロードされたファイルを実行すると、インストールが開始されます。画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

次のページへ

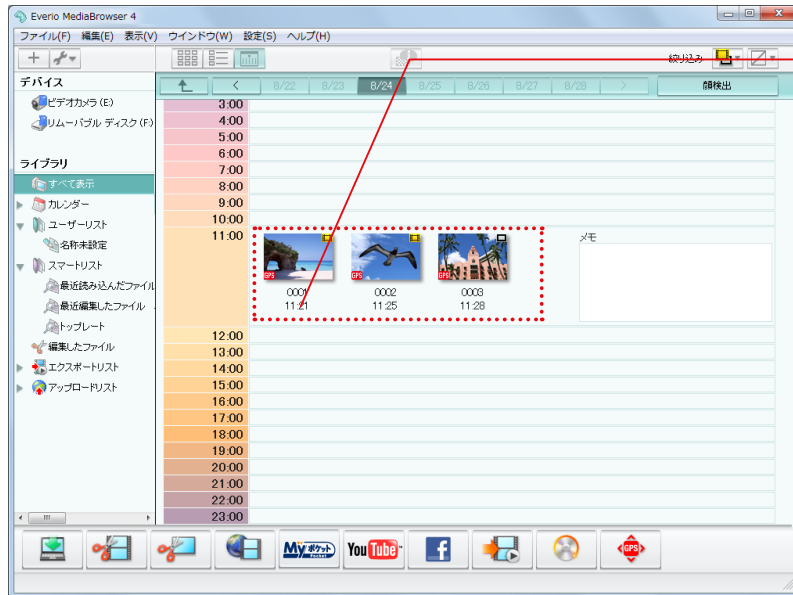
位置情報機能を有効にする

位置情報の機能が使えるように設定します。

1 [設定] メニューの [位置情報機能の設定] を選択します。

2 位置情報の設定を有効にします。

「位置情報機能を有効にする」と「プレビュー時に Google Earth を起動する」の両方にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

次のページへ

再生する

位置情報を表示するファイルを再生します。

1 位置情報が記録されているファイルを再生します。

サムネイルに GPS アイコンが表示されているファイルが位置情報を含んでいます。

➡ Google Earth が自動的に起動して、再生中のファイルの位置情報が表示されます。

位置情報が表示されない場合

撮影時の環境によっては、位置情報が記録されていない場合があります。また、位置情報が記録されていても、極端に短い映像では表示されないときがあります。

ビデオカメラのファイルを個別に取り込む

ビデオカメラ内のファイルを、個別に選択して取り込みます。一度取り込んだファイルも、この方法でもう一度取り込めます。

1 ビデオカメラをパソコンに接続します。

2 ビデオカメラのメニューから「パソコンで見る」を選択します。

➡「MediaBrowser」のブラウザー画面が表示されます。

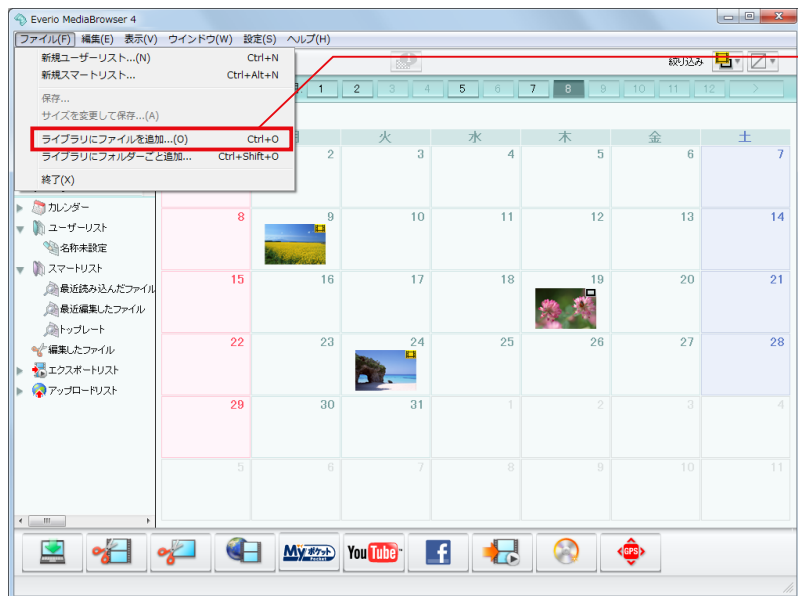
3 をクリックします。

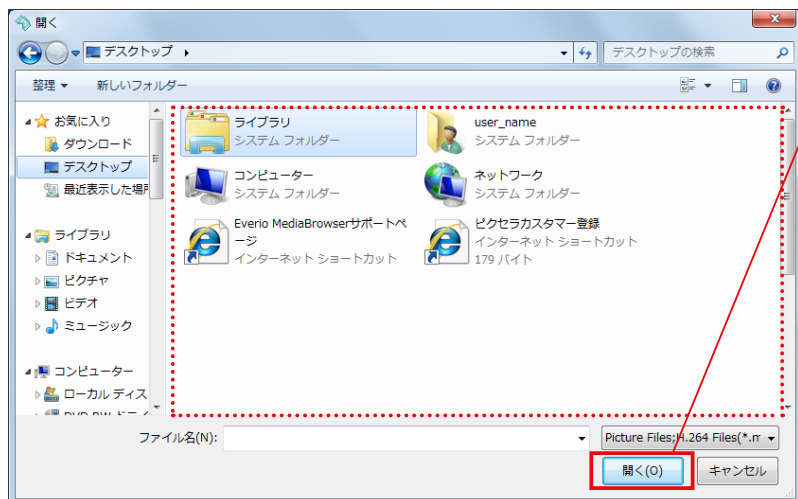
➡ ビデオカメラ内のファイルが一覧で表示されます。

4 ファイルを [すべて表示] にドラッグ＆ドロップします。

➡ ファイルがパソコンに取り込まれます。

顔の検出はブラウザー画面で個別に行う（P.102）必要があります。

バックアップなどの目的で、ビデオカメラ以外の場所や USB メモリーなどのリムーバブルメディアに保存したファイルを、再び取り込むことができます。また、動画編集で使用する静止画を取り込むこともできます。

1 [ファイル] メニューから、[ライブラリにファイルを追加 ...] を選択します。

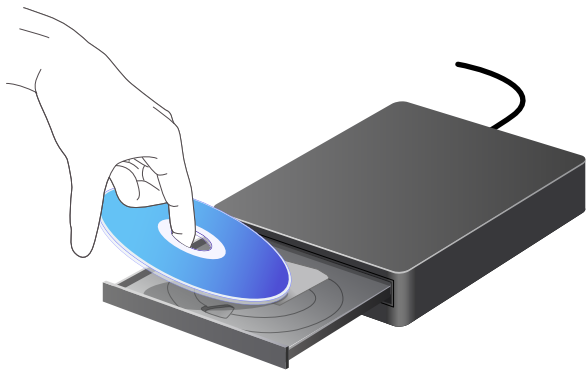
＊ フォルダごと追加する場合は、[ライブラリにフォルダごと追加 ...] を選択します。

2 ファイルを選択して、[開く] をクリックします。

➡ ファイルがライブラリに追加されます。

リムーバブルメディアのファイル

メモリーカードなどに保存されているファイルを選んだ場合、接続を解除すると、ファイルを使用できなくなります。

「ダイレクトディスク」機能を使うと、手動でファイル選択などをすることなく、簡単に DVD ／ BD を作成できます。

＊ [設定] メニューの [ディスク作成・ダイレクトディスクの共通設定 ...] で指定したディスクドライブで書き込みます。
＊ お使いのビデオカメラの機種によっては対応していない場合があります。

1 書き込むディスクをパソコンのディスクドライブにセットします。

エクスプローラ画面などが表示される場合は、ウインドウを閉じてください。

対応ディスク
DVD-R 、DVD-R DL 、DVD-RW 、DVD+R 、DVD+R DL 、DVD+RW
BD-R 、BD-R DL 、BD-RE 、BD-RE DL

＊お使いのビデオカメラの機種によっては、Blu-ray ディスクに対応していません。
＊8cm ディスクには対応していません。
＊書き換え可能ディスクの場合、MediaBrowser で自動的にデータを消去します。

DVD-Video には対応していません

DVD-Video のディスクを作成する場合は、MediaBrowser のディスク作成機能（P.28）を使用してください。

Blu-ray ディスクを使用する場合

事前に、[設定] メニューの [ディスク作成・ダイレクトディスクの共通設定 ...] で、[ダイレクトディスク設定] の項目でディスクの種類を選択してください。（P.121）

「ダイレクトディスク」で一度書き込んだことのあるファイルを使用する場合

読み込み済みマークのついているファイルは使用できません。

ファイル環境設定（P.118）の「読み込み済みマークをリセットする」で [リセット] をクリックしてください。

次のページへ

2 ビデオカメラをパソコンに接続します。

3 ビデオカメラのメニューから「ダイレクトディスク」を選択します。

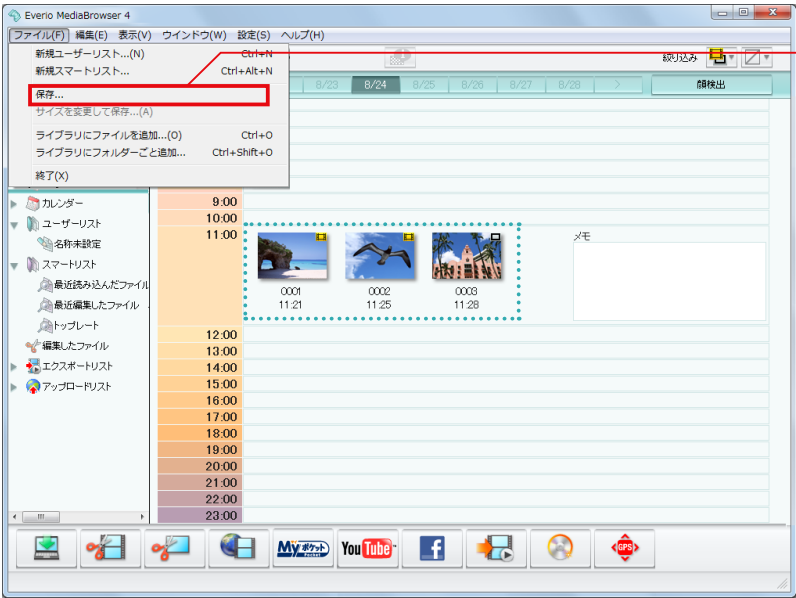
➡ MediaBrowser のダイレクトディスク画面が表示され、ディスクの作成が開始されます。

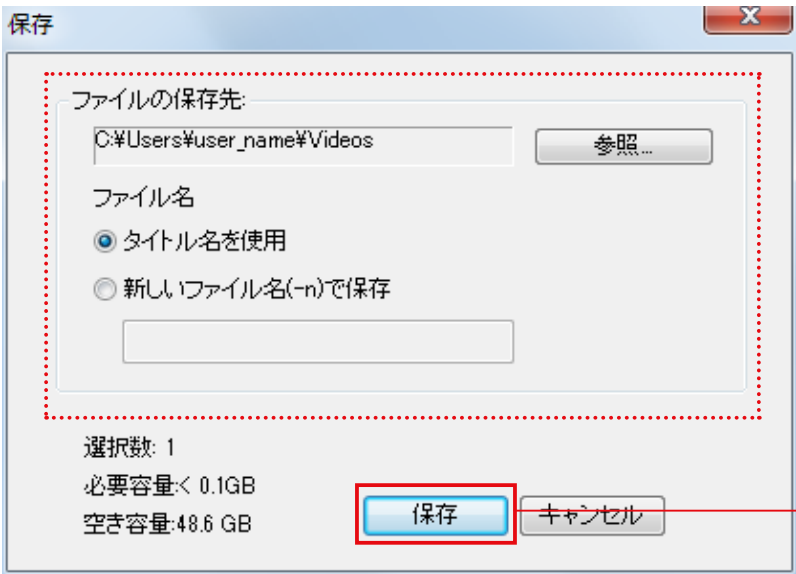
＊ 書き込み中は、他のアプリケーションの操作などは控えてください。

＊「作業場所の容量が不足しています。」というメッセージが表示される場合は、環境設定（P.118）で作業場所を変更してください。

＊ 必要なディスクが 2 枚以上の場合は、1 枚目のディスク作成完了後に、「次のディスクを挿入してください」というメッセージが表示されます。一度の操作で最大 5 枚（Blu-ray ディスクは 1 枚のみ）までのディスクが作成されます。必要なディスクが 5 枚以上の場合は、5 枚目の作成後、ダイレクトディスクの操作を繰り返してください。

名前を変更して別ファイルとして保存する

MediaBrowser 以外でファイルを利用したい時など、ファイルをコピーして別の場所に保存できます。

1 ファイルを選択し、[ファイル] メニューから [保存 ...] を選択します。

日付の異なるファイルを同時に複数選択する場合は、ソースパネルで [すべて表示] を選択し、ボタンで一覧表示に切り換えてからファイルを選択します。

2 保存先とファイル名を設定して、[保存] をクリックします。

項目	内容
ファイルの保存先	保存先を変更するには、[参照 ...] ボタンをクリックして、保存先を選択します。
ファイル名	[タイトル名を使用] ファイルのタイトル名をファイル名として保存します。 [新しいファイル名 (-n) で保存] ファイル名を入力します。ファイルの拡張子は自動で追加されます。

➡ ファイルのコピーが、指定した場所に保存されます。

環境設定

[設定] メニューから [環境設定 ...] を選択すると、画面が表示されます。

作業場所

動画編集の保存時やディスク作成時に使用する作業領域を指定できます。書き込みできないボリュームは表示されません。

ライブラリ保存先の設定

ライブラリの内容を保存する場所を 2 箇所指定できます。

[優先的な保存先]
ディスクの空き容量がある限り、保存される場所です。

＊ 初期設定では [マイビデオ] ／ [ビデオ]（ない場合は、[マイ ドキュメント] ／ [ドキュメント]）内の [Everio MediaBrowser 4] フォルダが指定されています。

＊ ライブラリの保存先を変更しても、元の保存先のフォルダは削除しないでください。新しい保存先には、これからライブラリに追加されるファイルだけが保存されます。

[保存先]
上記の保存先の容量がなくなった場合に、保存する場所です。

[保存先を入れ替える]
現在選択されている優先的な保存先と、保存先との優先度を入れ換えたい時にクリックします。

読み込み済みマークをリセットする

取り込み済みマーク（ ✔ ／ ✅ ）(P.20) をリセットしたいときに [リセット] ボタンをクリックします。

ビデオ方式

ディスク作成時や別のファイルフォーマットでの保存時のビデオ方式を指定できます。

静止画の表示

ブラウザーパネルで静止画を回転させて表示する操作を有効にします。また、ファイル自体が回転情報を持っている場合は、その情報に基づいて表示します。

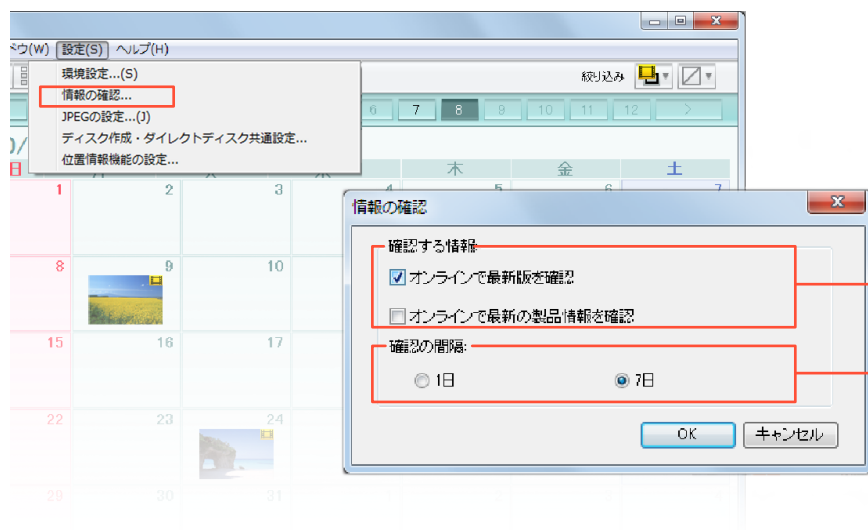
週の始まり

カレンダー表示の一番左端を日曜日にするか月曜日にするか選択できます。

ファイルの解析

ファイルの取り込み時に顔の解析を行います。

確認機能の設定

[設定] メニューから [情報の確認 ...] を選択すると、画面が表示されます。

起動時の確認メッセージ

MediaBrowser の起動時に、最新バージョンや製品情報を確認するかどうかの確認メッセージを表示します。

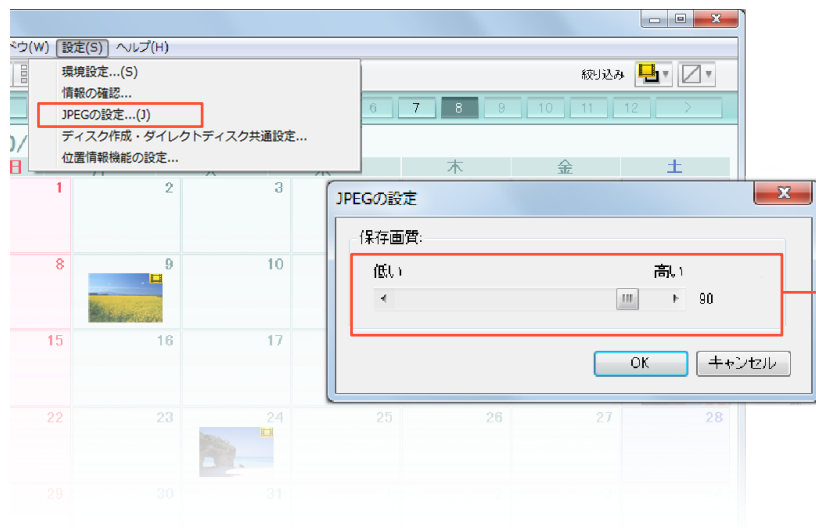
＊ 確認メッセージはパソコンがインターネットに接続されている場合のみ表示されます。

確認の間隔

確認の頻度を設定します。

JPEG の画質設定

[設定] メニューから [JPEG の設定] を選択すると、画面が表示されます。

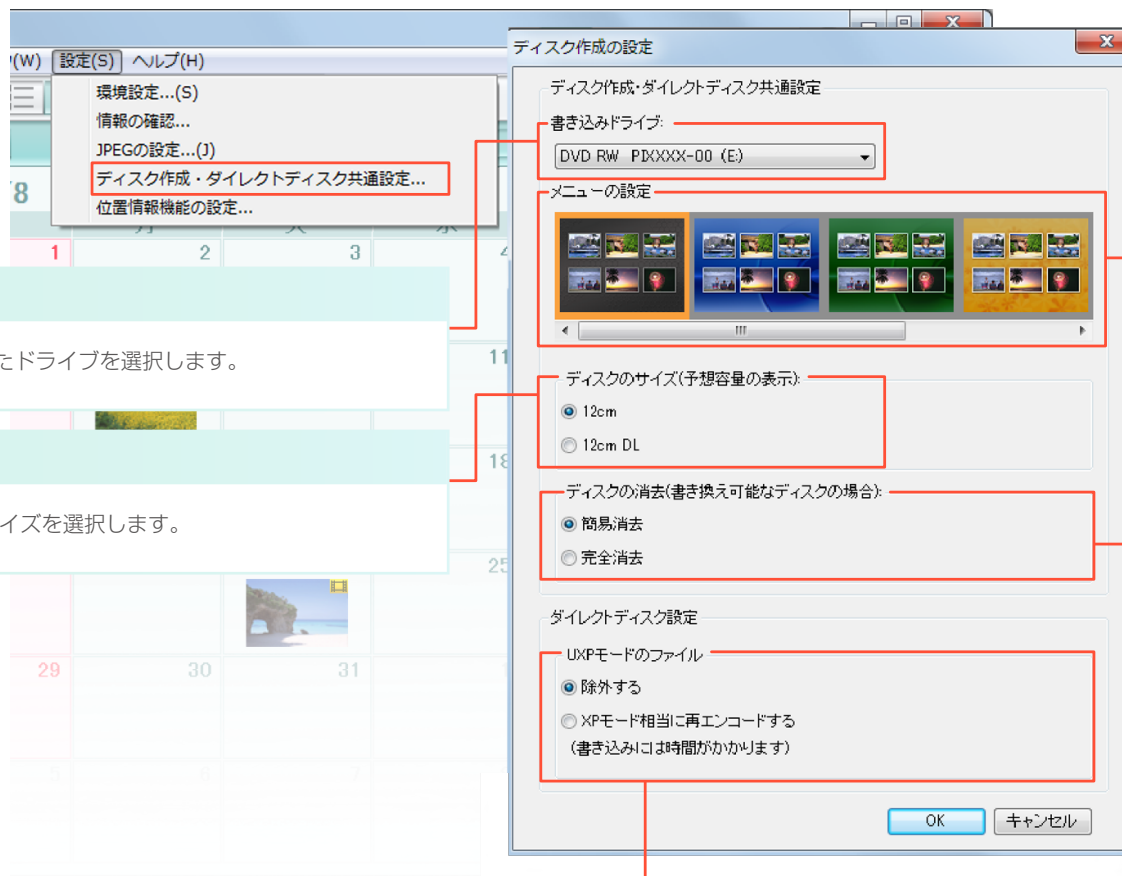
＊ 機種によっては「静止画の画質設定」と表示されます。

保存画質

JPEG ファイルを書き出すときの画質を設定します。

解像度が高くなるほど、ファイルサイズが大きくなります。

ディスク作成の設定

[設定] メニューから [ディスク作成・ダイレクトディスクの共通設定] を選択すると、画面が表示されます。

＊ お使いのビデオカメラの機種によっては、設定できない項目があります。

書き込みドライブ

DVD ／ BD をセットしたドライブを選択します。

ディスクのサイズ

セットしたディスクのサイズを選択します。

メニューの設定

DVD ／ BD を再生した時に、最初に表示される画面のデザインを選択します。

ディスクの消去

記録済みの書き換え可能ディスクを使用する場合、データの消去方法を選択します。

[簡易消去]
通常こちらの消去方法を使用します。

[完全消去]
「簡易消去」でエラーが出る場合はこちらを選択します。

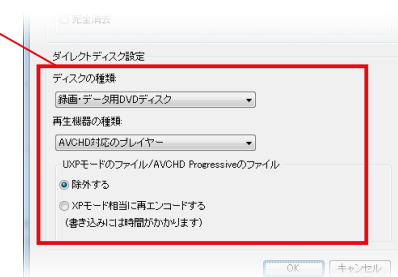
ダイレクトディスク設定

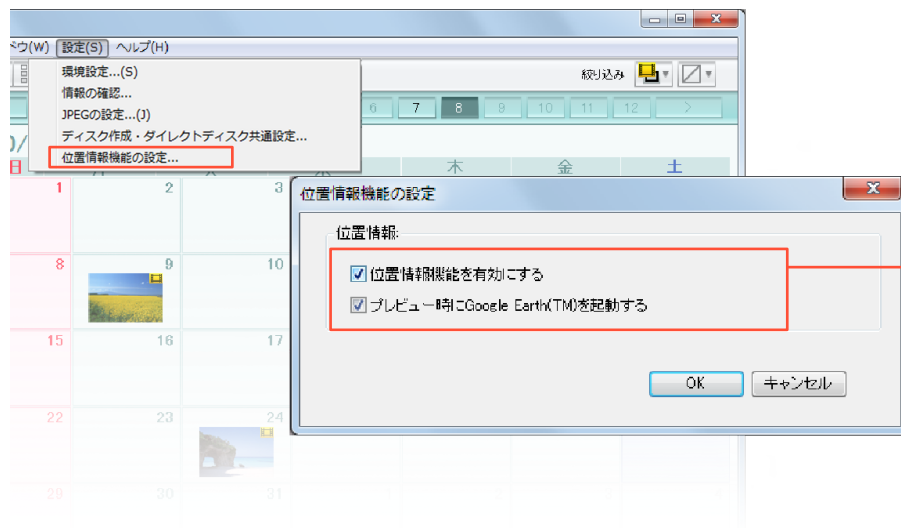
＊ お使いのビデオカメラの機種によっては対応していない場合があります。

映像ファイルによっては作成するディスクの規格に合わない場合があります。
その場合の映像ファイルの処理を選択します。

＊ ダイレクトディスク機能は DVD-Video に対応していません。
＊ ディスク作成 (P.31) の [設定] では表示されません。

MediaBrowser 4 BE の場合

[ディスクの種類] と [再生機器の種類] をする必要があります。選択したディスクや再生機器の種類によって、対象となる映像ファイルの種類が異なります。

位置情報機能の設定

[設定] メニューから [位置情報機能の設定] を選択すると、画面が表示されます。

位置情報

この機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

[位置情報機能を有効にする]
ブラウザパネルに [Google Earth(TM) 出力] ボタンを常に表示します。また、ファイルの詳細情報に位置情報の項目が追加されます。

[プレビュー時に Google Earth を起動する]
撮影時に位置情報が記録されている映像ファイルを再生するときに、Google Earth を起動して、位置情報を表示します。

Q&A

カメラからパソコンにファイルを取り込みたい

- 「ビデオカメラにあるファイルをライブラリに取り込む」(P.14)の手順で取り込んでください。

DVD や BD を作りたい

- 「DVD ／ BD を作成する」(P.28)の手順で作成してください。
- ビデオカメラから直接 DVD ／ BD に保存したい場合は「ビデオカメラから直接 DVD ／ BD に保存する」(P.115)の手順で作成してください。

パソコンに取り込んだファイルの保存先は？

- 環境設定(P.118)の「優先的な保存先」で設定した場所が保存先です。デフォルトでは、[マイビデオ] ／ [ビデオ] ¥[Everio MediaBrowser 4] に保存されます。

＊[マイビデオ] ／ [ビデオ] がない場合は、[マイ ドキュメント] ／ [ドキュメント] に保存されます。

(ファイルが見つからない)マークが表示される

- パソコン内からファイルをライブラリへ追加した後に、エクスプローラでファイルを削除した場合などは、MediaBrowser がファイルを見つけられなくなります。MediaBrowser で使用するファイルは、移動や削除を行わないようにしてください。削除などをしてしまった場合は、一度ライブラリからもファイルを削除して、再度ライブラリへファイルを追加してください。

＊USB メモリーなどのリムーバブルメディアをご使用の場合は、一度パソコン内に保存してから、ライブラリに追加してください。

／ (読み込み済みマーク)を消したい

- ファイル環境設定(P.118)の「読み込み済みマークをリセットする」で [リセット] をクリックすると消去できます。

「作業場所の容量が不足しています」とエラーが出て書き込みに進めない

- 作業場所に指定されている場所に、目安として以下の容量を確保してください。
  - DVD-Video ディスク作成時には、作成するディスクの 2 倍以上の空き容量が必要です。その他のディスク作成時には、作成するディスクの容量と同じ空き容量が必要です。

＊空けられない場合は、環境設定(P.118)で違うボリュームを指定してください。

MediaBrowser をインストールした後、マイコンピューターから DVD ドライブが認識されなくなった

✔ 可能であれば他社製ライティングソフトの削除と、MediaBrowser の再インストールをお試しください。

MediaBrowser が正しく動作しない

✔ MediaBrowser を終了し、パソコンを再起動してみてください。

ビデオカメラがパソコンに認識されない

✔ 以下の点を確認してください。

- MediaBrowser はインストールされていますか？
- ビデオカメラの電源は入っていますか？
- USB ケーブルは正しく接続されていますか？
- 正しく接続しても認識されない場合は、パソコンの別の USB 端子をお試しください。
- USB ケーブルを抜いて、パソコンを再起動させてから、正しい手順でビデオカメラとパソコンを接続しなおしてください。
- カメラ、キーボード、マウス以外で USB 接続の機器を使用している場合は、それらの接続を解除してください。
- USB ハブを経由している場合は、直接パソコンに接続してください。
- 常駐ソフトウェアがインストールされている場合は、それらを停止してから、ビデオカメラを接続してください。

MediaBrowser がパソコンの画面からはみ出してしまう

✔ 画面の解像度が 1024 × 768 未満の場合に起こってしまう現象です。「画面のプロパティ」から解像度の設定を 1024 × 768 以上に変更してください。

対応しているディスクは？

✔ 以下のディスクに書き込みできます。お使いのドライブの対応ディスクを確認してください。

- DVD-R、DVD-R DL
- DVD+R、DVD+R DL
- DVD-RW
- DVD+RW
- BD-R、BD-R DL
- BD-RE、BD-RE DL

＊お使いのビデオカメラの機種によっては、Blu-ray ディスクに対応していません。

常駐アプリケーションを誤って終了してしまった

✔ パソコンを再起動するか、以下の方法で常駐アプリケーション「Device Monitor 4」を起動してください。

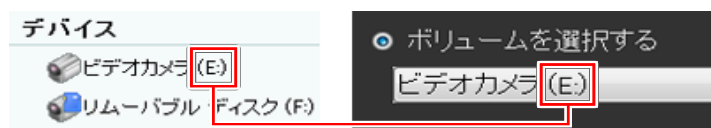
- Windows XP/Windows Vista/Windows 7 の場合
  [スタート] メニュー－ [すべてのプログラム] － [スタートアップ] － [Device Monitor 4] を選択します。
- Windows 8/Windows 8.1 の場合
  スタート画面 - チャームの [検索] で「Device Monitor 4」を検索し、[Device Monitor 4] をダブルクリックします。

ネットワーク上にあるファイルをライブラリに取り込めない

- ネットワーク上にあるファイルをライブラリに登録することはできません。

＊ファイルを一度パソコンに保存してから、[ファイル] メニュー -[ライブラリにファイルを追加]･[ライブラリにフォルダごと追加] などの操作でファイルをライブラリに追加してください。

デバイスからパソコンに保存するときに選択するボリュームがわからない

- 取り込みたいファイルが、ソースパネルのどの項目に含まれているかを確認します。その項目の後ろに記されたアルファベットと同じアルファベットのボリュームを選択してください。

ファイルを転送していると停止してしまう

- パソコンの別の USB 端子に接続しなおしてください。デスクトップパソコンの場合、背面の USB 端子をおすすめします。

ファイルの取り込みに時間がかかる

- 一度にたくさんのファイル数を取り込もうとしたり、容量の大きなファイルを取り込もうとする場合は処理に時間がかかります。

＊取り込むときは、MediaBrowser 以外のソフトウェアを終了させてください。

一度、パソコンに取り込んだファイルを、もう一度取り込めない

- ビデオカメラメニューの「バックアップする」でパソコンに取り込んだ（差分取り込み）場合、同じ方法でもう一度取り込むことはできません。P.113 の方法で取り込んでください。

ビデオカメラに撮影した映像があるのに「シーン 0」と表示され、ファイルを取り込めない

- 環境設定（P.118）の「読み込み済みマークをリセット」でリセットボタンをクリックしてください。また、個別に取り込みたい場合には、P.113 の方法で取り込んでください。ブラウザー画面から削除したファイルも読み込み済みのままの場合があります。その場合も同じように環境設定のリセットボタンを押してください。

取り込んだ映像が複数のファイルに分かれている

- 長時間連続で撮影した場合、ビデオカメラが自動的に映像をいくつかのファイルに分けて保存します。取り込み時に「自動分割ファイルを結合する」P.15 のチェックを入れてから取り込むか、動画編集で各ファイルを再生順に並べてから書き出してください。

「自動分割ファイルを結合する」にチェックを入れられません。

- ファイルシステムが NTFS の保存先が見つからない場合は、自動分割ファイルを結合することができないため、チェックマークを入れることができません。

ビデオカメラ上のファイル数と、取り込み後のライブラリでのサムネイルの数が違います。

- 「自動分割ファイルを結合する」にチェックを入れて取り込んだ場合に起こります。取り込んだ映像を再生して内容を確認してください。

スマートリスト内のファイルを並べ替えられない

- スマートリストでのファイルの並べ替えは項目名をクリックすることでのみ行えます。

スマートリストにファイルが追加できない

- スマートリストには手動でファイルを追加できません。スマートリストの条件設定に合致したファイルが自動登録されます。

タイトル名を変更したい

- MediaBrowser 上で表示されるタイトル名の変更は、ファイルを選択して、 ボタンをクリック、「ファイル情報パネル」の [オプション] タブで変更できます。

  ＊ ファイル名の変更はできません。

ドライブが検出されない

- MediaBrowser のインストール後、再起動しないで使用するとドライブが検出されない場合があります。
- すでにライティングソフトウェア (パケットライティング) がインストールされている場合、ドライブが検出されない場合があります。
- Windows XP 環境で、MediaBrowser を制限ユーザーとして使用する場合は、Windows XP が Service Pack 3 以上であることを確認してください。

＊ MediaBrowser の Windows XP 上での使用は、Microsoft 社による Windows XP のサポートが終了次第、動作保証外とさせていただきます。

DVD ／ BD への書き込みに時間がかかる

- CPU の性能やメモリー容量などのパソコン環境、使用するファイルの内容によって処理速度が変化するため、時間がかかる場合があります。

8cm ディスクへの書き込みができない

- 8cm ディスクには対応しておりません。

DVD ／ BD への書き込みができない

- 下記をご確認ください。
  - 書き込みに対応しているディスクを使用していますか？ (P.8)
  - 書き込もうとしているディスクにパソコンのドライブは対応していますか？また、書き込み速度が対応しているかも確認してください。
  - 書き込む内容がディスクの枚数を超過している場合は、次の手順に進めません。書き込み枚数（P.30）を確認してください。

1 枚のディスクに保存できるファイルはどれくらいですか？

- 片面 1 層の DVD ディスクでは約 4.7GB、2 層では約 8.5GB のファイルを保存できます。Blu-ray ディスクの場合は 1 層で 25GB、2 層で 50GB です。

1 枚のディスクに書き込めるファイルはどれぐらいですか？

- 最大 99 タイトルまで書き込めます。ただし、ファイルの総容量が書き込むディスクの総容量を超える場合は、99 個以下であっても書き込みできません。

CD に書き込むことはできますか？

- DVD と Blu-ray ディスクへの書き込みに対応しています。

＊お使いのビデオカメラの機種によっては、Blu-ray ディスクに対応していません。

ディスクへの追加書き込みはできますか？

- 追記することはできません。一度内容を削除してからの書き込みに対応しています。

静止画を DVD ／ BD に書き込むことはできますか？

- 静止画の DVD ／ BD への書き込みには対応しておりません。

作成した DVD ／ BD の容量が余っている

- 1 枚のディスクで保存できない場合、次のディスクに書き込むため、容量が余る場合があります。

記録済みのデータを消去した書き換え可能ディスクを使用した場合、DVD ／ BD の作成に失敗することがある

- MediaBrowser 以外のソフトウェアでデータを消去したディスクを使用した場合、DVD ／ BD を作成できない場合があります。記録済みの書き換え可能ディスクは、そのまま挿入してください。MediaBrowser で自動的にデータを消去します。

一度、「ダイレクトディスク」で DVD ／ BD に書きこめたファイルが、2 回目以降書き込めない

- 一度、「ダイレクトディスク」でディスクに書き込んだファイルには読み込み済みマークが表示されます。環境設定（P.118）の「読み込み済みマークをリセットする」で [リセット] をクリックしてください。

「ダイレクトディスク」でディスクを 5 枚使ったが、書き込まれていないファイルが残っている

- USB ケーブルを取り外して、もう一度「ダイレクトディスク」の操作を繰り返してください。

編集したファイルの書き出しに時間がかかる

- ファイルの再生時間が長かったり編集内容が多い場合、書き出しに時間がかかります。書き出し方法を編集オブジェクトに変更すると、書き出し時間が短くなります。

編集オブジェクトが再生できなくなった

- 編集オブジェクトは元ファイルを使って再生しています。元ファイルが削除されると再生できなくなります。

編集オブジェクトで音楽ファイルが再生されない。

- 編集オブジェクトはオーディオの設定ができません。

iTunes にエクスポートできない

＊お使いのビデオカメラの機種によっては、ご使用できません。

- エクスポートには iTunes および QuickTime が必要です。iTunes および QuickTime は Apple 社のホームページからダウンロードできます。
- ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

YouTube ／ Facebook にアップロードできない

- YouTube ／ Facebook へのアップロードにはアカウントが必要です。アカウントを作成してください。
- 「動画共有」でファイルを変換して、サイトからアップロードしてください。

＊セキュリティソフトがインストールされていると MediaBrowser の通信がブロックされる場合があります。MediaBrowser がインターネットにアクセスできるように設定してください。

＊任意のアプリケーションの通信を許可する設定方法については、各セキュリティソフトのメーカーにお問い合わせください。

- ヘルプの［最新の製品情報はこちら］から、Q&A、最新情報、ダウンロード情報などを確認してください。

YouTube ／ Facebook へのアップロードにどのくらい時間がかかりますか？

- YouTube の場合は、1 分の 320x180 画質の映像をアップロードするのに約 2 〜 10 分かかります。（アップリンク速度が 1Mbps の環境の場合）
- Facebook の場合は、1 分の 640x480 画質の映像をアップロードするのに約 5 分かかります。(アップリンク速度が 1Mbps の環境の場合)

＊撮影時の画質やご使用の通信環境によって、時間が異なる場合があります。

YouTube でアップロードしたタイトル名が変更されている

- ファイルのタイトルに、"&"、"<"、">" などの記号を使用していると、それらの文字は "_" に変換されてアップロードされます。

YouTube でアップロードしたファイルが正しく再生されない

- 画質の設定を [変換なし] にしてアップロードした場合、ファイルによっては、正しく再生されない場合があります。その場合は、アップロード手順の途中で、[設定] ボタンをクリックして画質を変更してください。

＊ Google Earth へのエクスポート機能は、ビデオカメラ（Everio）で位置情報を記録した場合のみ使用できます。

[Google Earth(TM) 出力] が見つからない

- 環境設定（P.122）の [位置情報機能を有効にする] を有効にしてください。

書き出し候補にファイルを追加できない

- GPS アイコンが表示されているファイルのみ追加できます。位置情報が記録されていないファイルは、書き出し候補に追加できません。

＊ 位置情報は撮影と同時に記録しておく必要があります。位置情報の記録方法については、ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

MediaBrower を終了できない

- ダイアログや設定画面が表示されている場合は、それらを閉じてから終了してください。

ビデオカメラの USB ケーブルを抜いたら、正常に動作しなくなった

- MediaBrowser を一度終了させせてから、ビデオカメラを接続しなおしてください。その後、再度 MediaBrowser を起動してください。

＊MediaBrowser の動作中は、USB ケーブルを抜いたりビデオカメラの電源を切ったりしないでください。

いくつかの機能で、使用できない映像ファイルがあるのですが？

- アップロード機能、エクスポート機能において、極端に短い（1 秒未満）ファイルは、使用できない場合があります。

MediaBrowser の起動に時間がかかります。

- 一度に大量のファイルを取り込もうとすると、MediaBrowser の起動に時間がかかる場合があります。また、取り込んでからも MediaBrowser の動作が遅くなる場合があります。

ファイルが表示されない

- あるはずのファイルが表示されない場合、絞り込みがされていないか確認してください。絞り込みは、 ボタンをクリックすると解除できます。

検出される顔がビデオカメラ上と異なる

- ビデオカメラ上の顔認識とは機能が異なります。そのため、検出される顔がビデオカメラ上とは異なります。

顔が検出されない

- 検出される顔は、ファイル中の代表的なものに限ります。そのため、ファイル中に顔があっても検出されない場合があります。

ピクセラ ユーザーサポートセンター

ご登録ユーザー様に各種のサービスおよびサポートを提供させていただきます。

MediaBrowser についてのご質問・ご相談は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

受付時間：月曜日～日曜日　10：00 ～ 18：00

（年末年始、祝日を除く）

● 固定電話でご利用の場合：フリーダイヤル

● 携帯電話でご利用の場合：ナビダイヤル

● フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合

FAX：06-6633-2992　（通信料がかかります）

＊24 時間受付（回答にお時間をいただく場合があります）

ホームページ

製品の最新情報やダウンロードなどは、下記のホームページをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/